

# 平成27年度 市民意識調査報告書



郡山市政策開発部広聴広報課

# 目 次

---

I	調査の実施概要	
1	調査目的	・・・・・・・・ 1
2	調査方法	・・・・・・・・ 1
	(1)調査対象者	
	(2)標本数	
	(3)抽出方法	
	(4)回答方法	
	(5)調査期間	
3	調査項目	・・・・・・・・ 2
	(1)まちの住み心地について【住みやすさ】	
	(2)まちづくりについて【満足度】	
	(3)これからの取り組みについて【重要度】	
4	回答状況	・・・・・・・・ 2
	(1)発送数	
	(2)有効回収数	
	(3)回収率	
II	調査結果	
1	まとめ	・・・・・・・・ 3～8
2	回答者の基本属性	・・・・・・・・ 9～11
	(1)男女別	
	(2)年代別	
	(3)地域別	
	(4)職業別	
	(5)居住年数別	
	(6)居住形態別	
3	まちの住み心地について【住みやすさ】	
	(1)住みやすいまちですか	・・・・・・・・ 13～14
	①全体 ②年代別 ③地域別	
	(2)今後も住みたいまちですか	・・・・・・・・ 15～16
	①全体 ②年代別 ③地域別	
4	まちづくりについて【満足度】	
	(1)分野別の満足度ランキング	・・・・・・・・ 17～18
	(2)項目別の満足度ランキング	・・・・・・・・ 19
	(3)項目別の満足度回答状況	・・・・・・・・ 20
	(4)分野別・項目別の満足度ランキング	・・・・・・・・ 21～22
5	これからの取り組みについて【重要度】	
	(1)分野別の重要度ランキング	・・・・・・・・ 25～26
	(2)項目別の重要度ランキング	・・・・・・・・ 27～28
	(3)分野別・項目別の重要度ランキング	・・・・・・・・ 29～30

6 広報について	
(1) 市政情報の発信は十分に行われていますか	・・・ 32
①全体 ②年代別	
(2) 市政情報をどのような媒体で得ていますか	・・・ 33
①全体 ②年代別	
(3) 市政情報をどのような媒体で発信してほしいですか	・・・ 34
①全体 ②年代別	
(4) 重点的に発信してほしい市政情報は何か	・・・ 35
①全体 ②年代別	

Ⅲ 自由意見	・・・ 36～47
--------	-----------

(資料)

1 まちづくりについて【満足度】	
(1) 満足度男女別・年代別回答状況	・・・ 48
(2) 満足度地域別回答状況	・・・ 49～50
2 これからのまちづくりについて【重要度】	
(1) 重要度男女別・年代別回答状況	・・・ 52
(2) 重要度地域別回答状況	・・・ 53～54
3 調査票	・・・ 56～63

## I 調査の実施概要

### 1 調査目的

時代とともに変化する市民意識の動向と現在の多様なニーズを把握し、今後の本市施策、事業の検討、推進、評価等の基礎データとして活用するため、本市のまちづくり（取り組み）に対する「満足度」や「重要度」について、調査しました。

### 2 調査方法

#### (1) 調査対象者

郡山市内に在住する満20歳以上の男女

#### (2) 標本数

2,500人（男性1,250人、女性1,250人）

〈内訳〉

	標本数	性別		年齢別						
		男	女	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
全体	2,500	1,250	1,250	353	438	464	456	478	311	
地区別	旧市内	955	477	478	137	162	188	183	171	114
	富田	184	92	92	30	38	35	28	33	20
	大槻	256	128	128	34	45	43	46	55	33
	安積	261	130	131	38	49	51	41	50	32
	三穂田	34	17	17	3	5	6	7	9	4
	逢瀬	35	18	17	4	4	5	8	9	5
	片平	48	24	24	6	9	9	9	10	5
	喜久田	88	44	44	10	19	18	14	17	10
	日和田	77	39	38	12	14	14	14	13	10
	富久山	270	135	135	42	53	53	49	43	30
	湖南	28	14	14	2	3	2	6	9	6
	熱海	46	23	23	6	5	6	9	11	9
	田村	141	71	70	21	22	22	25	31	20
	西田	39	19	20	3	5	6	9	9	7
中田	38	19	19	5	5	6	8	8	6	

#### (3) 抽出方法

住民基本台帳（平成27年10月14日現在）により年代、地域を考慮した無作為抽出

#### (4) 回答方法

郵送による返送、インターネットでの返信によるアンケート方式

#### (5) 調査期間

平成27年11月4日～平成27年12月4日（31日間）



### 3 調査項目

#### (1) まちの住み心地について【住みやすさ】

- ①郡山市は住みやすいまちですか
- ②今後も郡山市に住みたいと思いますか

#### (2) まちづくりについて【満足度】

第五次総合計画に掲げる施策を調査項目の基本とした7分野42項目について、現在の取り組み状況における「満足度」を調査しました。

#### (3) これからの取り組みについて【重要度】

まちづくりと同様7分野42項目について、今後重点的に取り組んでほしい施策の「重要度」を調査しました。

分 野		項 目
I (8項目)	市民協働・ 人権・行政経営	(1)市民協働 (2)広聴広報 (3)ユニバーサルデザイン
		(4)男女共同参画 (5)行政経営 (6)シティプロモーション
		(7)高度情報化 (8)広域行政
II (8項目)	教育・文化・ スポーツ・交流	(9)乳幼児教育 (10)学校教育 (11)青少年の健全育成
		(12)生涯学習 (13)歴史・文化芸術
		(14)音楽都市こおりやま (15)スポーツ・レクリエーション
		(16)都市交流・国際交流
III (6項目)	子育て・福祉・ 保健	(17)子育て (18)地域福祉 (19)高齢者・障がい者福祉
		(20)健康づくり (21)医療 (22)生活衛生
IV (5項目)	新エネルギー・ 環境	(23)新エネルギー (24)環境活動 (25)ごみ対策
		(26)自然環境 (27)住環境
V (7項目)	産業・観光・ 雇用	(28)農業 (29)地域商工業 (30)ショッピング・レジャー
		(31)産業創出 (32)観光 (33)6次産業化 (34)雇用促進
VI (4項目)	都市計画・ 交通・防災	(35)計画的なまちづくり (36)交通・道路 (37)防災
		(38)防犯・交通安全・消費者対策
VII (4項目)	原子力災害対策・ 復興	(39)除染 (40)健康管理 (41)子ども活動支援
		(42)風評被害の払しょく

### 4 回答状況

- (1) 発送数 2,500 件
- (2) 有効回収数 1,290 件
- (3) 回収率 51.6 % (対前年比 3.5%Up)

※調査項目の各データの百分率については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記しています。そのため、合計が100.0%にならない場合があります。

## II 調査結果

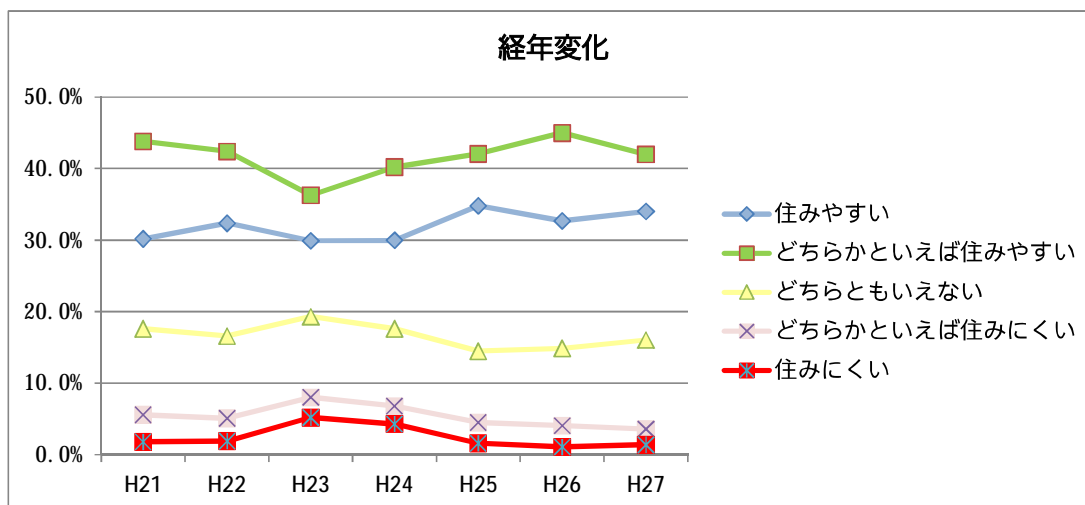
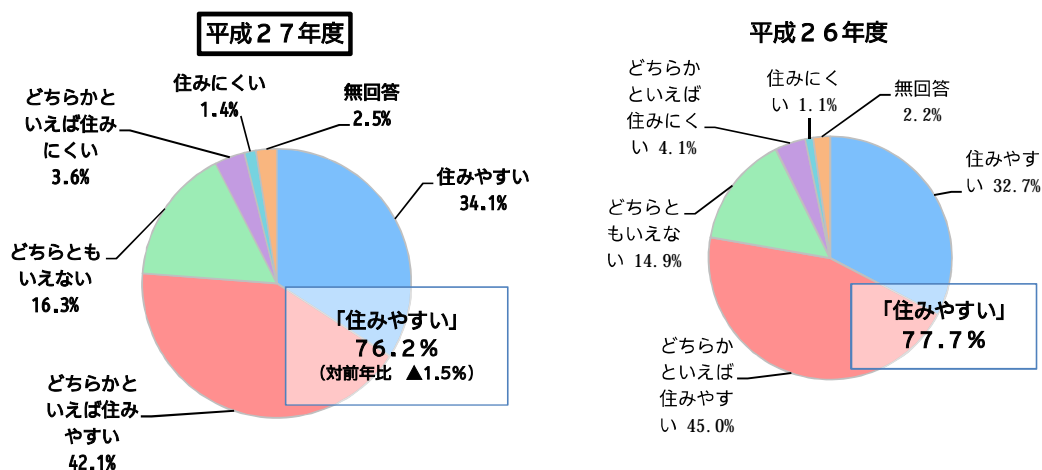
### 1 まとめ

#### (1) まちの住み心地について

本市は、「住みやすく」、これからも「住み続けたい」まちです。

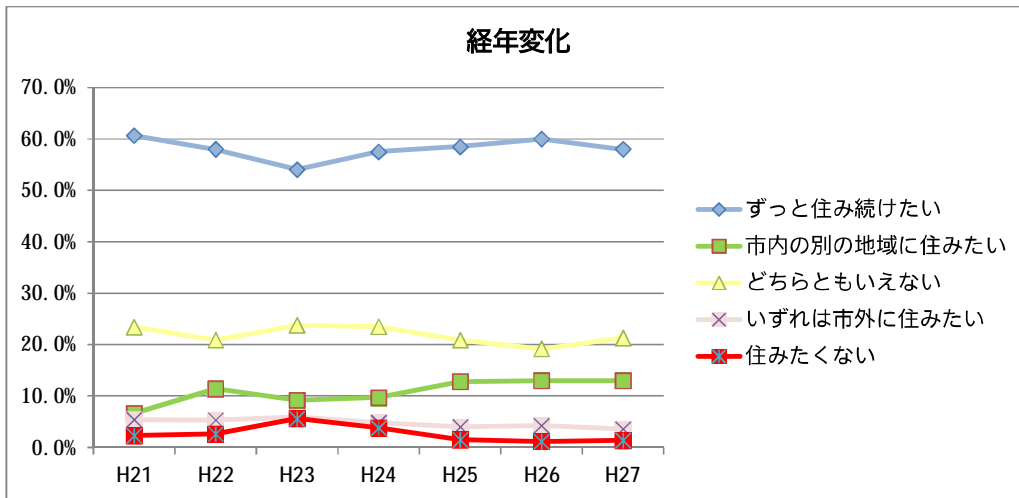
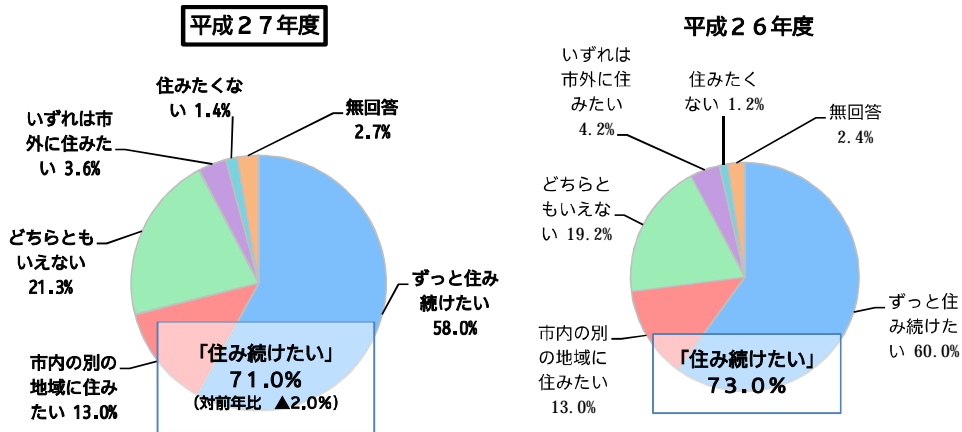
#### 《住みやすいまちですか》

郡山市が住みやすいかをたずねたところ、「住みやすい」は34.1%で、「どちらかといえば住みやすい」の42.1%と合わせると76.2%と、昨年度同様、約8割の方が郡山市は「住みやすい」まちと思っています。



《今後も住み続けたいですか》

郡山市に今後も住みたいかをたずねたところ、「ずっと住み続けたい」は58.0%で、「市内の別の地域に住みたい」の13.0%を合わせると71.0%と、昨年度同様、7割を超える方が、郡山市に「住み続けたい」と思っています。



【まちの住み心地に寄せられた主な意見】

- 郡山は自分にとって、住みやすい街であると思う。他の県の友人からも「いい街」だと言われることもある。(20代・男性)
- 結婚し郡山市民となりました。転勤で県外に住んだこともありましたが、郡山が一番住みやすいと感じています。(20代・女性)
- 郡山はもっともっと魅力的な街になれるはず。子どもたちがずっと住みたいと思ってくれるような街にしてください。(30代・女性)
- 幼少頃の郡山駅前の活気を取り戻せば、明るく住み良い魅力ある街になると思う。(50代・女性)
- 安心して子育てができ、老後の生活が健康で経済的にも生活ができる郡山市であってほしいです。(70歳以上・女性)

(2) まちづくりについて【満足度】

現在のまちづくりに対する満足度については、市民生活の基礎となる「教育」、「文化」や「保健」、「衛生」が上位となっています。

郡山市が進めているまちづくりについて、42項目（2ページ）をあげて満足度をたずねたところ、教育文化分野（音楽都市こおりやま、生涯学習）や保健衛生分野（医療、健康づくり、生活衛生、ごみ対策）など、市民生活の基礎となる項目が上位を占めています。

さらに、「除染」（8位←26位）や「自然環境」（10位←12位）が昨年度から順位を上げており、原子力災害への取り組みが評価されたものと思われます。

【平成27年度】

順位	前年度 順位	項目
1位	(1位)	音楽都市こおりやま
2位	(3位)	生涯学習
3位	(2位)	医療
4位	(4位)	広聴広報
5位	(8位)	ごみ対策
5位	(8位)	歴史・文化芸術
7位	(5位)	生活衛生
8位	(5位)	健康づくり
8位	(26位)	除染
10位	(12位)	自然環境

【平成26年度】

順位	項目
1位	音楽都市こおりやま
2位	医療
3位	生涯学習
4位	広聴広報
5位	生活衛生
5位	健康づくり
7位	乳幼児教育
8位	歴史・文化芸術
8位	ごみ対策
10位	学校教育



(3) これからの取り組みについて【重要度】

これから重点的に取り組んでほしい項目は、「高齢者・障がい者福祉」や「子育て」などの少子高齢化対策のほか、「計画的なまちづくり」や「交通・道路」などインフラ整備への取り組みが上位となっています。

郡山市が進めているまちづくり42項目（2ページ）について、重要度をたずねたところ、保健福祉分野（高齢者・障がい者福祉、子育て、医療）など、市民生活に密着した項目が上位を占めており、引き続き少子高齢化への早急な対応が求められています。

また、「計画的なまちづくり」や「交通・道路」など、生活の基盤となるインフラ整備に向けた取り組みが順位を上げました。

【平成27年度】

順位	前年度 順位	項目
1位	(1位)	高齢者・障がい者福祉
2位	(3位)	学校教育
3位	(2位)	子育て
4位	(5位)	医療
5位	(5位)	雇用促進
5位	(7位)	計画的なまちづくり
7位	(13位)	交通・道路
8位	(12位)	防犯・交通安全・消費者対策
9位	(9位)	青少年の健全育成
10位	(15位)	産業創出

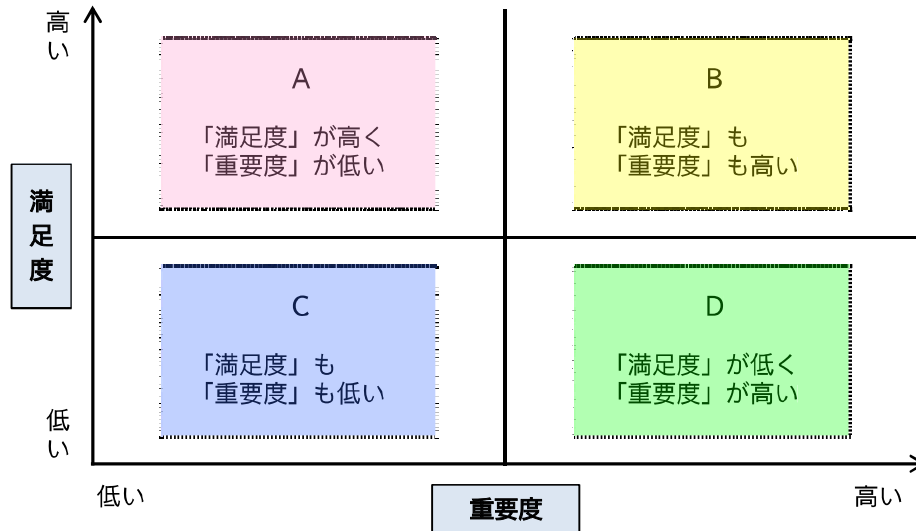
【平成26年度】

順位	項目
1位	高齢者・障がい者福祉
2位	子育て
3位	学校教育
4位	除染
5位	医療
5位	雇用促進
7位	計画的なまちづくり
8位	新エネルギー
9位	青少年の健全育成
10位	健康管理



### 《満足度と重要度の散布図》

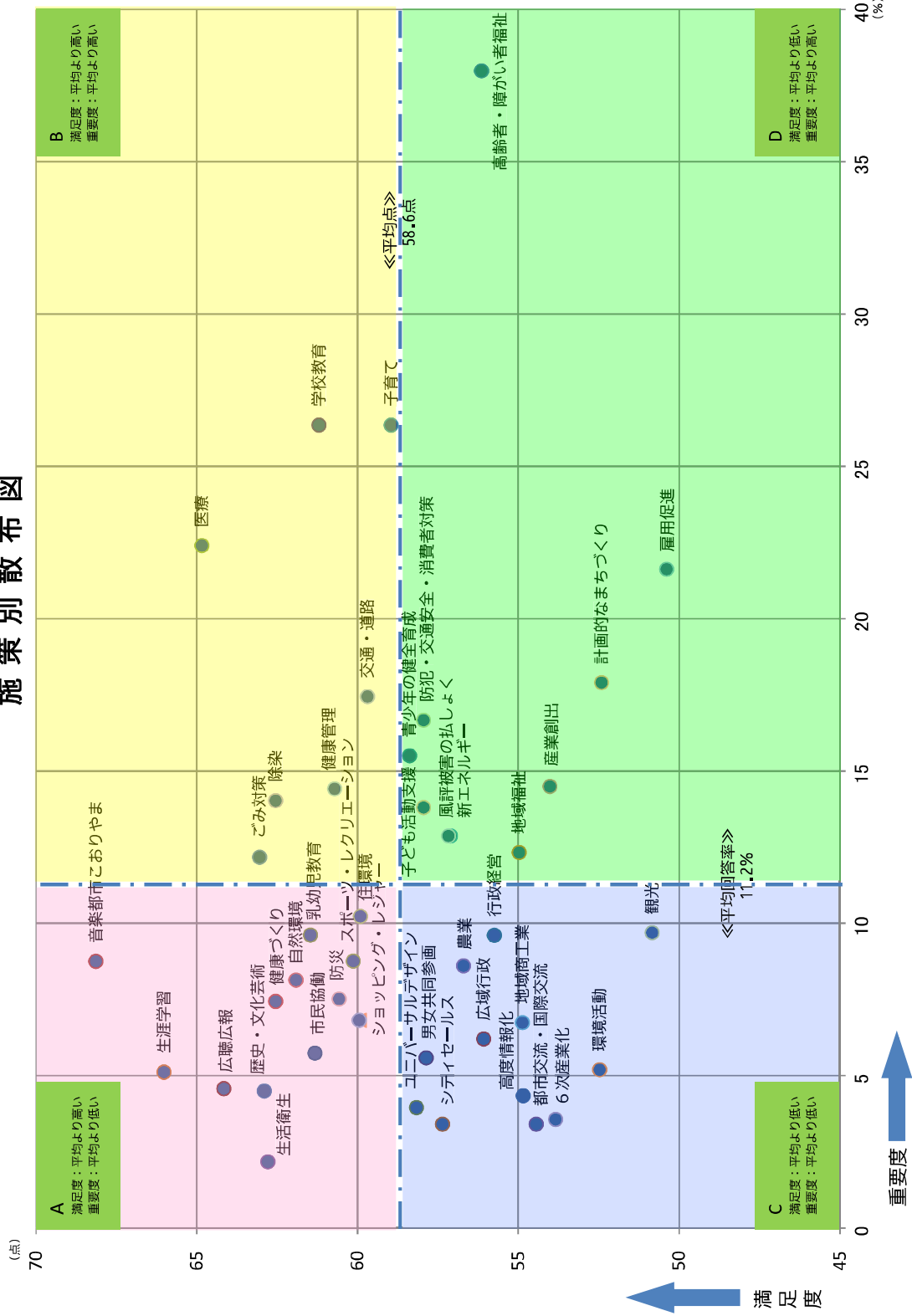
本市のまちづくり（取り組み）における項目間の相対的な位置付けを整理するため、「満足度」を縦軸、「重要度」を横軸にとり、各項目の「満足度」「重要度」の数値を散布図に示しました。「満足度」「重要度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



- A： 維持領域  
重要度は低いが満足度が高い取り組みは、現状を維持していく項目
- B： 重要維持領域  
重要度が高い取り組みに満足しているということは、引き続き重点的に維持していく項目
- C： 要検討領域  
重要度も満足度も低い取り組みは、市民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目
- D： 重要改善領域  
重要度が高い取り組みに満足していないということは、現在のやり方を変えていく必要がある項目

上記のそれぞれの領域に該当した項目の満足度や重要度の高低については、あくまで全体の平均と比較して、相対的に満足度や重要度が高い低いということとなります。

施策別散布図

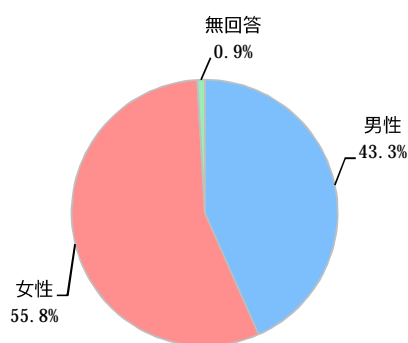


## 2 回答者の基本属性

### (1) 男女別

男女別の回答率は、男性43.3%、女性55.8%と女性の方が男性を12.5%上回っています。

	発送数		回答数		
	男性	女性	男性	女性	無回答
計	1,250	1,250	559	720	11

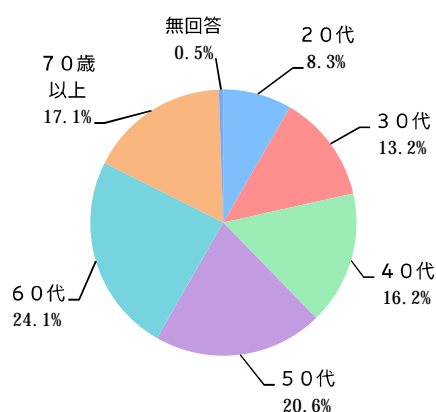


### (2) 年代別

年代別の回答率は、「70歳以上」が70.7%と最も多く、次いで「60代」の65.1%となっています。

一方、回答率が最も低いのは「20代」と、若年層の回答率の向上が課題となっています。

年齢層	発送数	回答数	回答率	構成比
20代	353	107	30.3%	8.3%
30代	438	170	38.8%	13.2%
40代	464	209	45.0%	16.2%
50代	456	266	58.3%	20.6%
60代	478	311	65.1%	24.1%
70歳以上	311	220	70.7%	17.1%
無回答	-	7	-	0.5%
計	2,500	1,290	51.6%	100.0%



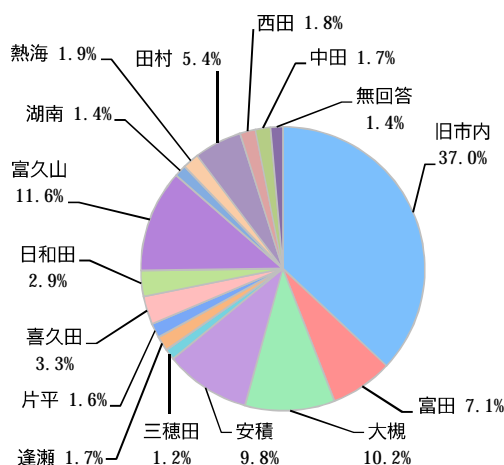


### (3) 地域別

地域別の回答率は、「湖南」が64.3%と最も高く、次いで「逢瀬」の62.9%、「西田」の60.5%となっています。

一方、回答率が最も低いのは、「片平」の43.8%、次いで「三穂田」の47.1%、「喜久田」の47.7%となっています。

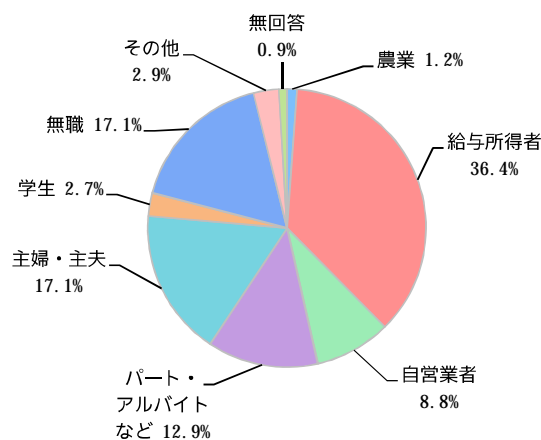
	発送数	回答数	回答率	構成比
旧市内	955	476	49.8%	37.0%
富田	184	92	50.0%	7.1%
大槻	256	132	51.6%	10.2%
安積	261	126	48.3%	9.8%
三穂田	34	16	47.1%	1.2%
逢瀬	35	22	62.9%	1.7%
片平	48	21	43.8%	1.6%
喜久田	88	42	47.7%	3.3%
日和田	77	38	49.4%	2.9%
富久山	270	150	55.6%	11.6%
湖南	28	18	64.3%	1.4%
熱海	46	24	52.2%	1.9%
田村	141	70	49.6%	5.4%
西田	38	23	60.5%	1.8%
中田	39	22	56.4%	1.7%
無回答	-	18	-	1.4%
計	2,500	1,290	51.6%	100.0%



### (4) 職業別

有効回答数に占める職業別の割合は、「給与所得者」の36.4%が最も多く、次いで「主婦・主夫」の17.1%となっています。

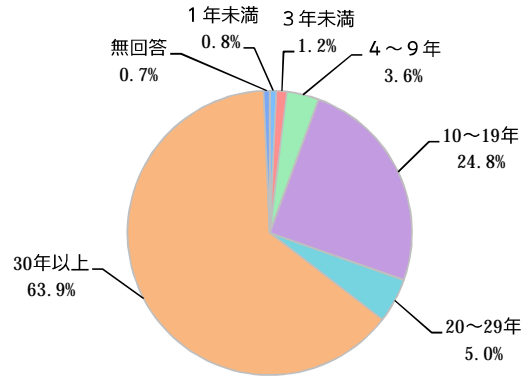
職業別	回答数	構成比
農業	15	1.2%
給与所得者	470	36.4%
自営業者	114	8.8%
パート・アルバイトなど	166	12.9%
主婦・主夫	220	17.1%
学生	35	2.7%
無職	220	17.1%
その他	38	2.9%
無回答	12	0.9%
計	1,290	100.0%



(5) 居住年数別

有効回答数に占める居住年数別の割合は、「30年以上」の63.9%が最も多く、次いで「10～19年」の24.8%、「20～29年」の5.0%となっています。

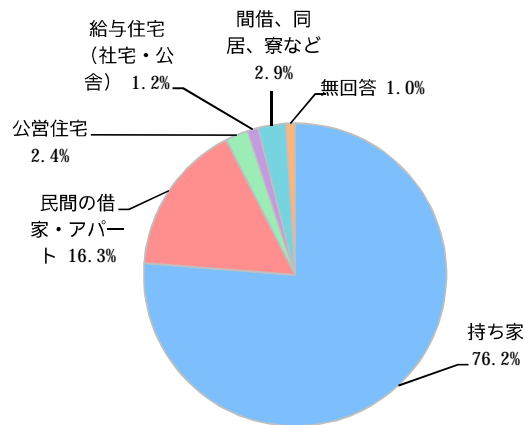
居住年数	回答数	構成比
1年未満	10	0.8%
3年未満	15	1.2%
4～9年	47	3.6%
10～19年	320	24.8%
20～29年	65	5.0%
30年以上	824	63.9%
無回答	9	0.7%
計	1,290	100.0%



(6) 居住形態別

有効回答数に占める居住形態別の割合は、「持ち家」の76.2%が最も多く、次いで「民間の借家・アパート」の16.3%となっています。

居住形態	回答数	構成比
持ち家	983	76.2%
民間の借家・アパート	210	16.3%
公営住宅	31	2.4%
給与住宅(社宅・公舎)	15	1.2%
間借、同居、寮など	38	2.9%
無回答	13	1.0%
計	1,290	100.0%





## 『市民提案制度「みなさんの声」』

郡山市では、まちづくりの主役である市民の皆さんの立場と視点に立ったまちづくりを進めています。

「みなさんの声」は、市民の皆さん一人ひとりの声を反映するための制度です。

お寄せいただいた貴重なご提案等は、より良い市政運営のために活用させていただきます。

### ☆☆専用用紙による投稿☆☆

市役所本庁舎1階、西庁舎1階、各行政センター及び市民サービスセンターに備えてあります。

### ☆☆郡山市ウェブサイトからの投稿☆☆

ウェブサイトをご利用ください。（「市民提案制度」のページから。）

### ☆☆ファックスによる投稿☆☆

ファックスをご利用ください。（フリーダイヤル：0120-435106）

### 3 まちの住み心地について

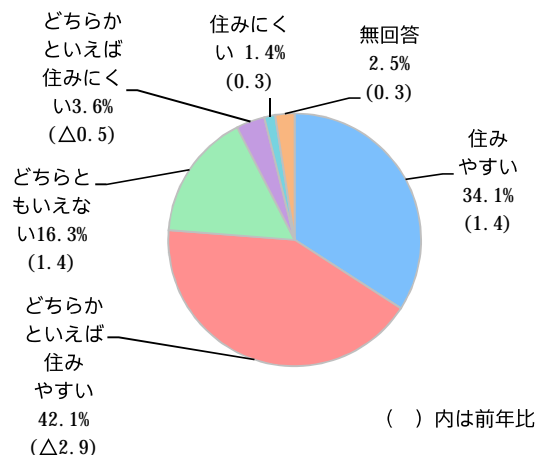
#### (1) 郡山市は住みやすいまちか聞きました。(1つ選択)

##### ①全体

「どちらかといえば住みやすい」が42.1%と最も多く、次いで「住みやすい」が34.1%となっています。

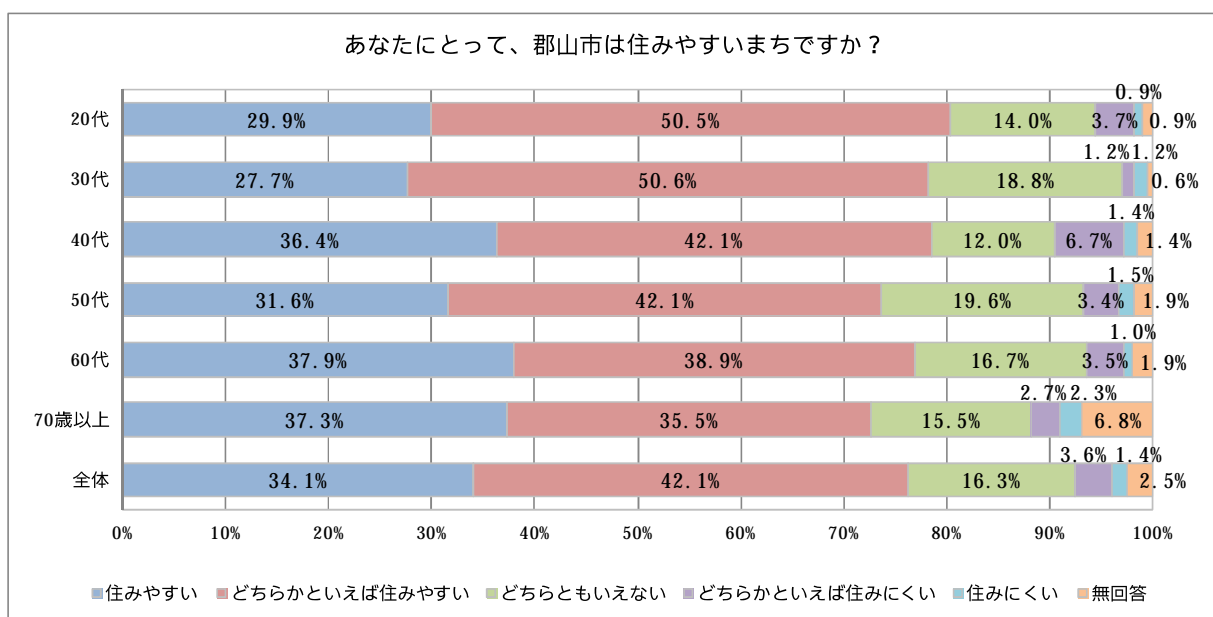
また、「どちらかといえば住みにくい」は3.6%、「住みにくい」は1.4%となっています。

	回答数	回答率
住みやすい	440	34.1%
どちらかといえば住みやすい	543	42.1%
どちらともいえない	210	16.3%
どちらかといえば住みにくい	47	3.6%
住みにくい	18	1.4%
無回答	32	2.5%
計	1,290	100.0%



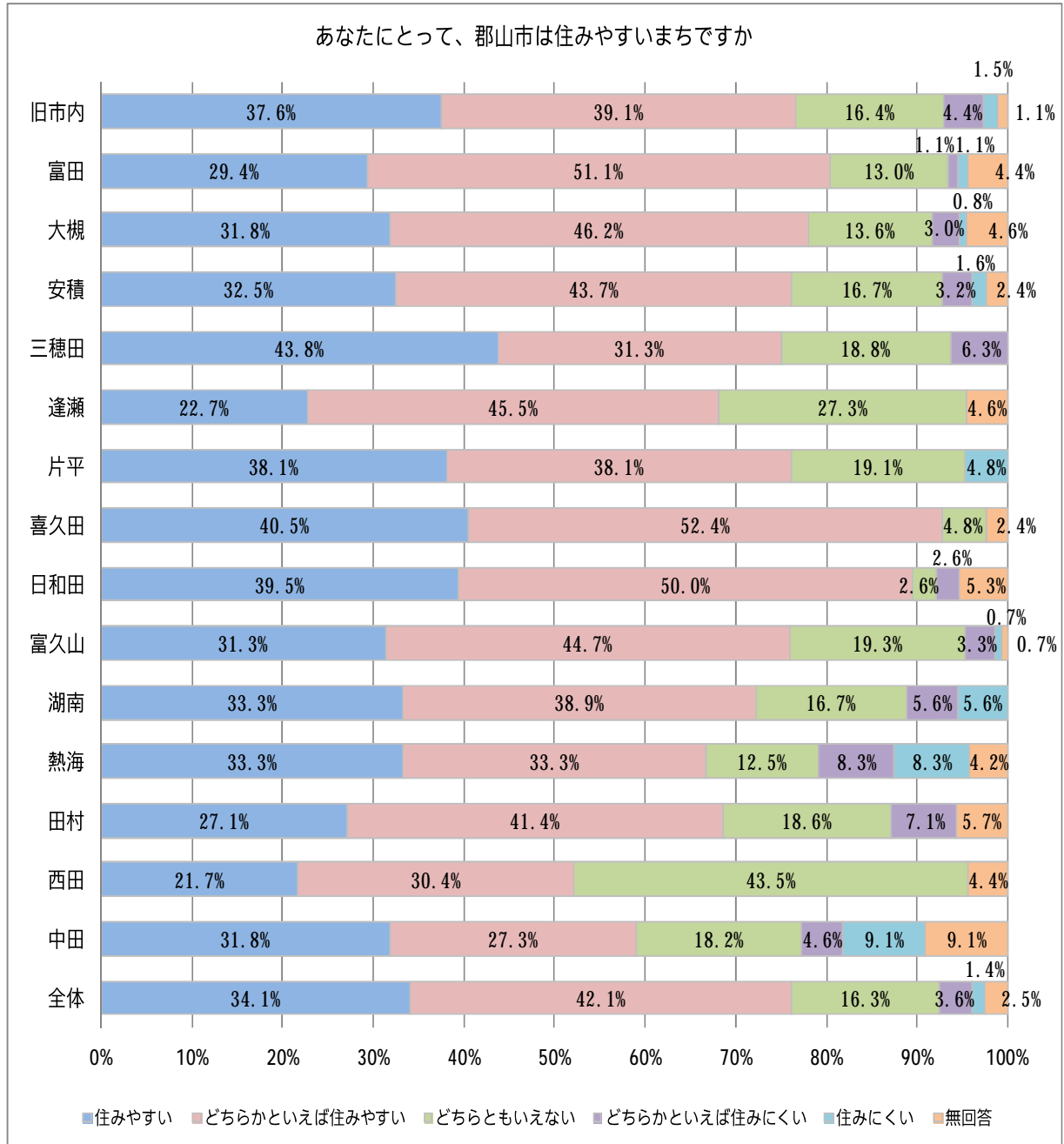
##### ②年代別

「住みやすい」と答えた年代が最も多かったのは、「60代」の37.9%、次いで「70歳以上」の37.3%、「40代」の36.4%となっています。



③地域別

「住みやすい」と答えたが割合が最も多かったのは、「三穂田」の43.8%、次いで「日和田」の39.5%、「片平」の38.1%となっています。

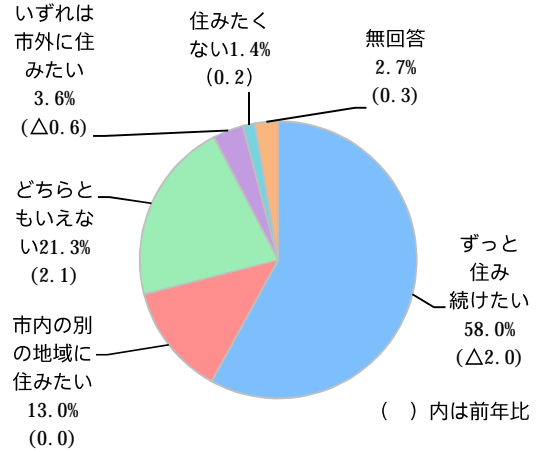


(2) 今後も郡山市に住みたいか聞きました。(1つ選択)

①全体

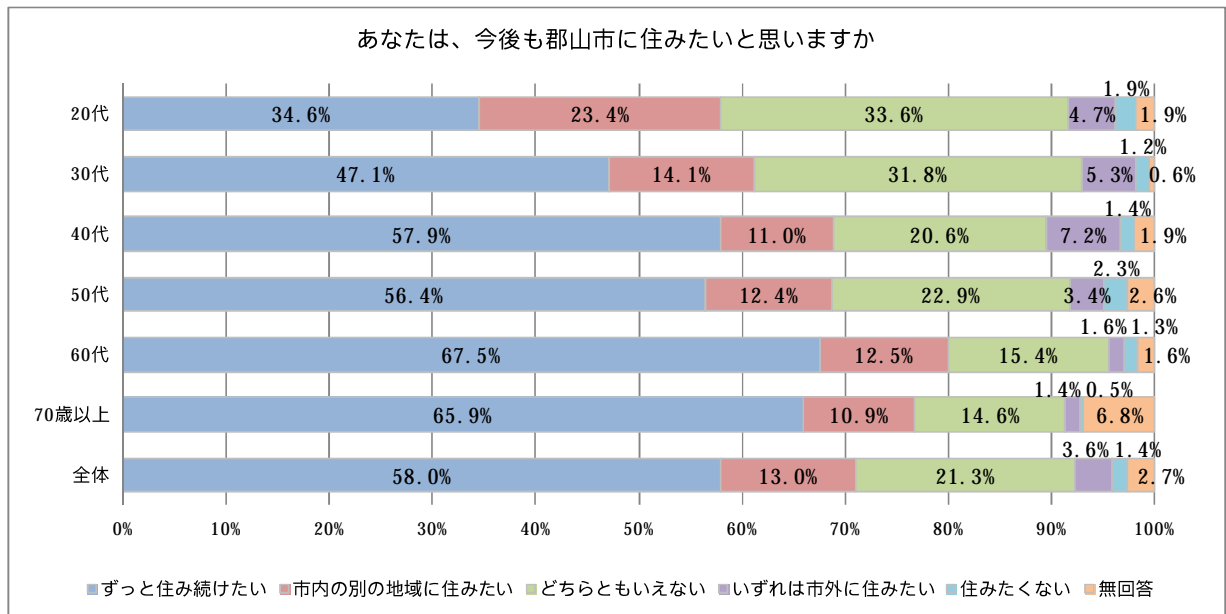
「ずっと住み続けたい」が58.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が21.3%となっています。  
また、「いずれは市外に住みたい」は3.6%、「住みたくない」は1.4%となっています。

	回答数	回答率
ずっと住み続けたい	748	58.0%
市内の別の地域に住みたい	168	13.0%
どちらともいえない	275	21.3%
いずれは市外に住みたい	46	3.6%
住みたくない	18	1.4%
無回答	35	2.7%
計	1,290	100.0%



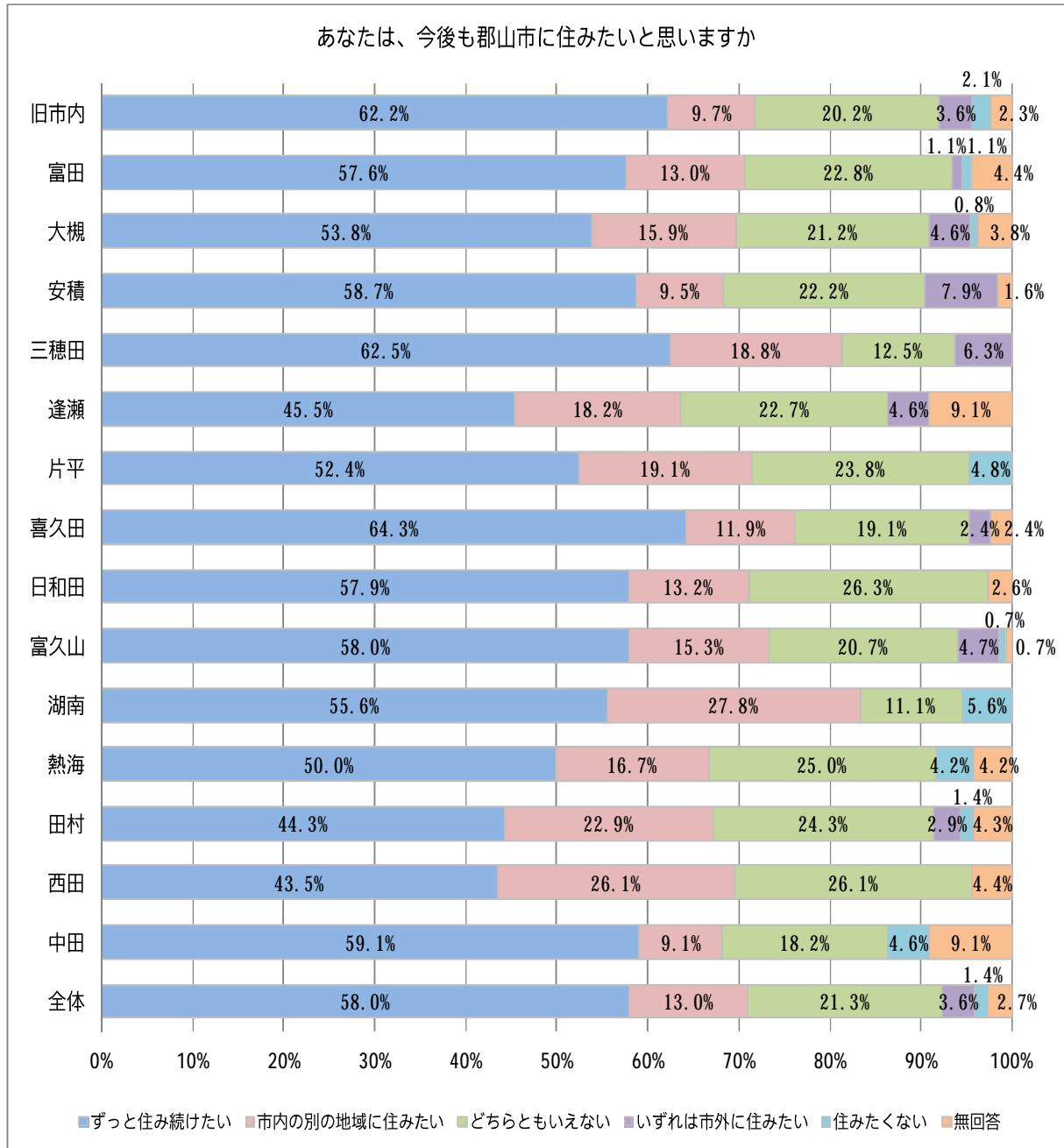
②年代別

「ずっと住み続けたい」と答えた年代が最も多かったのは、「60代」の67.5%、次いで「70代」の65.9%、「40代」の57.9%となっています。



③地域別

「ずっと住み続けたい」と答えたが割合が最も多かったのは、「喜久田」の64.3%、次いで「三穂田」の62.5%、「旧市内」の62.2%となっています。



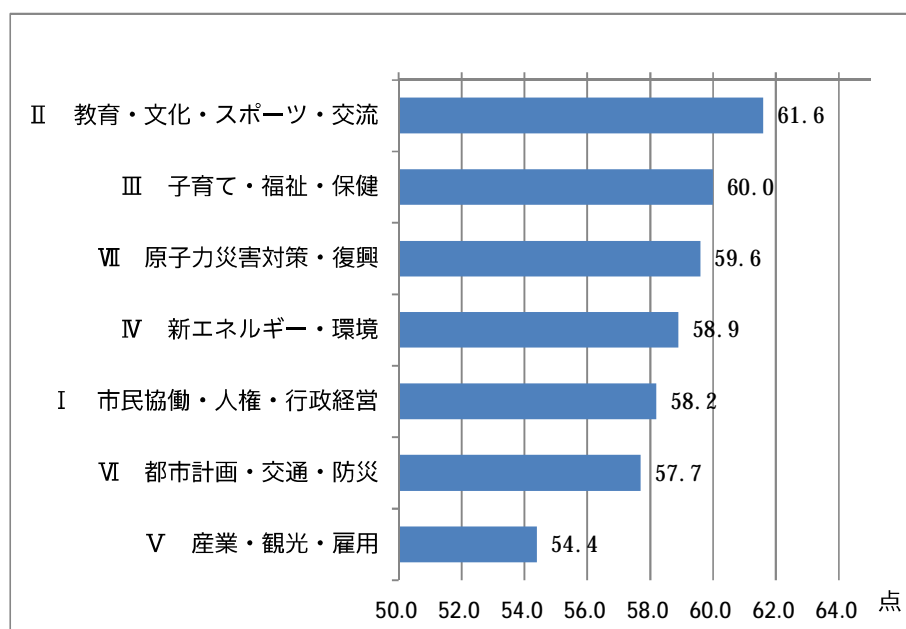
## 4 まちづくりについて【満足度】

### (1) 分野別の満足度ランキング

42項目（23ページ）の現在の取り組み状況について、それぞれに満足度を点数化し、各分野毎に平均点を求め、ランキングに表しました。（得点の出し方は23ページ）

満足度が最も高かったのは、「教育・文化・スポーツ・交流」の61.6点、次いで「子育て・福祉・保健」の60.0点、「原子力災害対策・復興」の59.6点となっています。

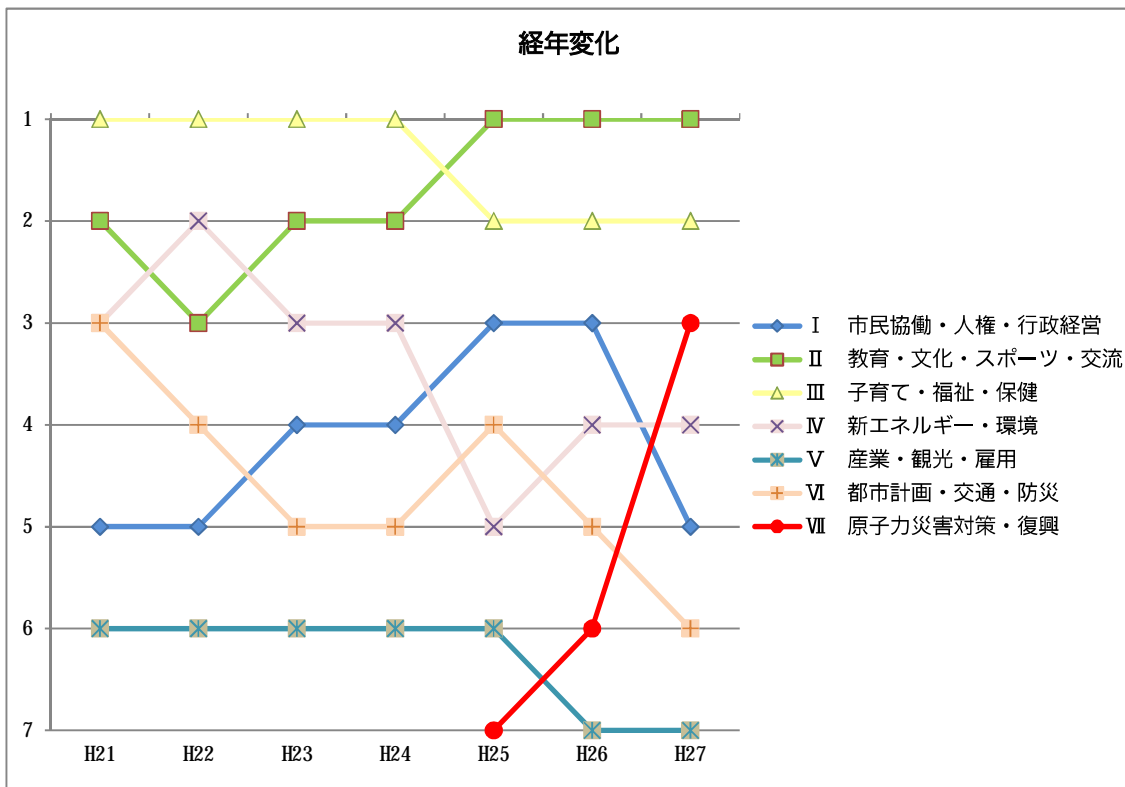
順位	前年度 順位		分野	点数
1位	(1位)	→	II 教育・文化・スポーツ・交流	61.6
2位	(2位)	→	III 子育て・福祉・保健	60.0
3位	(6位)	→	VII 原子力災害対策・復興	59.6
4位	(4位)	→	IV 新エネルギー・環境	58.9
5位	(3位)	→	I 市民協働・人権・行政経営	58.2
6位	(5位)	→	VI 都市計画・交通・防災	57.7
7位	(7位)	→	V 産業・観光・雇用	54.4





1位は「教育・文化・スポーツ」、2位は「子育て・福祉・保健」と昨年度から順位の変動はありませんでした。

また、「原子力災害対策・復興」が昨年度の6位から3位に順位を上げました。これは、復興に向けた継続的な取り組みが認知されてきているものと思われます。



(2) 項目別の満足度ランキング

42項目（23ページ）の現在の取り組み状況について、どのように感じているか選択（満足度）し、それぞれに点数化しランキングに表しました。（得点の出し方は23ページ）

「音楽都市こおりやま」や「生涯学習」「歴史・文化芸術」など、市民生活に潤いをプラスするための施策や、「医療」や「ごみ対策」「生活衛生」など、市民生活に直接結びつく施策が上位にきています。また、「除染」や「風評被害の払しょく」が大きく順位を上げました。

【満足度】平均58.6点

順位	前年度順位		項目	点数
1位	(1位)	→	II-14 音楽都市こおりやま	68.1
2位	(3位)	↗	II-12 生涯学習	66.0
3位	(2位)	↘	III-21 医療	64.8
4位	(4位)	→	I-2 広聴広報	64.2
5位	(8位)	↗	IV-25 ごみ対策	63.0
6位	(8位)	↗	II-13 歴史・文化芸術	62.9
7位	(5位)	↘	III-22 生活衛生	62.8
8位	(5位)	↘	III-20 健康づくり	62.5
8位	(26位)	↑	VII-39 除染	62.5
10位	(12位)	↗	IV-26 自然環境	61.9
11位	(7位)	↘	II-9 乳幼児教育	61.5
12位	(11位)	↘	I-1 市民協働	61.3
13位	(10位)	↘	II-10 学校教育	61.2
14位	(19位)	↑	VII-40 健康管理	60.7
15位	(15位)	→	VI-37 防災	60.6
16位	(13位)	↘	II-15 スポーツ・レクリエーション	60.1
17位	(16位)	↘	V-30 ショッピング・レジャー	60.0
18位	(17位)	↘	IV-27 住環境	59.9
19位	(13位)	↓	VI-36 交通・道路	59.7
20位	(18位)	↘	III-17 子育て	59.0
21位	(21位)	→	II-11 青少年の健全育成	58.4
22位	(24位)	↗	I-3 ユニバーサルデザイン	58.2
23位	(30位)	↑	VII-41 子ども活動支援	58.0
24位	(25位)	↗	I-4 男女共同参画	57.9
24位	(22位)	↘	VI-38 防犯・交通安全・消費者対策	57.9
26位	(20位)	↓	I-6 シティプロモーション	57.4
27位	(35位)	↑	VII-42 風評被害の払しょく	57.2
28位	(29位)	↗	IV-23 新エネルギー	57.1
29位	(32位)	↗	V-28 農業	56.7
30位	(28位)	↘	I-8 広域行政	56.1
30位	(23位)	↘	III-19 高齢者・障がい者福祉	56.1
32位	(31位)	↘	I-5 行政経営	55.7
33位	(26位)	↓	III-18 地域福祉	55.0
34位	(32位)	↘	I-7 高度情報化	54.9
34位	(37位)	↗	V-29 地域商工業	54.9
36位	(34位)	↘	II-16 都市交流・国際交流	54.4
37位	(39位)	↗	V-31 産業創出	54.0
38位	(36位)	↘	V-33 6次産業化	53.8
39位	(41位)	↗	IV-24 環境活動	52.5
40位	(38位)	↘	VI-35 計画的なまちづくり	52.4
41位	(40位)	↘	V-32 観光	50.8
42位	(42位)	→	V-34 雇用促進	50.4

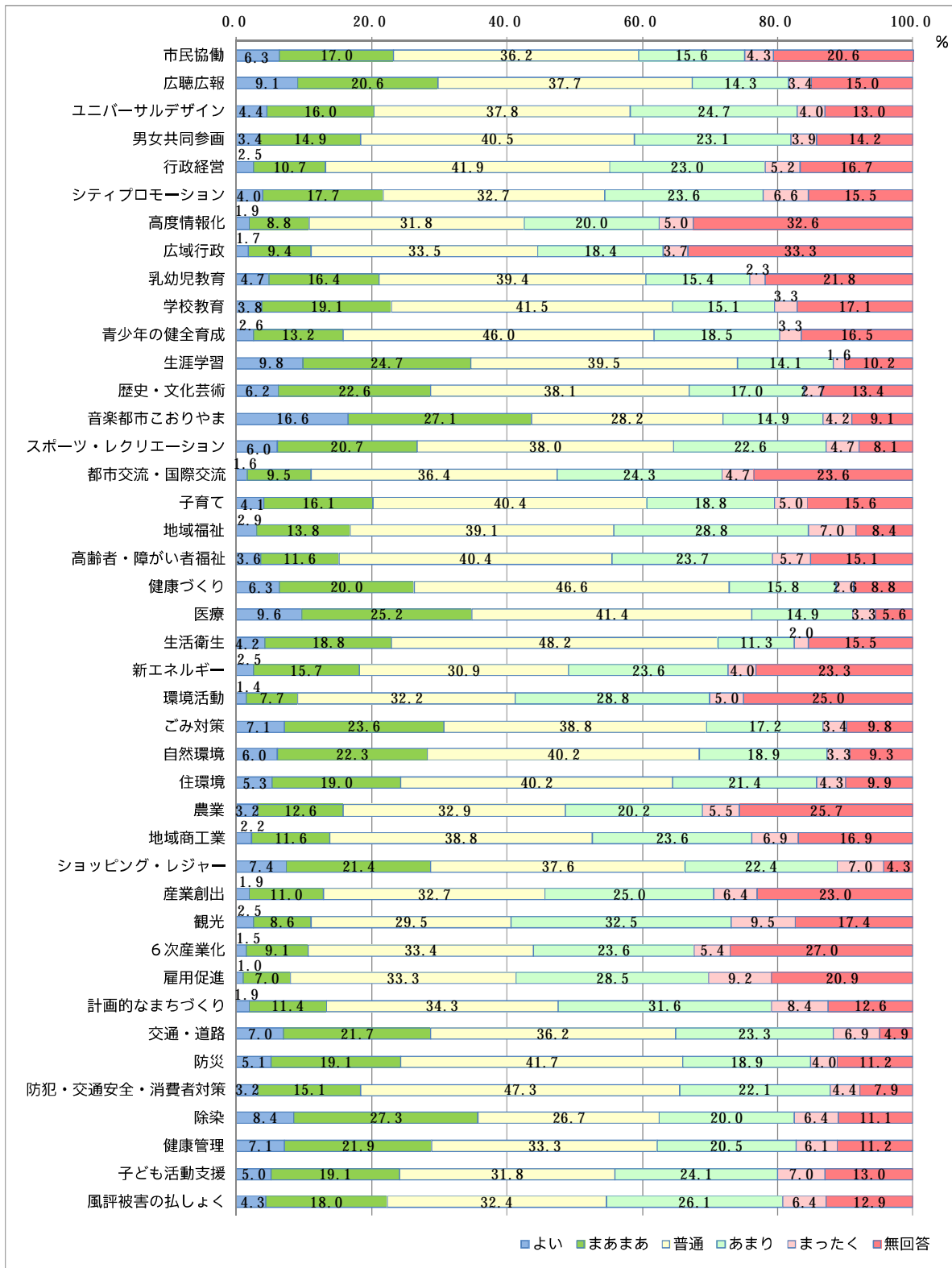
平均より高い



平均より低い



(3) 項目別の満足度回答状況

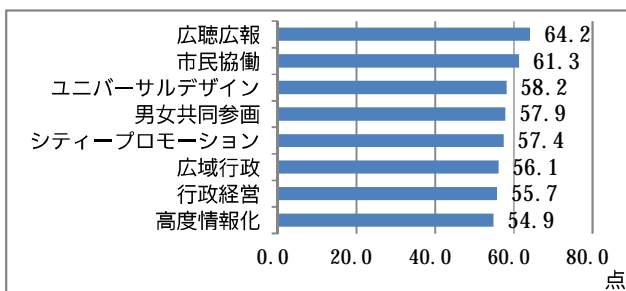


(4) 分野別・項目別の満足度ランキング

分野Ⅰ 市民協働・人権・行政経営

満足度が最も高かったのは、「広聴広報」の64.2点で、次いで「市民協働」の61.3点、「ユニバーサルデザイン」の58.2点となっています。

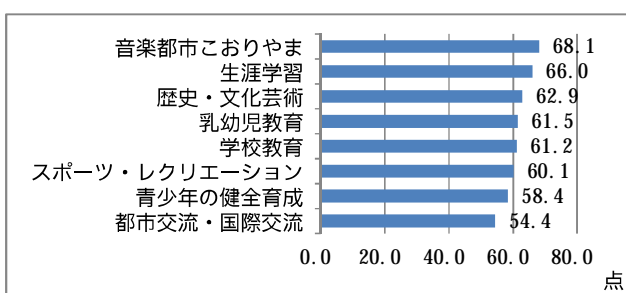
順位	項目	満足度
1	広聴広報	64.2
2	市民協働	61.3
3	ユニバーサルデザイン	58.2
4	男女共同参画	57.9
5	シティープロモーション	57.4
6	広域行政	56.1
7	行政経営	55.7
8	高度情報化	54.9



分野Ⅱ 教育・文化・スポーツ・交流

満足度が最も高かったのは、「音楽都市こおりやま」の68.1点、次いで「生涯学習」の66.0点、「歴史・文化芸術」の62.9点となっています。

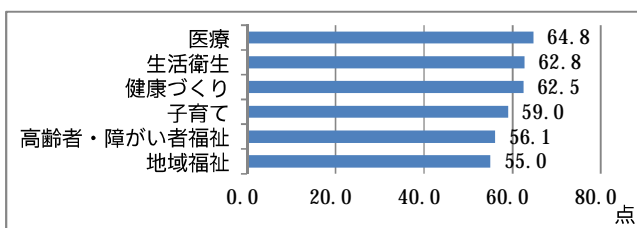
順位	項目	満足度
1	音楽都市こおりやま	68.1
2	生涯学習	66.0
3	歴史・文化芸術	62.9
4	乳幼児教育	61.5
5	学校教育	61.2
6	スポーツ・レクリエーション	60.1
7	青少年の健全育成	58.4
8	都市交流・国際交流	54.4



分野Ⅲ 子育て・福祉・保健

満足度が最も高かったのは、「医療」の64.8点、次いで「生活衛生」の62.8点、「健康づくり」の62.5点となっています。

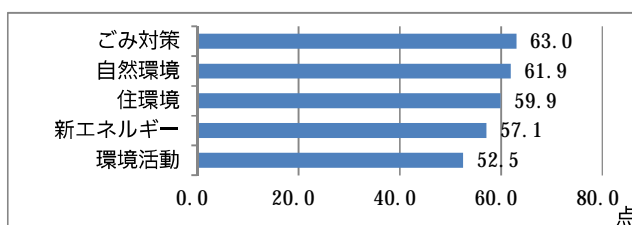
順位	項目	満足度
1	医療	64.8
2	生活衛生	62.8
2	健康づくり	62.5
4	子育て	59.0
5	高齢者・障がい者福祉	56.1
6	地域福祉	55.0



**分野Ⅳ 新エネルギー・環境**

満足度が最も高かったのは、「ごみ対策」の63.0点、次いで「自然環境」の61.9点、「住環境」の59.9点となっています。

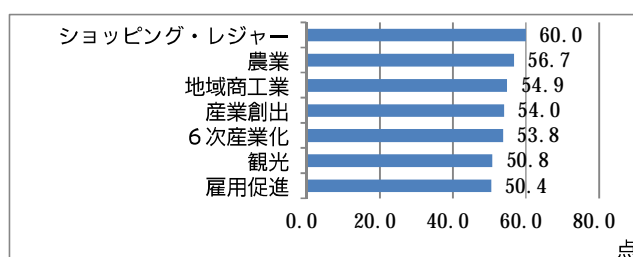
順位	項目	満足度
1	ごみ対策	63.0
2	自然環境	61.9
3	住環境	59.9
4	新エネルギー	57.1
5	環境活動	52.5



**分野Ⅴ 産業・観光・雇用**

満足度が最も高かったのは、「ショッピング・レジャー」の60.0点、次いで「農業」の56.7点、「地域商工業」の54.9点となっています。

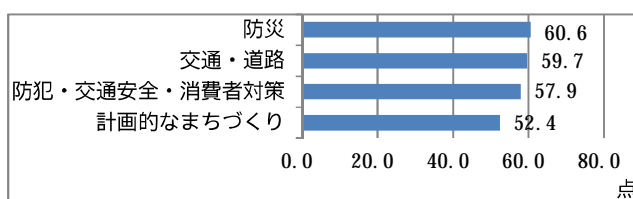
順位	項目	満足度
1	ショッピング・レジャー	60.0
2	農業	56.7
3	地域商工業	54.9
4	産業創出	54.0
5	6次産業化	53.8
6	観光	50.8
7	雇用促進	50.4



**分野Ⅵ 都市計画・交通・防災**

満足度が最も高かったのは、「防災」の60.6点、次いで「交通・道路」の59.7点、「防犯・交通安全・消費者対策」の57.9点となっています。

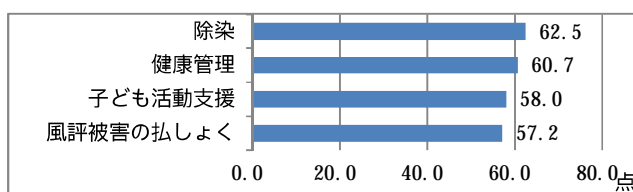
順位	項目	満足度
1	防災	60.6
2	交通・道路	59.7
3	防犯・交通安全・消費者対策	57.9
4	計画的なまちづくり	52.4



**分野Ⅶ 原子力災害対策・復興**

満足度が最も高かったのは、「除染」の62.5点、次いで「健康管理」の60.7点、「子ども活動支援」の58.0点となっています。

順位	項目	満足度
1	除染	62.5
2	健康管理	60.7
3	子ども活動支援	58.0
4	風評被害の払しょく	57.2



《参考》

◆得点の出し方

項目毎に配点し、「よい」=5点を100点として計算(×20)したものに回答した人数を掛け、回答者の合計人数で割ります。(無回答は対象外)

満足度		得点
よい	→	5
まあまあ	→	4
普通	→	3
あまり	→	2
まったく	→	1

【得点の出し方】(「よい」=5点を100点として計算)

$$\text{点数} = \frac{(\text{「よい」を選んだ人数}) \times 5 \text{点} + (\text{「まあまあ」を選んだ人数}) \times 4 \text{点} + (\text{「普通」を選んだ人数}) \times 3 \text{点} + (\text{「あまり」を選んだ人数}) \times 2 \text{点} + (\text{「まったく」を選んだ人数}) \times 1 \text{点}}{(\text{回答者の合計人数})} \times 20$$

例えば、「よい」214人、「まあまあ」349人、「普通」364人、「あまり」192人、「まったく」54人だと

$$\text{点数} = \frac{\underbrace{(214人) \times 5 \text{点}}_{1,070} + \underbrace{(349人) \times 4 \text{点}}_{1,396} + \underbrace{(364人) \times 3 \text{点}}_{1,092} + \underbrace{(192人) \times 2 \text{点}}_{384} + \underbrace{(54人) \times 1 \text{点}}_{54}}{1,173 \text{人 (回答者の合計人数)}} \times 20$$

≒68.1 (点) となります。

※仮に、回答者全員が「よい」を選択すれば、平均得点は5点(最高点)となり、100点となります。  
また、回答者全員が「普通」を選択すれば、60点、回答者全員が「まったく」を選択すれば20点となります。

◆7分野42項目

分野	項目	
I (8項目)	市民協働・ 人権・行政経営	(1)市民協働 (2)広聴広報 (3)ユニバーサルデザイン
		(4)男女共同参画 (5)行政経営 (6)シティプロモーション
		(7)高度情報化 (8)広域行政
II (8項目)	教育・文化・ スポーツ・交流	(9)乳幼児教育 (10)学校教育 (11)青少年の健全育成
		(12)生涯学習 (13)歴史・文化芸術
		(14)音楽都市こおりやま (15)スポーツ・レクリエーション
		(16)都市交流・国際交流
III (6項目)	子育て・福祉・ 保健	(17)子育て (18)地域福祉 (19)高齢者・障がい者福祉
		(20)健康づくり (21)医療 (22)生活衛生
IV (5項目)	新エネルギー・ 環境	(23)新エネルギー (24)環境活動 (25)ごみ対策
		(26)自然環境 (27)住環境
V (7項目)	産業・観光・ 雇用	(28)農業 (29)地域商工業 (30)ショッピング・レジャー
		(31)産業創出 (32)観光 (33)6次産業化 (34)雇用促進
VI (4項目)	都市計画・ 交通・防災	(35)計画的なまちづくり (36)交通・道路 (37)防災
		(38)防犯・交通安全・消費者対策
VII (4項目)	原子力災害対策・ 復興	(39)除染 (40)健康管理 (41)子ども活動支援
		(42)風評被害の払しょく



## 『郡山市の情報を発信しています』

☆☆広報こおりやま☆☆



子育て情報や市政に関する情報など、読んで楽しい「広報こおりやま」。町内会や自治会を通じてお配りしているほか、公共機関などに備えてあります。毎月1日発行（市ウェブサイトでも公開しています。）

☆☆郡山市ウェブサイト☆☆



季節のイベントなど、旬な情報をお届けする「郡山市のポータルサイト」。知りたい情報を分かりやすくお伝えしております。

↓郡山市ウェブサイト

<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/>

☆☆郡山市公式フェイスブック☆☆



がんばっている皆さんのスマイルメッセージなど、郡山の元気や魅力を配信する「郡山市公式フェイスブック」。フェイスブックに登録していなくても市ウェブサイトからご覧になれます。

↓郡山市公式フェイスブック

<http://www.facebook.com/KoriyamaCity>

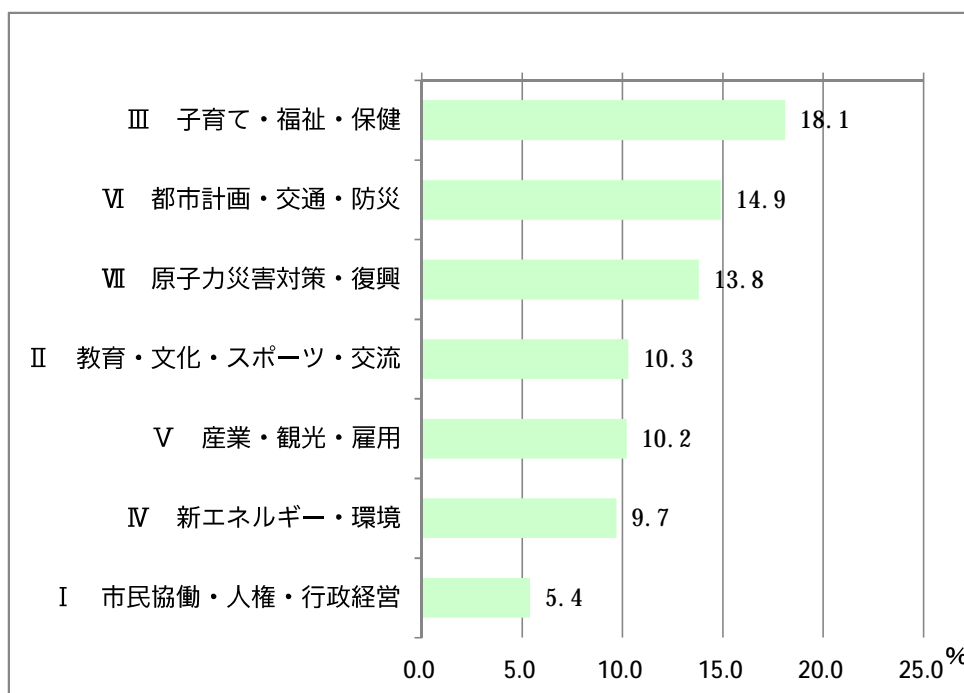
## 5 これからの取り組みについて【重要度】

### (1) 分野別の重要度ランキング

42項目（31ページ）のうち今後重点的に取り組んでほしい取り組み（重要度）の回答率を、各分野毎に平均回答率を求め、ランキングに表しました。（回答率の出し方は31ページ）

重要度が最も高かったのは、「子育て・福祉・保健」の18.1%、次いで「都市計画・交通・防災」の14.9%、「原子力災害対策・復興」の13.8%となっています。

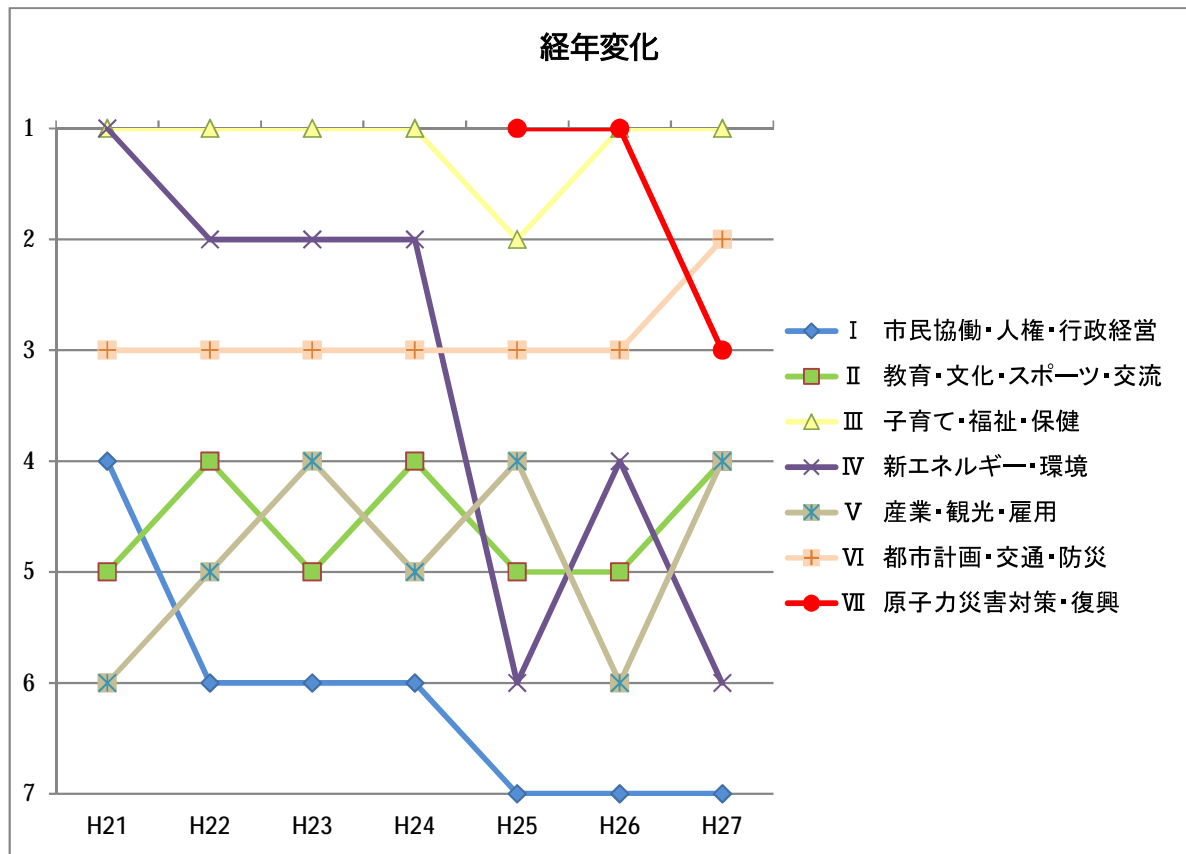
順位	前年度 順位		分野	回答率
1位	(1位)	→	III 子育て・福祉・保健	18.1
2位	(3位)	→	VI 都市計画・交通・防災	14.9
3位	(1位)	→	VII 原子力災害対策・復興	13.8
4位	(5位)	→	II 教育・文化・スポーツ・交流	10.3
5位	(6位)	→	V 産業・観光・雇用	10.2
6位	(4位)	→	IV 新エネルギー・環境	9.7
7位	(7位)	→	I 市民協働・人権・行政経営	5.4





1位は「子育て・福祉・保健」と昨年度から順位の変動はありませんでしたが、同率1位だった「原子力災害対策・復興」は3位に順位を下げました。

また、「都市計画・交通・防災」が昨年度の3位から2位に順位を上げました。これは、復興に向けた継続的な取り組みが認知され、新たな都市づくりへの期待とされます。



(2) 項目別の重要度ランキング

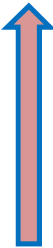
42項目（31ページ）の取り組みから今後重点的に取り組んでほしいものを選択（重要度）し、それぞれの回答率をランキングに表しました。（回答率の出し方は31ページ）

「高齢者・障がい者福祉」や「学校教育」「子育て」「医療」など、市民が生活していくうえで必要不可欠な施策が上位にきています。また、「観光」や「交通・道路」「ごみ対策」が大きく順位を上げました。

【重要度】平均11.2%

順位	前年度 順位		項目	回答率
1位	(1位)	→	Ⅲ-19 高齢者・障がい者福祉	38.0
2位	(3位)	↗	Ⅱ-10 学校教育	26.4
2位	(2位)	→	Ⅲ-17 子育て	26.4
4位	(5位)	↗	Ⅲ-21 医療	22.4
5位	(5位)	→	Ⅴ-34 雇用促進	21.6
5位	(7位)	↗	Ⅵ-35 計画的なまちづくり	17.9
7位	(13位)	↑	Ⅵ-36 交通・道路	17.4
8位	(12位)	↗	Ⅵ-38 防犯・交通安全・消費者対策	16.7
9位	(9位)	→	Ⅱ-11 青少年の健全育成	15.5
10位	(15位)	↑	Ⅴ-31 産業創出	14.5
11位	(10位)	↖	Ⅶ-40 健康管理	14.4
12位	(4位)	↓	Ⅶ-39 除染	14.0
13位	(14位)	↗	Ⅶ-41 子ども活動支援	13.8
14位	(8位)	↓	Ⅳ-23 新エネルギー	12.9
14位	(11位)	↖	Ⅶ-42 風評被害の払しょく	12.9
16位	(16位)	→	Ⅲ-18 地域福祉	12.3
17位	(23位)	↑	Ⅳ-25 ごみ対策	12.2
18位	(18位)	→	Ⅳ-27 住環境	10.2
19位	(26位)	↑	Ⅴ-32 観光	9.7
20位	(20位)	→	Ⅰ-5 行政経営	9.6
20位	(24位)	↗	Ⅱ-9 乳幼児教育	9.6
22位	(19位)	↖	Ⅱ-14 音楽都市こおりやま	8.8
22位	(29位)	↑	Ⅱ-15 スポーツ・レクリエーション	8.8
24位	(21位)	↖	Ⅴ-28 農業	8.6
25位	(17位)	↓	Ⅳ-26 自然環境	8.1
26位	(25位)	↖	Ⅵ-37 防災	7.5
27位	(26位)	↖	Ⅲ-20 健康づくり	7.4
28位	(22位)	↓	Ⅴ-30 ショッピング・レジャー	6.8
29位	(29位)	→	Ⅴ-29 地域商工業	6.7
30位	(28位)	↖	Ⅰ-8 広域行政	6.2
31位	(32位)	↗	Ⅰ-1 市民協働	5.7
32位	(37位)	↑	Ⅰ-4 男女共同参画	5.6
33位	(34位)	↗	Ⅳ-24 環境活動	5.2
34位	(31位)	↖	Ⅱ-12 生涯学習	5.1
35位	(33位)	↖	Ⅰ-2 広聴広報	4.6
36位	(38位)	↗	Ⅱ-13 歴史・文化芸術	4.5
37位	(38位)	↗	Ⅰ-7 高度情報化	4.3
38位	(38位)	→	Ⅰ-3 ユニバーサルデザイン	4.0
39位	(41位)	↗	Ⅴ-33 6次産業化	3.6
40位	(35位)	↓	Ⅰ-6 シティプロモーション	3.4
40位	(36位)	↖	Ⅱ-16 都市交流・国際交流	3.4
42位	(42位)	→	Ⅲ-22 生活衛生	2.2

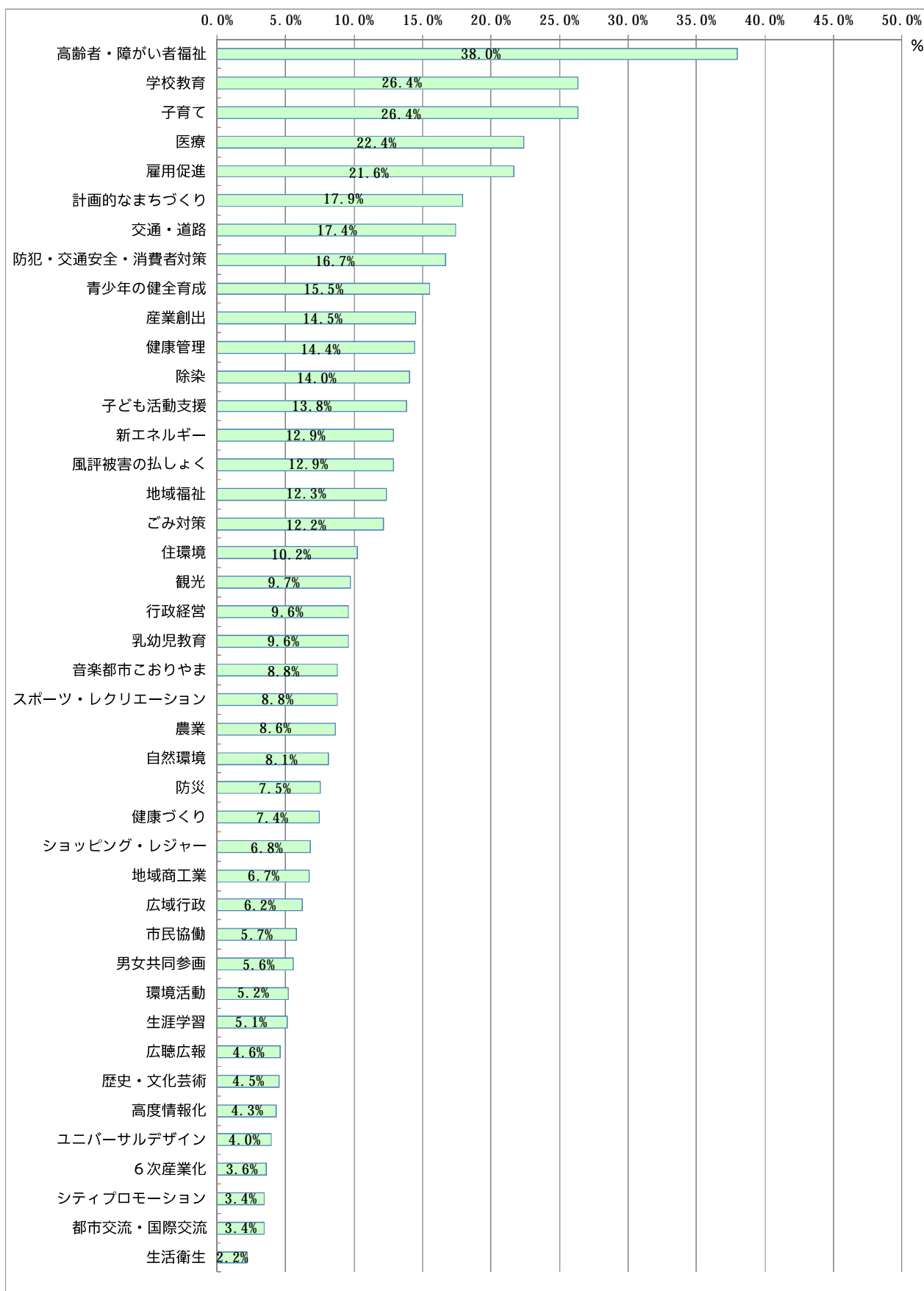
平均より高い



平均より低い



## II 調査結果 ～これからの取り組みについて～

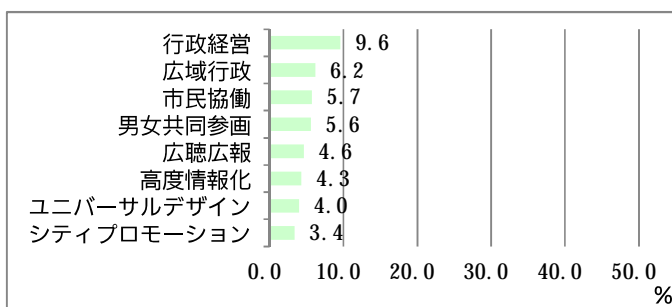


### (3) 分野別・項目別の重要度ランキング

#### 分野Ⅰ 市民協働・人権・行政経営

重要度が最も高かったのは、「行政経営」の9.6%で、次いで「広域行政」の6.2%、「市民協働」の5.7%となっています。

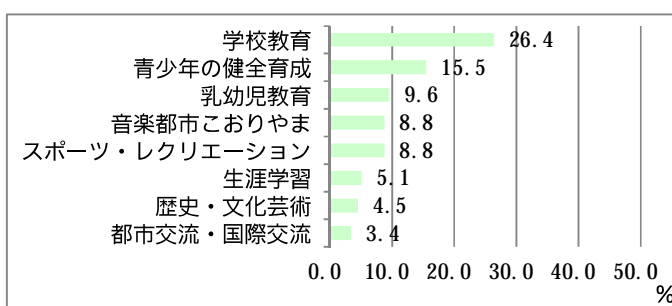
順位	項目	重要度
1	行政経営	9.6
2	広域行政	6.2
3	市民協働	5.7
4	男女共同参画	5.6
5	広聴広報	4.6
6	高度情報化	4.3
7	ユニバーサルデザイン	4.0
7	シティプロモーション	3.4



#### 分野Ⅱ 教育・文化・スポーツ・交流

重要度が最も高かったのは、「学校教育」の26.4%、次いで「青少年の健全育成」の15.5%、「乳幼児教育」の9.6%となっています。

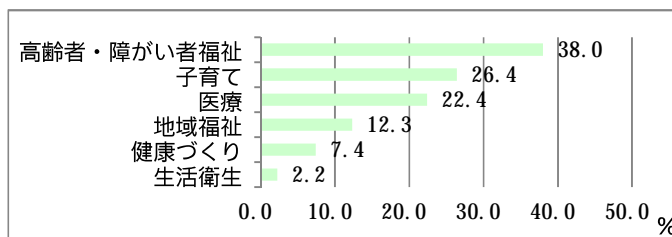
順位	項目	重要度
1	学校教育	26.4
2	青少年の健全育成	15.5
3	乳幼児教育	9.6
4	音楽都市こおりやま	8.8
5	スポーツ・レクリエーション	8.8
6	生涯学習	5.1
7	歴史・文化芸術	4.5
8	都市交流・国際交流	3.4



#### 分野Ⅲ 子育て・福祉・保健

重要度が最も高かったのは、「高齢者・障がい者福祉」の38.0%、次いで「子育て」の26.4%、「医療」の22.4%となっています。

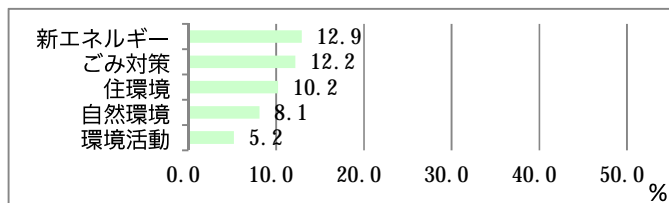
順位	項目	重要度
1	高齢者・障がい者福祉	38.0
2	子育て	26.4
3	医療	22.4
4	地域福祉	12.3
5	健康づくり	7.4
6	生活衛生	2.2



**分野Ⅳ 新エネルギー・環境**

重要度が最も高かったのは、「新エネルギー」の12.9%、次いで「ごみ対策」の12.2%、「住環境」の10.2%となっています。

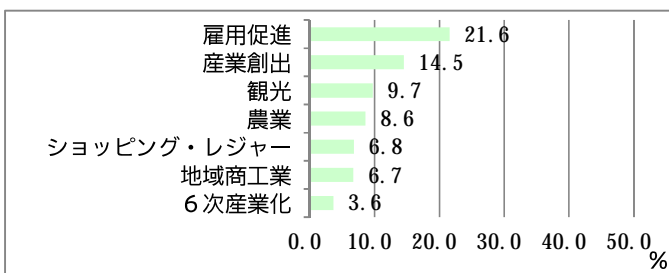
順位	項目	重要度
1	新エネルギー	12.9
2	ごみ対策	12.2
3	住環境	10.2
4	自然環境	8.1
5	環境活動	5.2



**分野Ⅴ 産業・観光・雇用**

重要度が最も高かったのは、「雇用促進」の21.6%、次いで「産業創出」の14.5%、「観光」の9.7%となっています。

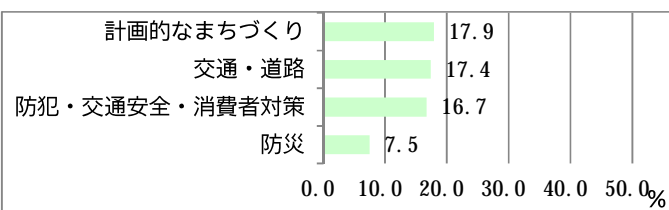
順位	項目	重要度
1	雇用促進	21.6
2	産業創出	14.5
3	観光	9.7
4	農業	8.6
5	ショッピング・レジャー	6.8
6	地域商工業	6.7
7	6次産業化	3.6



**分野Ⅵ 都市計画・交通・防災**

重要度が最も高かったのは、「計画的なまちづくり」の17.9%、次いで「交通・道路」の17.4%、「防犯・交通安全・消費者対策」の16.7%となっています。

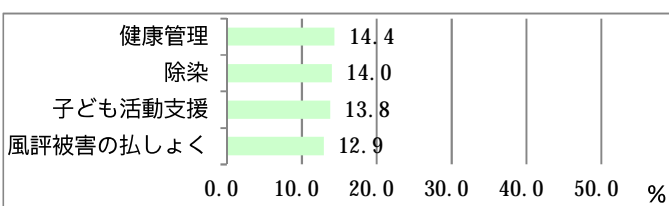
順位	項目	重要度
1	計画的なまちづくり	17.9
2	交通・道路	17.4
3	防犯・交通安全・消費者対策	16.7
4	防災	7.5



**分野Ⅶ 原子力災害対策・復興**

重要度が最も高かったのは、「健康管理」の14.4%、次いで「除染」の14.0%、「子ども活動支援」の13.8%となっています。

順位	項目	重要度
1	健康管理	14.4
2	除染	14.0
3	子ども活動支援	13.8
4	風評被害の払しょく	12.9



《参考》

◆回答率の出し方

42項目から回答者1人当たり5つ選択してもらい、選択された数の合計を回答者数で割ります。

例えば、選択された数が490個だと

$$\frac{490}{1,290} \text{ (回答者数)} = 38.0\% \text{ となります。}$$

◆7分野42項目

分 野		項 目
I (8項目)	市民協働・ 人権・行政経営	(1) 市民協働 (2) 広聴広報 (3) ユニバーサルデザイン
		(4) 男女共同参画 (5) 行政経営 (6) シティプロモーション
		(7) 高度情報化 (8) 広域行政
II (8項目)	教育・文化・ スポーツ・交流	(9) 乳幼児教育 (10) 学校教育 (11) 青少年の健全育成
		(12) 生涯学習 (13) 歴史・文化芸術
		(14) 音楽都市こおりやま (15) スポーツ・レクリエーション
		(16) 都市交流・国際交流
III (6項目)	子育て・福祉・ 保健	(17) 子育て (18) 地域福祉 (19) 高齢者・障がい者福祉
		(20) 健康づくり (21) 医療 (22) 生活衛生
IV (5項目)	新エネルギー・ 環境	(23) 新エネルギー (24) 環境活動 (25) ごみ対策
		(26) 自然環境 (27) 住環境
V (7項目)	産業・観光・ 雇用	(28) 農業 (29) 地域商工業 (30) ショッピング・レジャー
		(31) 産業創出 (32) 観光 (33) 6次産業化 (34) 雇用促進
VI (4項目)	都市計画・ 交通・防災	(35) 計画的なまちづくり (36) 交通・道路 (37) 防災
		(38) 防犯・交通安全・消費者対策
VII (4項目)	原子力災害対策・ 復興	(39) 除染 (40) 健康管理 (41) 子ども活動支援
		(42) 風評被害の払しょく



## 6 広報について

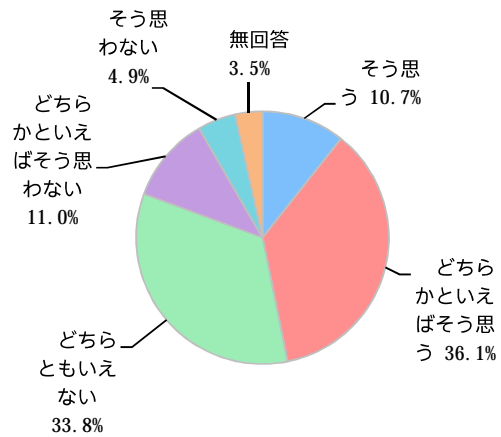
### (1) 市政情報の発信が十分に行われているか聞きました。(1つ選択)

#### ①全体

「どちらかといえばそう思う」が36.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が33.8%となっています。

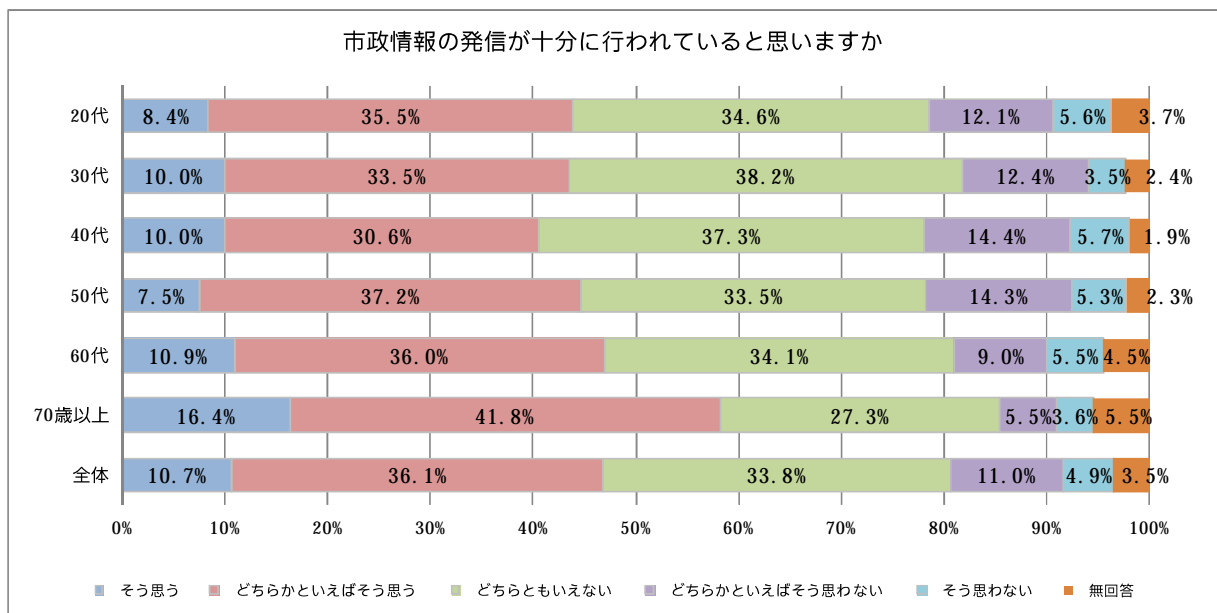
また、「どちらかといえばそう思わない」は11.0%、「そう思わない」は4.9%となっています。

	回答数	回答率
そう思う	138	10.7%
どちらかといえばそう思う	466	36.1%
どちらともいえない	436	33.8%
どちらかといえばそう思わない	142	11.0%
そう思わない	63	4.9%
無回答	45	3.5%
計	1,290	100.0%



#### ②年代別

「そう思う」と答えた年代が最も多かったのは、「70歳以上」の16.4%、次いで「60代」の10.9%、「30代」「40代」の10.0%となっています。

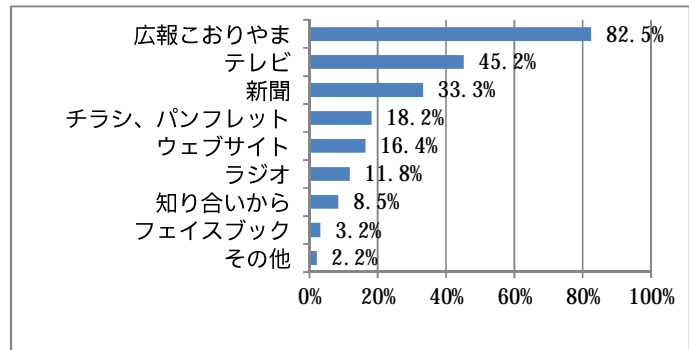


(2) 市政情報をどのような媒体で得ているか聞きました。(複数選択)

①全体

「広報こおりやま」が82.5%と最も多く、次いで「テレビ」が45.2%、「新聞」が33.3%、「チラシ、パンフレット」が18.2%となっています。

項目	回答率
広報こおりやま	82.5%
テレビ	45.2%
新聞	33.3%
チラシ、パンフレット	18.2%
ウェブサイト	16.4%
ラジオ	11.8%
知り合いから	8.5%
フェイスブック	3.2%
その他	2.2%



◆回答率の出し方

9項目からあてはまる番号を全て選択してもらい、選択された数の合計を回答者数で割ります。

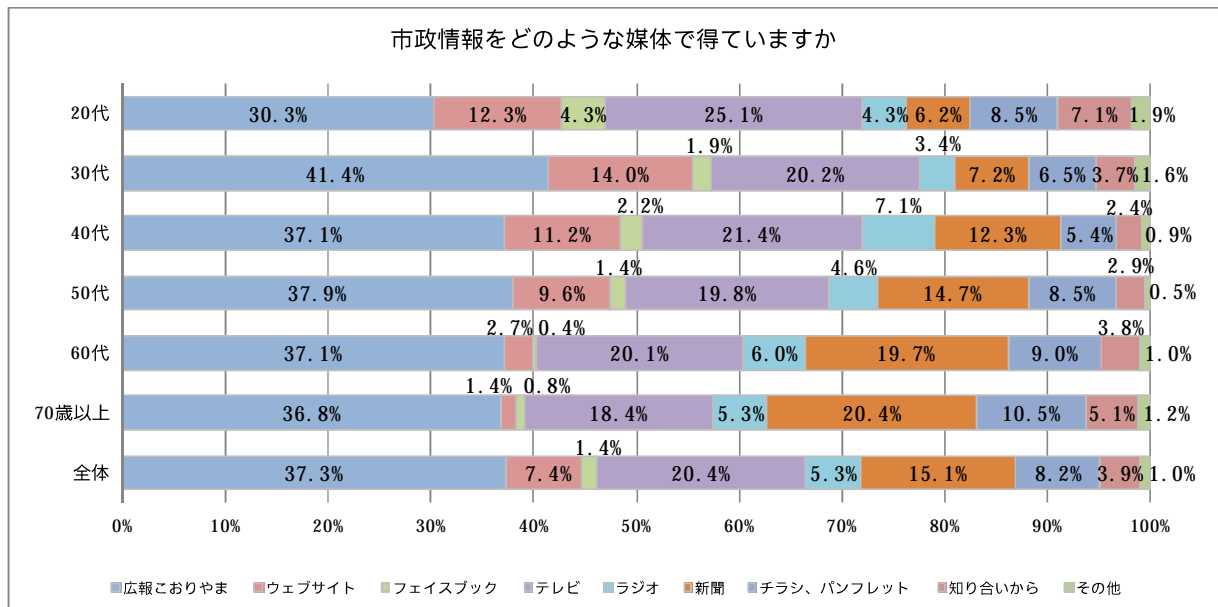
例えば、選択された数が1,064個だと

1,064個 / 1,290人 (回答者数)

=82.5%となります。

②年代別

「広報こおりやま」「テレビ」が全年代で多く、「ウェブサイト」「フェイスブック」は年代が低くなるほど多く、「新聞」「チラシ・パンフレット」は年代が高くなるほど多くなっています。



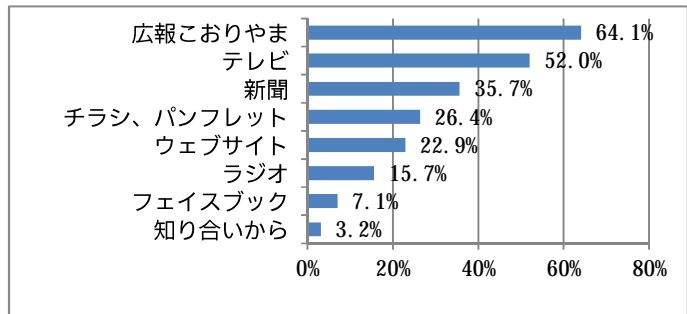


(3) 市政情報をどのような媒体で発信してほしいか聞きました。(複数選択)

①全体

「広報こおりやま」が64.1%と最も多く、次いで「テレビ」が52.0%、「新聞」が35.7%、「チラシ、パンフレット」が26.4%となっています。

項目	回答率
広報こおりやま	64.1%
テレビ	52.0%
新聞	35.7%
チラシ、パンフレット	26.4%
ウェブサイト	22.9%
ラジオ	15.7%
フェイスブック	7.1%
知り合いから	3.2%



◆回答率の出し方

9項目からあてはまる番号を全て選択してもらい、選択された数の合計を回答者数で割ります。

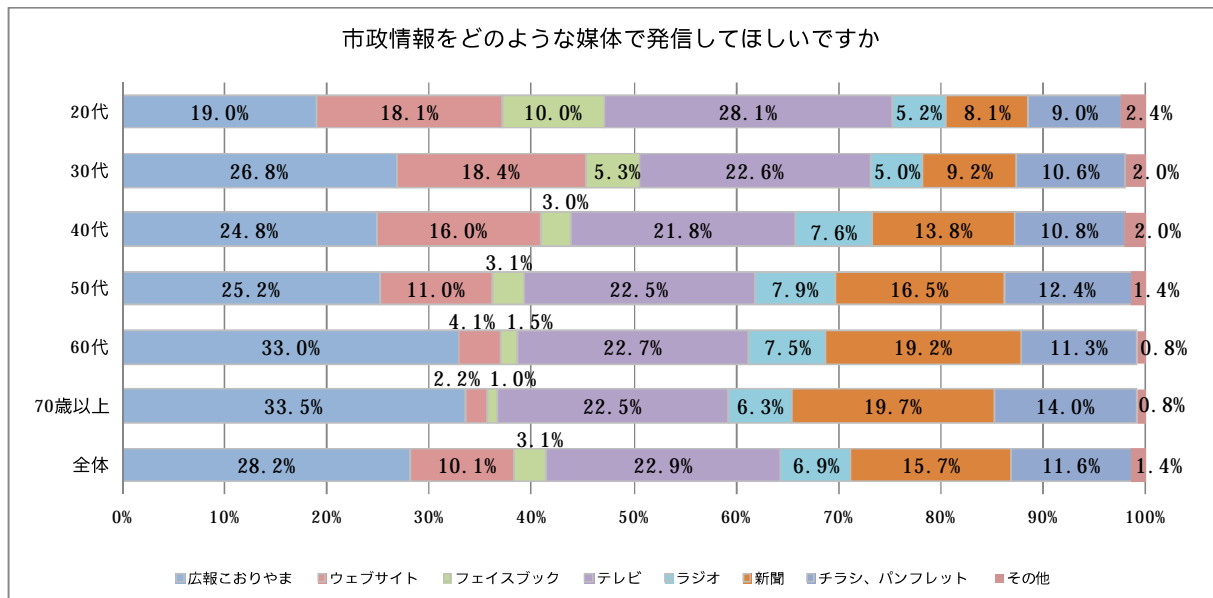
例えば、選択された数が827個だと

827個 / 1,290人 (回答者数)

=64.1%となります。

②年代別

「広報こおりやま」「テレビ」が全年代で多く、「ウェブサイト」「フェイスブック」は年代が低くなるほど多く、「新聞」「チラシ、パンフレット」は年代が高くなるほど多くなっています。

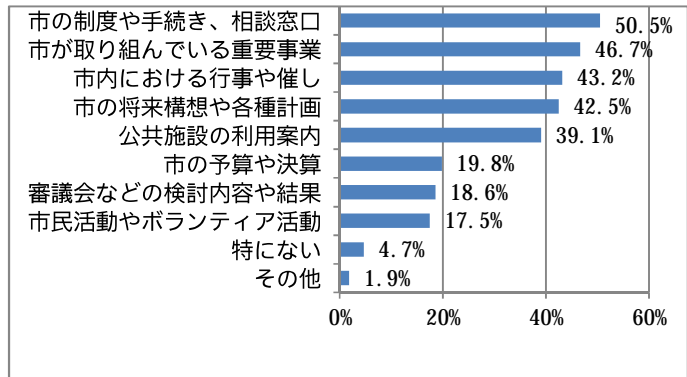


(4) 重点的に発信してほしい市政情報を聞きました。(複数選択)

①全体

「市の制度や手続き、相談窓口」が50.5%と最も多く、次いで「市が取り組んでいる重要事業」が46.7%、「市内における行事や催し」が43.2%となっています。

項目	回答率
市の制度や手続き、相談窓口	50.5%
市が取り組んでいる重要事業	46.7%
市内における行事や催し	43.2%
市の将来構想や各種計画	42.5%
公共施設の利用案内	39.1%
市の予算や決算	19.8%
審議会などの検討内容や結果	18.6%
市民活動やボランティア活動	17.5%
特にない	4.7%
その他	1.9%



◆回答率の出し方

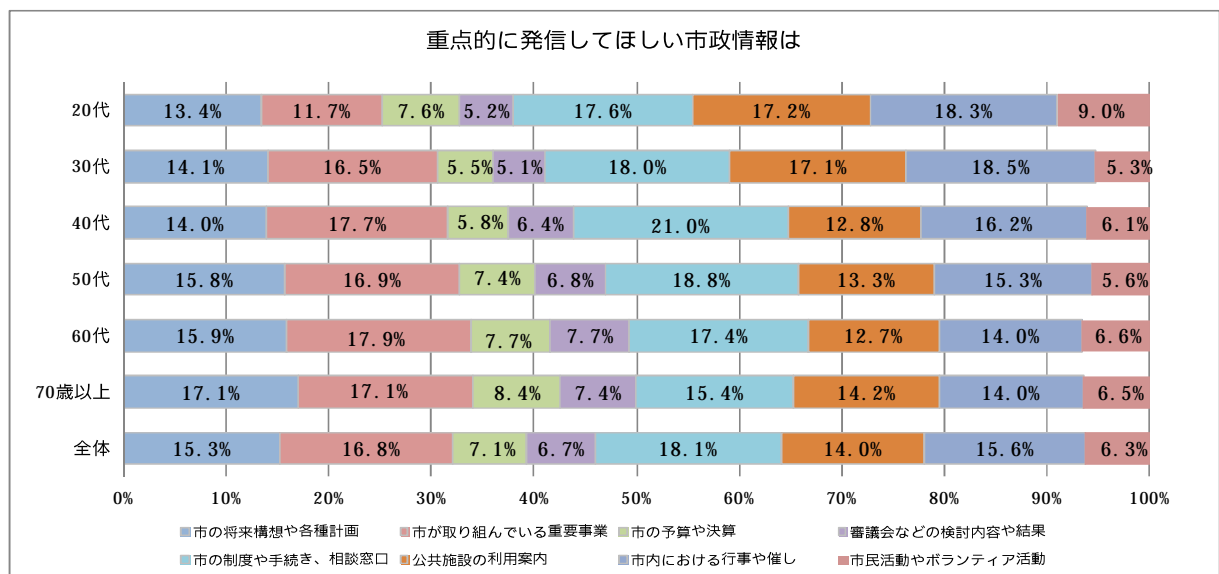
9項目からあてはまる番号を全て選択してもらい、選択された数の合計を回答者数で割ります。

例えば、選択された数が651だと

$$651 \text{個} / 1,290 \text{人 (回答者数)} \\ = 50.5\% \text{となります。}$$

②年代別

「市の制度や手続き、相談窓口」が全年代で多く、「公共施設の利用案内」は年代が低くなるほど多く、「市の将来構想や各種計画」は年代が高くなるほど多くなっています。



## Ⅲ 自由意見

本調査にあたり、回答のあった1,290人の方からたくさんのご意見をいただきました。その中から、主な意見を分野ごとに掲載いたします。

寄せられましたご意見につきましては、ここに掲載していないものも含め、今後の市政運営に活用させていただきます。

### 【分野Ⅰ】市民協働・人権・行政経営

#### 【市民協働】

- 自治会への加入を、市が大々的に進めてほしい。(50代・男性)
- 震災後、町内で行われていた清掃活動がなくなり、町内の方と会える機会が減り、コミュニケーション不足を感じる。(50代・女性)
- 町内会から抜けてしまう人が多くなった。高齢化になっている事も考えられるが、反対に高齢化になったから、地域のつながりも深めたいと思っている。(50代・女性)
- 町内会活動についての意味がよく分からないと話する人が多くなっています。(60代・女性)
- 自治会に対しての対応が、下請け的な考えを市職員が持っているのでは。(60代・男性)
- 町内会の負担が多いように感じます。(60代・男性)
- 転勤族が多かったり、高齢者の多い地域があったりと、地域により参加にバラツキがあり差が出ている気がする。町内会やPTAとの連携に縛られず、住民同士が協働できる環境を整備してはどうか。(30代・女性)

#### 【広聴広報】

- 広報紙の表紙のデザインが良く、見たい・見やすい工夫がされています。(30代・女性)
- 市民に対する情報発信を続けることで、市民がより市に対して関心を持ち、意見を述べられるのではないと思う。(20代・男性)
- 紙面だけでなく、ラジオ・テレビで発信してほしい。(40代・女性)
- 働く人達に対して、どの情報発信をしていったら良いのかを考えてください。自然に耳に入ってくるような工夫をしてもらえれば、市を理解できるのですが。(40代・女性)
- 町内会、ボランティア団体の活動をもっと広報こおりやまや市政ニュースで紹介してはどうか。(50代・女性)
- 高齢者は昔からの情報提供に頼るのが現状です。新しい情報提供にはついていけないので、広報こおりやまが頼りです。(60代・女性)
- 高齢者向けの情報発信のサービス方法に一考ありと思います。(70歳以上・女性)
- スマホ、インターネット等出来ない高齢者もいます。詳細はネットでというのは困ったものです。(70歳以上・女性)
- 町内会に入っていなかったら、広報紙などが配布されないの、市がどういうことを行っているかが分からない。(50代・男性)
- 町内会に入っていないと、広報こおりやまは見ることがありません。こちらから能動的に情報を取りに行く気持ちがあれば、情報は何も入ってきません。もっと受動的に情報を入手するには、工夫が必要だと思います。(20歳・女性)
- 町内会に入っていないため、市の情報がテレビくらいしかないの、何らかの方法で市の情報を知りたい。「(例)郵送等」(60代・男性)

- ・市広報、社協広報、消防防犯広報、その他いろいろな広報が発行されているが、市広報に一本化されないか。内容のダブリとか経費の無駄が多いのでは。(70歳以上・男性)
- ・定期的にこのようなアンケートを取り、市民に意見を聞くことは、とても大切だと思います。意見を言いたくても、その機会がない人がたくさんいます。(50代・女性)
- ・このようなアンケートはとても有意義だと思います。何かと大変ですが、今後も是非続けてください。(30代・男性)
- ・市民の声を色々な形で聞く機会を設けて、よりよい住みやすい郡山市になることを望んでいます。市役所に用事があって来た方々に、定期的に何か困っている事、問題に思っている事はないかと聞いてみても良いと思うし、待っている間にアンケートをお願いしても良いと思います。(40代・女性)

### 【ユニバーサルデザイン】

- ・バリアフリー化、障がい者に優しいまちづくりをしてほしい。(60代・女性)
- ・ユニバーサルデザインについては、不十分すぎると思う。障がいのある方の意見を聞いて、計画、実行する必要があるのではないのでしょうか。(40代・女性)
- ・障がい者や高齢者の方々、外国人に対して都市環境を整えてほしいと思います。弱者に優しい街は、全ての人に優しい街につながります。(40代・女性)
- ・ユニバーサルデザインについて、さらに細かな部分で力を入れていくべきだと思う。(30代・女性)
- ・高齢者が多い中、市の施設、行政センター、ふれあいセンター等のトイレが、まだ和式が多いので、洋式に替えてほしい。(60代・女性)

### 【男女共同参画】

- ・男女共同参画や女性の活躍と言っても、働きたくても働けない方がたくさんいる。(40代・女性)
- ・給与は女性が低い。格差がありすぎる。(40代・女性)
- ・働く女性は、まだまだ肩身が狭い。特に子どものいる人達が働きやすい環境を整えてあげてほしい。(30代・女性)

### 【行政経営】

- ・いつも市民のために頑張っていると思います。(50代・女性)
- ・市民をお客様だと思うようにしてほしい。(50代・男性)
- ・具体的にどのような行政経営を行っているのかが不明確。(20代・男性)
- ・まだまだ住民と行政の間に距離がある。(50代・男性)
- ・市民と行政がかけ離れすぎ。行政の動きが見えない。(行政が何をしようとしているのか、伝わってこない。)(50代・男性)
- ・税金が高い。特に水道料金。(50代・男性)

### 【シティプロモーション】

- ・がくと君応援しています。もっとがくと君の登場の機会を作って、全国にアピールしてください。(50代・女性)
- ・郡山市民も入れるファンクラブを作ってほしい。(50代・女性)
- ・郡山市はプロモーションが消極的だと感じるし、下手だと思う。震災でマイナスになった面もあるが、ピンチはチャンスで、もう少し積極的にアピールしていかないと、もったいないと思う。(20代・女性)

- ・シティプロモーションの成果があまり感じられない。県外の人に郡山市をアピールしにくい。  
(50代・男性)

#### 【高度情報化】

- ・インターネットでの情報が多いが、パソコンを持っていない人や使用できない人が老人を中心にいることを、忘れないでほしい。(50代・女性)
- ・インターネットとかSNSとは、高齢者にはちょっと扱えないので分からない。(60代・女性)
- ・パソコンがなく、インターネットも何もできません。今後は高齢者も多くなると思います。高齢者のための無料サービスで、インターネット等の教室があっては。(60代・女性)
- ・パソコンやスマートフォンを利用できる人が市民の何パーセントなのか分かっていない。  
(50代・男性)

#### 【広域連携】

- ・近隣市町村との交流を深め、広域な経済圏を創造すべき。(60代・男性)
- ・中核都市として、広域連携にも力を入れてほしい。(30代・男性)

### 【分野Ⅱ】教育・文化・スポーツ・交流

#### 【乳幼児教育】

- ・保育園、幼稚園（子ども園）と小学校が連携し、積極的に交流を行えると、スムーズな進学や子どもたちの最善の利益になると思う。(20代・女性)

#### 【学校教育】

- ・今まで以上に英会話が必要になってきているので、小学1年の頃から各学校に英会話の外人の先生がいたら、生の英語が聞けるので必要な。(60代・女性)
- ・基礎学力を上げるため、計算ドリル、漢字ドリルの複数回の勉強をさせるなど、塾に通わなくても、学力向上ができるような体制にしてほしい。(40代・女性)
- ・学校教育において、道徳が無くなっているのが、道徳を教えたほうが良い。(40代・男性)
- ・発達障がいの子どもの指導に、専門的な知識を持つ人材を教育委員会に増やしてほしい。  
(50代・女性)
- ・障がいを持つ子のインクルージョン教育を推進してほしい。(50代・女性)
- ・いじめを隠さない、教育現場の整備。(70歳以上・男性)
- ・学校教育に関しては、地域又は学校によって差が開いていると思う。(30代・女性)

#### 【青少年の健全育成】

- ・青少年の活動の場が少ない。ひきこもりが多い。(60代・女性)
- ・治安の悪化で子供たちに対する影響を心配している。(20代・女性)

#### 【生涯学習】

- ・公民館、その他の施設で沢山の趣味を持たせるような、サークル、催し物があり良いと思う。  
(60代・女性)
- ・中央公民館の各階ホールに学習できるフリースペースがあり、とても便利になったと思う。  
(40代・女性)
- ・年齢に合ったサークル活動の場を。(60代・男性)

- ・郡山市美術館で、いろいろなジャンルの展示を行ってほしい。例えば芸能人の絵画展やアニメ展など。(40代・女性)
- ・絵画、短歌のコンクールを行ってほしい。(40代・女性)
- ・単発のものが多様な気がします。予算もないでしょうが、1年位かけてゆっくり学べる物があってもよいのでは。(40代・女性)
- ・郡山市の図書館は本が少ない。(40代・女性)
- ・図書館が月曜休みに全く行けない。(40代・男性)
- ・図書館の閉館(12月～4月)が早すぎる。仕事帰りに寄れるよう、もう少し長く開けてほしい。(50代・女性)

### 【歴史・文化芸術】

- ・郡山市内の城跡に案内看板設置や整備など、歴史に触れる環境をお願いします。(70歳以上・女性)
- ・伝統のお祭りが衰退してきている。市街地の空洞化、高齢化の影響かと思われるが、観光資源として活用し、盛り上げてほしい。(50代・男性)

### 【音楽都市こおりやま】

- ・郡山が「音楽都市」として、全国にPRできていると思う。(20代・男性)
- ・音楽、特に合唱においては、若い人々の活躍は素晴らしい。(70歳以上・女性)
- ・学生の音楽活動が目覚しく市民として嬉しいです。指導者の育成の成果だと思います。(50代・女性)
- ・合唱日本一ならば、市の予算を大幅拡大し、日本だけでなく世界にその名を知らしめ、音楽ホールを造り、世界中から人を呼び寄せてほしいと思います。(60代・女性)
- ・「音楽都市こおりやま」らしく、もっと音楽で盛り上げてほしい。市民祭のように合唱とかなどで。(50代・女性)
- ・中学、高校の合唱のレベルは素晴らしいと思いますが、それ以外への広がりが今ひとつ伝わらず、残念に思います。(60代・女性)
- ・音楽コンクールの入賞だけが、音楽都市をうたうものなら、それは違うと思います。様々な音楽をバランス良くとりあげるべき。(30代・男性)
- ・音楽都市と言うが、主に学生さんたちの努力に依存している。行政として主体的に音楽に関わる取り組みをしているかという点、無いに等しい。(40代・男性)
- ・音楽都市と言われているが、施設が少ない。(50代・女性)

### 【スポーツ・レクリエーション】

- ・地元プロチーム(福島ファイヤーボンズ・福島ホープス)への観客増に繋がるように広報PRをしてほしい。(50代・男性)
- ・スポーツ施設が整っていない。開成山は駐車場が少なくてもいつも困るし、陸上競技場のタイマーは、いつも壊れて競技が進まない。温水プールもないし、もっとスポーツ施設に予算を使ってもらいたい。(30代・女性)
- ・低料金で気軽に利用できる、スポーツ施設が少ない感じを受けます。プールの設備を充実させてほしい。(60代・女性)
- ・郡山市の人口(テニス人口)に対して、テニスコートの面が十分でない。(50代・男性)
- ・学生がテニスコートや体育館を利用することは、とても良いと思いますが、年金生活者が利用したくても、いつも大会等で使えません。もっと配慮してほしいです。(70歳以上・女性)

**【都市交流・国際交流】**

- ・娘が和歌山県との交流事業に参加し貴重な経験をした。今後も西日本、四国、九州との交流を進めていっていただきたい。（50代・男性）
- ・国際交流に力を入れてみては。外国の方も増えていけば、自然と語学も身につくと思うし、スポーツとか文化で郡山から優秀な人が出てほしい。（60代・女性）
- ・2020年の東京オリンピックまで外国人が日本へ来る機会が増える中、郡山へも若干でも外国人観光客が増加すると思います。その辺の対応はどうするのですか？今から心配です。若者達への英語教育はもちろん、年配者の方々でも英語に触れる機会を増やし、来る日に備える人材を育ててほしいです。（40代・女性）

**【分野Ⅲ】子育て・福祉・保健****【子育て】**

- ・郡山市は、子育てがしやすい環境だと思います。（20代・女性）
- ・認可保育所と認可外保育所の違いやメリットがいまいち分からず、どの保育園は満員なのか入れるのか、不安な人が多いので、認可保育所と認可外保育所の説明、現在の状況、入所についてのアドバイス等を広報に載せていただけると、不安も解消されるのではないかと考えます。働く親が安心して預けられる環境を期待します。（20代・女性）
- ・保育園は待機児童がいる。学童保育では、時間外対応されていないので、迎えに行けず結局お願いできない。（50代・男性）
- ・保育園、託児所を豊かにしてほしい。仕事をしながらも子育てしやすい環境、金銭面のサポートをしていただけると助かる。（20代・女性）
- ・放課後児童クラブが学校にある所と無い所があり、不平等差を感じる。（20代・女性）
- ・待機児童や学童保育など、頑張ってくれているとは思いますが、まだまだ応えきれていないと感じる。（40代・男性）
- ・子どもを産むまでのサポートは充実しているように感じるが、産んだ後の充実さが足りない。（20代・女性）
- ・インフルエンザの予防接種が、乳幼児は無料もしくは補助が出ればありがたいです。（40代・女性）

**【地域福祉】**

- ・子育て世代と高齢者世代の交流があまり見受けられない。地域コミュニティの連携が取れていないような気がする。（40代・女性）
- ・福祉サービス、民生委員の対応が不十分だと思います。（70歳以上・女性）

**【高齢者・障がい者福祉】**

- ・高齢者や障がいのある方、ご本人が生きいきと暮らせることが大切ですが、プラスその家族が負担を感じず、今までと同じ生活ができるよう施設やサービスを充実させてほしいと思います。（40代・女性）
- ・健康な老後は、体を動かす習慣をと放送で声を掛け合うのも大切。なんといっても情報は心強いです。（40代・女性）
- ・「認知症高齢者SOS見守りネットワーク」は、老後に少し安心感が持てたように思います。（70歳以上・女性）
- ・認知症の高齢者の割合が日本全体で増加する中、郡山市でも同じ傾向であろうから、相談、対応体制の拡充を望む。（50代・男性）



- ・要介護には認定されない程度の高齢者への福祉サービスの充実。(50代・女性)
- ・介護保険の要介護認定の数字ですが、あまりにもコンピュータに頼りすぎではないですか。もう少し人の目で判断してほしいと思います。(60代・女性)
- ・後期高齢者1人暮らしで不安は大きい。タクシー券とかマッサージ券とかはありがたいので、もっと充実してもらいたい。(70歳以上・女性)
- ・知的障がい者に対しての思いやりが感じられない時がある。(50代・女性)

### 【健康づくり】

- ・定期的ながん検診を受けることができ、とてもありがたいです。(20代・女性)
- ・健康な老人を目指すために、1週間で5千歩以上歩いた方にクオカードと交換できるシステムなどを楽しみながら、健康な生活を送れるような政策を来年度作ってほしい。(70歳以上・女性)
- ・健診などハガキは来るけど、自分で病院などを選んで行くことになるとどこに行っているのかわからないので、地域に”健診ならここ”という所があればいいなと思っています。(40代・女性)
- ・虫歯の数が多いので、歯の衛生、健康、知識を広めてほしい。(20代・女性)

### 【医療】

- ・医療体制はよく整っており、安心して生活できる。(30代・女性)
- ・産婦人科や小児科が他の地域より数多く、行きやすいです。(30代・女性)
- ・最近の個人病院は予約制ということもあり、必要があるから行くのに「予約制なので何時頃になるかわからない」と言われるととても困る。病気は突然なったりするのと思った。もう少しスムーズに診察してほしい。(40代・女性)
- ・医療施設は多数あるが、どこも混んでいて時間がかかって大変。(60代・女性)
- ・深夜の救急窓口が分からない。救急車を使わない場合、どこに行けばいいかわからず困った。(20代・女性)

### 【生活衛生】

- ・もっと1人1人が食に対する安全知識を増やせるようにしてほしい。(40代・女性)
- ・弁当屋の惣菜が臭っていた経験があり、こまめな検査が必要と考えます。(50代・女性)
- ・施設等の衛生管理にももう少し力を入れてほしい。(50代・女性)

## 【分野Ⅳ】新エネルギー・環境

### 【新エネルギー】

- ・新エネルギーについては、一般家庭に積極的に取り入れてもらうための手立ても必要。(40代・男性)
- ・太陽光発電があちこちで造られているが、山の斜面を切り崩してあつたりと、危険な感じもする。(30代・男性)
- ・太陽光発電については、助成を受けられなかった。大きく宣伝していても受けられる世帯はごくわずか。(30代・女性)
- ・太陽光発電の推進をしているが、太陽光発電が朽化した際の廃棄や処分に係る費用などは考慮されているのか気になる。(30代・女性)
- ・原発には慎重な姿勢のわりには、新たなエネルギーの普及が進んでいるようには、感じないです。太陽光発電はもっと行政が中心となり、適している住宅には設置していったらいいと思います。(40代・女性)



### 【環境活動】

- ・公用車のハイブリット車を多く見かけます。大変良いことだと思います。(40代・男性)
- ・一人一人がしっかり自覚をもって行動しない限り、環境は守れない。(70歳以上・女性)
- ・地球温暖化が騒がれているのに、ごみの出し方をもっともっと考えなくてはならないのではないかと思います。(70歳以上・女性)

### 【ごみ対策】

- ・資源物として「衣類」を取り扱ってはどのようにでしょうか。今のところ燃えるごみとして出していますが、再利用できるものもたくさんあります。(70歳以上・助成)
- ・衣類の処分に関ることがある。燃えるごみとして出すのもちょっと。(60代・女性)
- ・持ち込みする粗大ごみの許可証を、市民サービスセンターでも取れるようにしてほしい。(50代・女性)
- ・ごみのリサイクルをもっとPRして、減量化に力を注いでほしい。(70歳以上・男性)
- ・ごみ置き場の清掃が完全でないので、有料化して綺麗な街づくりはどうでしょうか。(70歳以上・女性)
- ・ごみ置き場は、カラスが多く集まり、ごみを散らかすので回収を早めにしてほしい。(50代・男性)

### 【自然環境】

- ・太陽光発電所が里山の自然を壊しています。(50代・男性)
- ・公園がたくさんあって自然と触れ合うことができるが、イベントが少ないため自然とより深く関わるためには、活用されていないと思う。(30代・女性)

### 【住環境】

- ・近くの公園が除染されて安心しました。(50代・女性)
- ・住宅の耐震化は個人ではなかなか達成できない。どこまで耐震化すれば良いのか、ある程度分かりやすく広報するべきではないか。(40代・女性)
- ・スーパー等の商業施設で下水の臭いがする所があり、下水道の整備は急ぐべきと思う。(50代・女性)
- ・近くにいくつか公園があるのですが、わりと整備されていなくて、草ボーボーで遊びにくいです。(40代・女性)
- ・震災以降、公園や街路樹の整備が不十分な気がします。(40代・男性)

## 【分野Ⅴ】 産業・観光・雇用

### 【農業】

- ・農業の方は、原発事故で風評被害に遭いながらも、払しょくして頑張って安全な物作りに励んでいると思う。(50代・男性)
- ・郡山市が主産地である、農産物を育てられないか。(60代・男性)
- ・後継者不足、TPPの不透明感、原発事故による風評被害等、小規模農家はやっていけない。山林は荒れ放題、田畑も耕作放棄が多くなってきている。(60代・男性)
- ・若者が農業に就きたくても、生活できる収入が得られない。(60代・男性)
- ・農業の後継者が減少しており、田畑の数も激減している。人材を確保できる施策がないと今後が心配。(20代・女性)
- ・農業の担い手が育つようなことをしていないのでは。(70歳以上・女性)

- ・20代、30代の子ども達が、農業から離れていってる。私の親戚の家も2軒農家をやめました。米作りだけで生活できないとのこと。 (50代・女性)
- ・農業を継ぐ人の少なさから、これからの郡山の農業が心配です。 (20代・女性)

#### 【地域商工業】

- ・駅前通りが少しずつ元気になってきた。これからも郡山の活性化のため、頑張してほしい。 (20代・女性)
- ・駅前商店街のイベント開催をもっと増やしてほしい。(毎週末、何か開催があるとワクワクして楽しいと思う。) (50代・男性)
- ・中町ベっぴん活動は各店の活性化にも繋がり、とても良いことだと思う。(50代・女性)
- ・プレミアム商品券の発行により、中小小売店の販売活性化が図られたと思う。是非、次年度以降も続けてほしい。(40代・女性)
- ・量販店以外の小売店に対する支援が少ない。(50代・男性)
- ・駅前周辺の活性化が図られれば、市以外の人にも違った郡山が見てもらえると思う。(60代・女性)
- ・駅前に魅力がない。もっと空き店舗がないようにしてほしい。若者が集まるアーケードがほしい。(30代・男性)
- ・スーパーができて便利になるのは良いが、商店街は活気がないように見える。(20代・女性)

#### 【ショッピング・レジャー】

- ・大きなショッピングセンターが数多くあるのは便利で安心。(40代・女性)
- ・コストコやイケア、アウトレットなどがあれば、もっと活気がある街になると思います。(30代・女性)
- ・交通の便を生かし、大きなアウトレット等をつくり、集客するのも良いなと感じます。(70歳以上・女性)
- ・すべて民間に任せれば良い。(60代・男性)

#### 【産業創出】

- ・医療分野の取り組みに期待しています。(50代・男性)
- ・市が産業育成をできるとは思わないが、誘導施策は必要。(50代・男性)
- ・若者が都会に出なくても、安心して働ける或いはやりたい仕事が市内や県内で見つけられるよう、もっと多種多様な業種を呼び込む施策が必要と思われる。(50代・男性)
- ・原発事故で離れた企業などがあり、雇用も減った中で、雇用を産み出せる企業誘致をしてほしい。(40代・女性)
- ・新技術等に取り組んでいる企業に対する、市独自の支援がないのでは。(50代・男性)
- ・他にはない郡山独自の産業を開発することが生きる道。(40代・男性)

#### 【観光】

- ・猪苗代湖や湖南などの観光資源を生かした観光振興を進めてほしい。(60代・男性)
- ・郡山市には日本三大疏水の安積疏水があります。これを全国に宣伝してはいかがでしょうか。(60代・男性)
- ・市の特産物を盛り込んだお弁当を作って、もっと幅広くPRしてはどうか。(50代・女性)
- ・さみしくなっている磐梯熱海温泉に生かせる施策を期待します。(60代・男性)
- ・郡山の観光は？と聞かれて、すぐにアピールできないので、ポスター等多くあるといいなと感じます。(50代・女性)

- ・これといった観光地があまりないような気がします。(40代・男性)
- ・観光といえば会津となってしまう。郡山市は魅力ある新しいものを考えないと、他県から人々はやって来ないと思います。(50代・女性)

### 【6次産業化】

- ・食べ物は豊かな街なので、6次産業化を活発にしていけば良いと思う。(60代・女性)
- ・地場産業を生かした商品開発、農業、商業の協力し合った街づくりが必要。(70歳以上・男性)
- ・外に向かって6次化、6次化と言っているが、6次化は行政しか知らない。知らない言葉を使うべきではない。(60代・男性)
- ・6次産業化は縦社会が強く、横社会の取り組みはまだまだ進んでいないように思われる。(60代・女性)

### 【雇用促進】

- ・雇用問題は難しい。Uターンで仕事を探してもなかなか見つからない。(60代・女性)
- ・安心して長く働ける就労環境が、特に民間企業がないように思える。(50代・男性)
- ・中小企業は就労環境がよくない。(40代・女性)
- ・若い人達が正社員になり、安心して将来を考えることのできる職場を与えてほしい。(70歳以上・女性)

## 【分野Ⅵ】 都市計画・交通・防災

### 【計画的なまちづくり】

- ・どんな市にするのか、長期的なビジョンが見えない。(60代・男性)
- ・地域差が大きい。特に東部地区の遅れ。(60代・男性)
- ・郡山市は阿武隈川を境に、東、西に分かれている。西側より東側は街づくりに著しく遅れている。そのため恩恵を受けるのが、西側より少なく、全てが西側に行き事を満たすので、大変不便です。西側と同じレベルまで東側が上がるよう力を入れてください。(70歳以上・男性)
- ・地域特性を感じる街並みがない。(50代・男性)
- ・旧市街地は空き家が多く、高層マンション化し、街の魅力が無くなってしまった気がする。(50代・男性)
- ・税金を利用してサッカー場を造ると聞きました。そんな一部の人しか利用しない物を造らず、市民みんなが利用できるものをお願いします。(40代・女性)
- ・豊田浄水池の跡地計画の計画案を早期に示してほしい。(70歳以上・女性)
- ・郡山駅前の開発は現状で終わりですか。もっともっと先を見つめた開発が必要だと思います。(70歳以上・男性)
- ・郡山南インター辺りをもっと上手に使ったほうが良いと思います。インターを降りてすぐに色々あると、他県からも人が来てくれると思う。(30代・男性)

### 【交通・道路】

- ・新駅が出来ることは喜ばしい。(50代・男性)
- ・人口の割には、車社会かなと思います。鉄道とかがもっと普及すればと思います。(30代・女性)
- ・ビッグパレットに駅があると、郡山市は活性化する。(50代・男性)
- ・新幹線の郡山駅への停車本数が少ない。(40代・男性)

- ・郊外の道路整備（生活道路）を考えてほしい。（40代・男性）
- ・東部地区の道路環境は、まだまだ整備が遅れていると思う。（40代・女性）
- ・国道4号線、国道49号線、さくら通り、内環状線などは、いつも渋滞する。15年前に郡山に引越して来た時から、ずっと渋滞しているのだから、もう少し対策してほしい。（30代・女性）
- ・右車線をつくれれば渋滞が解消される路線がたくさんある。（30代・女性）
- ・通学路のはずなのに、幅が狭くて危ないところがある。（30代・女性）
- ・通学路の歩道整備が遅れている。（30代・女性）
- ・路線バスの最寄のバス停が遠いので、バス停を増やしてほしい。（20代・女性）
- ・国道49号線はバスの本数が少なすぎる。（20代・女性）
- ・マイカーを利用しなくても自由に市内を動けるよう、路線バスの活用を促進してください。（50代・男性）
- ・路線バスも年々本数が減り、利用したい時間に利用できない。（60代・女性）
- ・路線バスをもっと活用してほしい。循環バスは均一料金にして循環してほしい。（60代・男性）
- ・除雪車の出勤が毎年遅いと思う。（20代・女性）

### 【防災】

- ・防犯防災メール（地域の情報）など、希望者に配信できればいいなと思います。（30代・女性）
- ・防災無線での連絡かもしれないが聞こえない。何かあってもごく一部の地域しか聞こえず、もっと全ての地域を調査すべきです。（40代・女性）
- ・防災放送が聞こえない。（50代・男性）
- ・防災に対する備えや対策をしているのかが分からない。しているのであれば、どのような対策をしているのかを、もっと周知すべき。（20代・男性）
- ・水害とまではいなくても、道路がすぐ冠水し全国ニュースで紹介されています。対策はないものでしょうか。（60代・女性）
- ・水害対策が不十分。（60代・男性）
- ・昨年引越したが、台風で水害の恐れがあるとニュースで言っていた時、自分が今住んでいる地域が安全なのか分からず、不安な思いをした。市のウェブサイトから浸水ハザードマップを自分で調べ、過去には水害がない地域だと分かるまで安心できなかった。いざという時の避難所も自分で調べたが、まだまだ市の働きかけが弱いと感じる。（20代・女性）

### 【防犯・交通安全・消費者対策】

- ・子どものための、防犯、交通安全にしっかりと取り組んでほしいです。（60代・女性）
- ・郡山駅周辺の治安が悪い。（20代・女性）
- ・裏道など街灯が少ない。防犯カメラがあってもいいのでは。（50代・女性）
- ・通学路や生活道路にもっと街灯を増やしてほしいです。（40代・女性）
- ・暗い道路が多すぎて、子ども達が通うのに危なすぎる。細やかな整備をしてほしい。（60代・女性）
- ・不審者とか浮浪者を目撃することがあるから心配です。（40代・男性）
- ・防犯パトロールは昼間の時間帯にやっても無意味に思えます。（60代・女性）
- ・見回り等をしてほしい。タイヤ泥棒などがあります。（30代・女性）
- ・線路下のトンネルに歩道がない所があり、危険を感じることもある。（30代・男性）
- ・運転中の携帯電話使用をなくす取り組みを。（50代・女性）
- ・前々から通学路の危険性についての声が多数あがっているが、なかなか進まないようです。対応の難しさはあると思うが、なんとか早く進めてほしいです。（40代・女性）

- ・ボランティア団体等にまかせ、防災・交通安全について、市が取り組んでいるとは思えない。  
(60代・男性)
- ・警察と消費生活センターがより密接に連携して、消費者対策にあってください。  
(50代・男性)

## 【分野Ⅶ】原子力災害対策・復興

### 【除染】

- ・除染を一生懸命にやってくださったので、感謝しています。(60代・女性)
- ・除染作業を一生懸命やっていただけるので、助かります。子ども達も外で遊べるようになってきているので、感謝しています。(60代・女性)
- ・震災後5年近くなるのに、いまだに除染中の看板を見ると、ビックリします。時間の経過とともに、線量は減少すると思いますが、なるべく急いで。(60代・女性)
- ・除染がまだまだダメです。山や林、何もできていない。(60代・女性)
- ・側溝の除染が遅い。森林の除染が必要。(50代・男性)
- ・側溝の除染が進まなく、子ども達の外遊びが心配。除染した水等が流れ、泥に入っていると思います。(70歳以上・女性)
- ・除染した物を家の敷地内にあるのが心配です。早く運んでください。(70歳以上・女性)
- ・子どもが遊ぶ場所は、繰り返し除染を続けても良いと思う。(20代・女性)
- ・除染も意味があるのかないのか。無駄なお金を使っているような気がしてなりません。  
(30代・女性)

### 【健康管理】

- ・子どもの健康管理については、「終わったこと」としてではなく、「これからのこと」として取り組みを進めてほしい。(40代・男性)
- ・子ども達の健康管理は、永久的に実行していただきたい。(50代・男性)
- ・内部被ばく検査をしても、その後のフォローがない。(60代・男性)
- ・内部被ばく検査は、保健所に行くのではなくて、定期的に学校を回るようにしてほしい。  
(40代・女性)
- ・自家消費野菜等の放射能検査は、土日も対応すべき。(60代・男性)

### 【子ども活動支援】

- ・各地に集会所があり、冬期の幼稚園児、低学年の室内運動場として利用できるようになすべき。  
(70歳以上・男性)
- ・ペップキッズこおりやまは東部地区にありますが、西部地区にもそのような施設があると良いですね。(40代・男性)
- ・子どもへの支援で幼児、低学年向けは充実していますが、高学年、中高生向けの施設があっても良いと思う。(30代・女性)
- ・屋内施設の充実が有難い。今後は小学高学年から中高生の運動施設が増えてほしい。  
(30代・女性)

### 【風評被害の払しょく】

- ・私はできる限り地元の食材を利用するようにしています。放射能検査の行き届いた物だから安心してます。(60代・女性)

- たゆまず情報を出す以外ないと思います。5年、10年、20年と長期に渡りますが、頑張っ  
てほしいと思います。(30代・女性)
- 風評被害の払しょくをいろいろな角度から考えるべき。(60代・男性)
- 県外に出張に行くと風評被害の大きさが分かる。(70歳以上・男性)
- 農家ですが、新米を友達に差し上げたら、放射能大丈夫なの？と聞かれ、ショックだった。  
いまだに不安に思っているんだ。風評被害です。(50代・女性)
- 郡山製品の安全性については、時間が解決してくれる。無理なPRはマイナスイメージ。  
(40代・男性)
- 市民各自があまりにも被害意識が強いように思います。その事が自分達の首をしめているような  
気がします。意識改革を。(70歳以上・女性)

(資料)

---

## 1 まちづくりについて【満足度】

## (1) 満足度男女別・年代別回答状況

(左側：点数/右側：順位)

項目	全体	男	女	20代	30代	40代	50代	60代	70歳～
II-14 音楽都市こおりやま	68.1 <b>1</b>	61.3 <b>1</b>	62.5 <b>1</b>	62.1 <b>2</b>	60.6 <b>3</b>	64.2 <b>1</b>	64.3 <b>1</b>	58.9 <b>4</b>	62.4 <b>1</b>
II-12 生涯学習	66.0 <b>2</b>	60.1 <b>3</b>	58.8 <b>3</b>	61.5 <b>3</b>	63.4 <b>1</b>	60.7 <b>2</b>	59.4 <b>3</b>	56.5 <b>7</b>	57.8 <b>5</b>
III-21 医療	64.8 <b>3</b>	61.3 <b>1</b>	61.4 <b>2</b>	64.5 <b>1</b>	62.2 <b>2</b>	60.2 <b>3</b>	60.2 <b>2</b>	61.0 <b>1</b>	61.5 <b>2</b>
I-2 広聴広報	64.2 <b>4</b>	55.5 <b>10</b>	53.7 <b>13</b>	54.6 <b>19</b>	56.6 <b>7</b>	57.2 <b>7</b>	53.4 <b>15</b>	51.5 <b>16</b>	56.2 <b>6</b>
IV-25 ごみ対策	63.0 <b>5</b>	58.3 <b>5</b>	55.9 <b>6</b>	57.4 <b>10</b>	50.5 <b>23</b>	54.0 <b>17</b>	57.4 <b>5</b>	60.6 <b>2</b>	58.3 <b>4</b>
II-13 歴史・文化芸術	62.9 <b>6</b>	55.0 <b>15</b>	54.1 <b>12</b>	55.9 <b>16</b>	56.4 <b>8</b>	57.0 <b>8</b>	55.9 <b>9</b>	51.8 <b>15</b>	52.0 <b>16</b>
III-22 生活衛生	62.8 <b>7</b>	53.5 <b>16</b>	52.9 <b>14</b>	57.8 <b>9</b>	53.9 <b>14</b>	56.7 <b>10</b>	52.0 <b>18</b>	50.9 <b>18</b>	51.0 <b>20</b>
III-20 健康づくり	62.5 <b>8</b>	56.1 <b>9</b>	57.9 <b>4</b>	59.1 <b>6</b>	56.2 <b>9</b>	57.7 <b>5</b>	56.5 <b>8</b>	58.0 <b>5</b>	59.2 <b>3</b>
VII-39 除染	62.5 <b>9</b>	55.3 <b>14</b>	55.8 <b>7</b>	55.3 <b>18</b>	52.9 <b>17</b>	56.8 <b>9</b>	55.6 <b>10</b>	56.2 <b>8</b>	52.0 <b>16</b>
IV-26 自然環境	61.9 <b>10</b>	57.3 <b>7</b>	55.4 <b>9</b>	61.3 <b>4</b>	58.0 <b>4</b>	57.3 <b>6</b>	56.7 <b>7</b>	53.4 <b>12</b>	54.4 <b>8</b>
II-9 乳幼児教育	61.5 <b>11</b>	48.5 <b>29</b>	47.7 <b>26</b>	47.1 <b>28</b>	54.6 <b>12</b>	52.2 <b>23</b>	47.7 <b>28</b>	44.2 <b>29</b>	45.4 <b>29</b>
I-1 市民協働	61.3 <b>12</b>	50.1 <b>24</b>	47.6 <b>27</b>	40.4 <b>41</b>	45.3 <b>30</b>	54.0 <b>17</b>	48.9 <b>27</b>	46.8 <b>25</b>	53.1 <b>15</b>
II-10 学校教育	61.2 <b>13</b>	51.3 <b>19</b>	50.2 <b>20</b>	55.7 <b>17</b>	51.4 <b>19</b>	54.1 <b>16</b>	52.2 <b>17</b>	47.1 <b>23</b>	47.9 <b>24</b>
VII-40 健康管理	60.7 <b>14</b>	53.2 <b>17</b>	54.5 <b>11</b>	58.5 <b>7</b>	53.6 <b>16</b>	56.7 <b>11</b>	54.6 <b>16</b>	52.0 <b>14</b>	51.3 <b>18</b>
VI-37 防災	60.6 <b>15</b>	55.5 <b>10</b>	52.6 <b>15</b>	56.3 <b>14</b>	54.2 <b>13</b>	50.9 <b>27</b>	53.8 <b>14</b>	54.7 <b>9</b>	53.8 <b>13</b>
II-15 スポーツ・レクリエーション	60.1 <b>16</b>	55.5 <b>10</b>	55.1 <b>10</b>	56.4 <b>13</b>	56.9 <b>6</b>	55.3 <b>13</b>	55.6 <b>10</b>	54.2 <b>11</b>	54.5 <b>7</b>
V-30 ショッピング・レジャー	60.0 <b>17</b>	57.4 <b>6</b>	57.5 <b>5</b>	58.5 <b>7</b>	57.2 <b>5</b>	57.8 <b>4</b>	56.8 <b>6</b>	59.5 <b>3</b>	54.4 <b>8</b>
IV-27 住環境	59.9 <b>18</b>	56.2 <b>8</b>	52.4 <b>16</b>	57.0 <b>11</b>	53.8 <b>15</b>	52.8 <b>21</b>	54.8 <b>12</b>	53.1 <b>13</b>	54.0 <b>12</b>
VI-36 交通・道路	59.7 <b>19</b>	58.4 <b>4</b>	55.6 <b>8</b>	60.9 <b>5</b>	56.1 <b>10</b>	56.5 <b>12</b>	58.0 <b>4</b>	56.7 <b>6</b>	54.1 <b>10</b>
III-17 子育て	59.0 <b>20</b>	49.4 <b>27</b>	50.2 <b>20</b>	46.7 <b>29</b>	54.9 <b>11</b>	54.9 <b>14</b>	51.2 <b>20</b>	46.4 <b>26</b>	45.4 <b>29</b>
II-11 青少年の健全育成	58.4 <b>21</b>	49.6 <b>26</b>	48.1 <b>25</b>	52.0 <b>23</b>	50.1 <b>25</b>	52.4 <b>22</b>	50.3 <b>22</b>	44.1 <b>30</b>	47.2 <b>25</b>
I-3 ユニバーサルデザイン	58.2 <b>22</b>	51.4 <b>18</b>	50.0 <b>22</b>	53.3 <b>21</b>	47.3 <b>29</b>	52.0 <b>24</b>	47.3 <b>30</b>	51.4 <b>17</b>	53.3 <b>14</b>
VII-41 子ども活動支援	58.0 <b>23</b>	50.0 <b>25</b>	50.7 <b>18</b>	56.1 <b>15</b>	50.9 <b>21</b>	53.9 <b>19</b>	50.5 <b>21</b>	49.1 <b>20</b>	45.5 <b>28</b>
I-4 男女共同参画	57.9 <b>24</b>	55.4 <b>13</b>	51.8 <b>17</b>	56.8 <b>12</b>	51.8 <b>18</b>	53.1 <b>20</b>	53.0 <b>16</b>	54.3 <b>10</b>	54.1 <b>10</b>
VI-38 防犯・交通安全・消費者対策	57.9 <b>25</b>	51.1 <b>20</b>	48.4 <b>24</b>	51.0 <b>24</b>	51.3 <b>20</b>	50.9 <b>27</b>	49.6 <b>23</b>	46.9 <b>24</b>	48.2 <b>23</b>
I-6 シティプロモーション	57.4 <b>26</b>	50.2 <b>22</b>	47.1 <b>29</b>	52.5 <b>22</b>	50.6 <b>22</b>	54.5 <b>15</b>	49.4 <b>24</b>	42.4 <b>33</b>	46.6 <b>27</b>
VII-42 風評被害の払しょく	57.2 <b>27</b>	50.2 <b>22</b>	49.4 <b>23</b>	53.6 <b>20</b>	50.1 <b>25</b>	51.6 <b>25</b>	49.2 <b>25</b>	47.6 <b>22</b>	49.7 <b>22</b>
IV-23 新エネルギー	57.1 <b>28</b>	48.0 <b>30</b>	40.8 <b>34</b>	46.7 <b>29</b>	43.5 <b>33</b>	46.8 <b>31</b>	45.0 <b>34</b>	42.7 <b>32</b>	39.9 <b>33</b>
V-28 農業	56.7 <b>29</b>	43.3 <b>37</b>	41.4 <b>33</b>	49.5 <b>25</b>	43.5 <b>33</b>	45.2 <b>34</b>	43.2 <b>37</b>	38.7 <b>36</b>	38.8 <b>35</b>
I-8 広域行政	56.1 <b>30</b>	47.9 <b>31</b>	47.6 <b>27</b>	46.7 <b>29</b>	41.4 <b>40</b>	45.3 <b>33</b>	49.1 <b>26</b>	49.1 <b>20</b>	51.2 <b>19</b>
III-19 高齢者・障がい者福祉	56.1 <b>31</b>	40.3 <b>42</b>	35.4 <b>41</b>	41.1 <b>40</b>	40.1 <b>41</b>	49.3 <b>30</b>	47.3 <b>30</b>	44.5 <b>28</b>	47.2 <b>25</b>
I-5 行政経営	55.7 <b>32</b>	48.7 <b>28</b>	44.7 <b>32</b>	44.7 <b>34</b>	44.9 <b>31</b>	37.4 <b>42</b>	37.4 <b>42</b>	35.3 <b>41</b>	36.1 <b>38</b>
III-18 地域福祉	55.0 <b>33</b>	50.4 <b>21</b>	50.3 <b>19</b>	46.2 <b>32</b>	50.2 <b>24</b>	51.0 <b>26</b>	51.3 <b>19</b>	50.0 <b>19</b>	51.0 <b>20</b>
I-7 高度情報化	54.9 <b>34</b>	46.7 <b>33</b>	44.9 <b>30</b>	47.9 <b>27</b>	47.8 <b>27</b>	49.7 <b>29</b>	47.6 <b>29</b>	43.1 <b>31</b>	39.9 <b>33</b>
V-29 地域商工業	54.9 <b>35</b>	40.6 <b>41</b>	34.1 <b>42</b>	43.0 <b>37</b>	42.7 <b>39</b>	41.5 <b>39</b>	37.7 <b>41</b>	31.1 <b>42</b>	32.5 <b>42</b>
II-16 都市交流・国際交流	54.4 <b>36</b>	44.0 <b>35</b>	39.7 <b>36</b>	44.9 <b>33</b>	42.9 <b>37</b>	41.9 <b>38</b>	44.1 <b>36</b>	37.6 <b>39</b>	41.4 <b>32</b>
V-31 産業創出	54.0 <b>37</b>	45.9 <b>34</b>	38.4 <b>37</b>	41.5 <b>39</b>	42.8 <b>38</b>	43.3 <b>36</b>	45.9 <b>33</b>	38.8 <b>35</b>	37.7 <b>37</b>
V-33 6次産業化	53.8 <b>38</b>	42.6 <b>39</b>	36.8 <b>39</b>	41.9 <b>38</b>	44.9 <b>31</b>	41.0 <b>41</b>	41.8 <b>40</b>	35.7 <b>40</b>	34.2 <b>40</b>
IV-24 環境活動	52.5 <b>39</b>	43.0 <b>38</b>	36.6 <b>40</b>	40.2 <b>42</b>	39.1 <b>42</b>	42.4 <b>37</b>	42.0 <b>39</b>	38.0 <b>38</b>	34.9 <b>39</b>
VI-35 計画的なまちづくり	52.4 <b>40</b>	47.2 <b>32</b>	44.9 <b>30</b>	48.8 <b>26</b>	47.5 <b>28</b>	46.8 <b>31</b>	47.0 <b>32</b>	45.0 <b>27</b>	42.3 <b>31</b>
V-32 観光	50.8 <b>41</b>	43.9 <b>36</b>	40.5 <b>35</b>	44.5 <b>35</b>	43.1 <b>36</b>	43.7 <b>35</b>	44.2 <b>35</b>	39.7 <b>34</b>	38.8 <b>35</b>
V-34 雇用促進	50.4 <b>42</b>	42.1 <b>40</b>	38.2 <b>38</b>	44.1 <b>36</b>	43.2 <b>35</b>	41.2 <b>40</b>	42.2 <b>38</b>	38.5 <b>37</b>	33.4 <b>41</b>



## (2) 満足度地域別回答状況

(左側：点数/右側：順位)

項目	全体	旧郡山東部	旧郡山西部	富田	大槻	安積	三穂田	逢瀬								
II-14 音楽都市こおりやま	68.1	1	60.0	2	65.0	1	63.7	1	56.5	2	63.7	1	56.3	6	57.3	2
II-12 生涯学習	66.0	2	61.4	1	60.7	3	60.4	7	52.7	10	61.0	3	53.8	13	50.9	7
III-21 医療	64.8	3	60.0	2	61.0	2	63.0	2	58.0	1	63.3	2	58.8	5	50.9	7
I-2 広聴広報	64.2	4	56.5	6	55.3	10	57.6	11	51.4	14	52.9	17	53.8	13	58.2	1
IV-25 ごみ対策	63.0	5	56.5	6	56.8	6	58.0	10	52.1	12	59.8	5	53.8	13	49.1	11
II-13 歴史・文化芸術	62.9	6	55.3	11	54.2	14	57.0	12	49.2	16	57.3	11	62.5	2	44.5	19
III-22 生活衛生	62.8	7	52.0	15	54.7	12	55.2	18	48.3	17	54.4	15	46.3	29	43.6	25
III-20 健康づくり	62.5	8	55.9	9	56.4	8	61.1	4	56.1	3	60.6	4	65.0	1	56.4	3
VII-39 除染	62.5	9	53.5	14	53.5	15	58.3	8	53.5	6	58.9	7	55.0	8	44.5	19
IV-26 自然環境	61.9	10	55.7	10	56.8	6	58.3	8	53.3	7	58.4	8	55.0	8	51.8	5
II-9 乳幼児教育	61.5	11	49.4	22	49.8	22	50.7	27	43.2	27	46.8	31	42.5	34	42.7	26
I-1 市民協働	61.3	12	50.0	21	48.4	27	48.0	30	42.1	31	49.2	26	51.3	17	40.9	29
II-10 学校教育	61.2	13	47.6	25	53.0	17	53.5	22	45.0	24	51.6	18	50.0	20	45.5	19
VII-40 健康管理	60.7	14	57.5	5	51.9	18	55.7	14	52.9	9	55.9	14	62.5	3	48.2	12
VI-37 防災	60.6	15	54.5	12	55.3	10	53.9	21	49.8	15	56.5	12	47.5	25	42.7	26
II-15 スポーツ・レクリエーション	60.1	16	51.2	18	56.2	9	60.7	6	52.1	12	56.3	13	55.0	8	50.9	7
V-30 ショッピング・レジャー	60.0	17	56.3	8	57.8	5	61.1	4	54.8	5	58.1	9	61.3	4	44.5	19
IV-27 住環境	59.9	18	53.9	13	54.5	13	57.0	12	52.7	10	57.5	10	51.3	17	44.5	19
VI-36 交通・道路	59.7	19	58.0	4	58.7	4	62.6	3	55.0	4	59.0	6	48.8	23	48.2	12
III-17 子育て	59.0	20	47.5	26	49.9	21	54.3	20	46.1	21	51.1	20	55.0	8	47.3	17
II-11 青少年の健全育成	58.4	21	46.3	29	50.4	19	53.5	22	42.7	28	47.8	30	48.8	23	42.7	26
I-3 ユニバーサルデザイン	58.2	22	51.4	15	50.2	20	55.7	14	46.1	21	49.5	23	52.5	16	53.6	4
VII-41 子ども活動支援	58.0	23	50.6	19	49.8	22	55.4	16	47.1	19	51.4	19	50.0	20	48.2	12
I-4 男女共同参画	57.9	24	50.2	20	53.5	15	55.4	16	53.3	7	54.1	16	56.3	6	45.5	19
VI-38 防犯・交通安全・消費者対策	57.9	25	46.9	28	48.9	25	52.6	25	45.6	23	49.4	24	50.0	20	40.9	29
I-6 シティープロモーション	57.4	26	49.4	22	48.9	25	53.5	22	42.0	32	48.6	29	47.5	25	48.2	12
VII-42 風評被害の払しょく	57.2	27	51.4	17	48.2	28	54.8	19	47.0	20	49.4	24	47.5	25	51.8	5
IV-23 新エネルギー	57.1	28	40.2	38	42.1	35	43.3	36	42.3	30	49.2	26	43.8	31	36.4	32
V-28 農業	56.7	29	43.5	35	41.1	37	46.3	33	36.8	37	45.2	35	43.8	31	27.3	41
I-8 広域行政	56.1	30	48.8	24	47.4	29	47.8	32	44.2	26	50.3	22	51.3	17	47.3	17
III-19 高齢者・障がい者福祉	56.1	31	45.7	32	45.9	30	48.3	29	44.4	25	45.4	34	42.5	34	50.9	7
I-5 行政経営	55.7	32	38.2	41	39.5	40	40.9	40	31.2	41	37.8	42	30.0	42	34.5	33
III-18 地域福祉	55.0	33	47.1	27	49.3	24	51.1	26	47.3	18	50.5	21	55.0	8	48.2	12
I-7 高度情報化	54.9	34	45.1	33	45.9	30	50.2	28	40.5	33	49.0	28	47.5	25	35.5	33
V-29 地域商工業	54.9	35	39.4	39	38.0	42	40.4	41	30.3	42	37.9	41	32.5	41	32.7	38
II-16 都市交流・国際交流	54.4	36	45.9	31	43.4	33	42.2	38	36.4	38	42.1	39	35.0	40	35.5	33
V-31 産業創出	54.0	37	44.1	34	41.7	36	42.6	37	38.9	34	43.3	37	46.3	29	27.3	41
V-33 6次産業化	53.8	38	39.2	40	39.9	38	43.5	35	35.6	39	40.2	40	41.3	37	33.6	36
IV-24 環境活動	52.5	39	36.3	42	39.9	38	37.4	42	37.7	36	44.1	36	41.3	37	28.2	40
VI-35 計画的なまちづくり	52.4	40	46.1	30	45.2	32	48.0	30	42.6	29	46.8	31	43.8	31	40.0	31
V-32 観光	50.8	41	42.7	36	43.0	34	41.3	39	37.9	35	43.0	38	36.3	39	33.6	36
V-34 雇用促進	50.4	42	40.6	37	39.0	41	44.1	34	35.3	40	45.9	33	42.5	34	30.0	39

## (2) 満足度地域別回答状況

(左側：点数/右側：順位)

項目	片平	喜久田	日和田	富久山	湖南	熱海	田村	西田	中田
II-14	70.5 1	62.9 3	68.4 1	55.9 4	67.8 6	55.8 6	61.1 1	65.2 1	60.9 3
II-12	69.5 3	67.1 1	60.0 10	58.5 3	72.2 2	50.8 10	57.4 5	53.0 13	50.0 22
III-21	70.5 1	63.3 2	66.3 2	61.3 1	66.7 8	57.5 4	59.4 2	63.5 2	58.2 4
I-2	62.9 10	52.4 22	60.0 10	50.4 18	62.2 17	47.5 15	54.9 9	60.0 4	52.7 13
IV-25	64.8 5	56.2 11	64.7 4	54.3 7	66.7 8	53.3 7	57.4 5	56.5 6	65.5 1
II-13	65.7 4	53.8 14	60.0 10	53.2 10	70.0 4	45.8 19	56.6 7	50.4 20	50.0 22
III-22	63.8 6	51.0 26	52.6 30	51.6 14	62.2 17	44.2 24	54.9 9	50.4 20	57.3 5
III-20	63.8 6	60.0 7	65.8 3	55.2 5	73.3 1	62.5 1	59.4 2	55.7 7	56.4 6
VII-39	63.8 6	57.6 8	61.6 6	54.0 8	58.9 23	58.3 2	48.3 27	55.7 7	45.5 33
IV-26	61.9 13	57.1 9	61.6 6	53.1 11	65.6 11	48.3 14	58.3 4	47.8 25	62.7 2
II-9	62.9 10	49.5 30	55.8 18	44.1 29	66.7 8	34.2 35	47.7 29	44.3 28	54.5 10
I-1	48.6 31	51.9 23	54.7 23	48.9 22	63.3 15	38.3 31	51.7 15	54.8 10	52.7 13
II-10	54.3 22	53.3 19	58.9 14	46.5 27	71.1 3	34.2 35	50.9 18	57.4 5	51.8 17
VII-40	59.0 14	62.4 4	61.1 9	50.5 17	50.0 33	53.3 7	53.7 12	53.9 11	55.5 8
VI-37	51.4 26	51.0 26	55.3 19	53.3 9	63.3 15	46.7 17	53.1 13	55.7 7	55.5 8
II-15	63.8 6	61.9 5	62.1 5	51.2 15	67.8 6	49.2 13	52.9 14	53.0 13	51.8 17
V-30	62.9 10	61.4 6	61.6 6	58.8 2	53.3 29	53.3 7	54.9 9	53.9 11	48.2 26
IV-27	57.1 17	53.8 14	56.8 16	50.9 16	60.0 22	50.8 10	51.4 16	52.2 15	50.9 19
VI-36	54.3 22	53.8 14	59.5 13	54.9 6	56.7 25	50.0 12	50.6 19	51.3 19	48.2 26
III-17	55.2 20	54.3 13	54.7 23	48.8 23	54.4 27	42.5 27	50.0 21	42.6 29	50.9 19
II-11	49.5 28	53.8 14	53.7 28	47.9 25	64.4 13	28.3 39	48.0 28	52.2 15	50.9 19
I-3	49.5 28	51.9 23	54.7 23	49.1 20	62.2 17	44.2 24	51.1 17	50.4 20	54.5 10
VII-41	59.0 14	55.7 12	55.3 19	49.1 20	62.2 17	45.0 21	48.9 24	40.9 31	52.7 13
I-4	56.2 18	56.7 10	56.3 17	52.8 12	64.4 13	56.7 5	55.4 8	52.2 5	56.4 6
VI-38	51.4 26	51.9 23	55.3 19	49.9 19	55.6 26	45.8 19	48.6 25	48.7 23	49.1 24
I-6	55.2 20	52.9 20	55.3 19	44.0 30	54.4 27	37.5 32	48.6 25	60.9 3	46.4 31
VII-42	56.2 18	53.8 14	57.4 15	48.0 24	57.8 24	44.2 24	50.3 20	48.7 23	49.1 24
IV-23	41.9 38	44.8 33	51.6 31	43.5 31	62.2 17	45.0 21	47.1 30	42.6 29	48.2 26
V-28	46.7 33	43.3 36	43.7 38	42.3 33	50.0 33	46.7 17	42.3 35	34.8 37	52.7 13
I-8	48.6 31	46.7 32	51.6 31	46.4 28	68.9 5	47.5 15	47.1 30	34.8 37	41.8 38
III-19	54.3 22	51.0 26	54.2 26	41.6 34	52.2 30	39.2 30	49.7 22	47.8 25	54.5 10
I-5	40.0 41	39.0 39	36.3 42	34.5 41	47.8 38	24.2 42	38.6 39	39.1 34	40.0 40
III-18	58.1 16	49.5 30	54.2 26	52.8 12	65.6 11	58.3 2	49.4 23	52.2 15	47.3 29
I-7	53.3 25	52.9 20	50.0 34	43.1 32	51.1 31	36.7 34	43.4 33	47.8 25	46.4 31
V-29	45.7 34	36.7 42	39.5 41	34.3 42	46.7 39	26.7 40	38.0 40	38.3 35	37.3 42
II-16	41.0 39	37.1 40	48.9 35	39.5 37	51.1 31	41.7 28	40.6 37	32.2 41	40.0 40
V-31	44.8 37	41.9 38	51.1 33	39.3 38	42.2 40	37.5 32	43.1 34	35.7 36	44.5 34
V-33	41.0 39	42.9 37	42.1 40	38.3 40	48.9 36	30.0 38	36.3 42	34.8 37	43.6 35
IV-24	45.7 34	37.1 40	43.7 38	38.4 39	50.0 33	33.3 37	41.7 36	27.8 42	43.6 35
VI-35	49.5 28	50.5 29	45.3 36	46.9 26	48.9 36	40.8 29	46.3 32	40.9 31	47.3 29
V-32	39.0 42	43.8 34	53.2 29	41.1 35	41.1 41	45.0 21	40.6 37	40.0 33	41.8 38
V-34	45.7 34	43.8 34	44.2 37	40.0 36	40.0 42	26.7 40	37.1 41	33.0 40	43.6 35



## 今回の調査において、こんなご意見をいただきました

郡山市は広く地域によって生活パターンも生活圏域も異なります。それだけに、地域によって課題も多いと思います。加えて相双地区の人々も居住しているので、支援等大変なことと思います。

郡山市民も他の地域から来た人も郡山市に住んで良かったと思える街になるようにしていただきたいと思います。(40代・女性)

「何も変わらない郡山」そんな風に思われぬように職員さんの士気を上げてほしいです。郡山の良いところを言える職員さんが運営している郡山市はきっと良い都市に生まれ変われると思います。

若者達が郡山市に誇りを持ち、働く世代には働きやすく、高齢者には優しい街になることを信じて、このアンケートに答えさせていただきました。

一市民としてやれる事、目の前の事と向き合っています。郡山を大好きな職員さん、市民が増えますように。(40代・女性)

ぜひ、より良い市にしてください。何ができるのか分かりませんが、「市民として協力するのは当たり前」と思えるくらいの市民になりたいと思っています。(30代・女性)

市が先頭になって市民に呼び掛け、官民が一体となって立ち上がるように努力してほしい。

市が先頭に立って市民を引っ張っていけば、市民も一緒に付いていくと思います。(60代・男性)

## 2 これからのまちづくりについて【重要度】

## (1) 重要度男女別・年代別回答状況

(左側：回答率/右側：順位)

項目	全体	男	女	20代	30代	40代	50代	60代	70歳～
Ⅲ-19 高齢者・障がい者福祉	38.0 <b>1</b>	35.6 <b>1</b>	40.1 <b>1</b>	40.2 <b>1</b>	29.4 <b>3</b>	36.8 <b>1</b>	39.5 <b>1</b>	41.5 <b>1</b>	45.0 <b>1</b>
Ⅱ-10 学校教育	26.4 <b>2</b>	24.9 <b>2</b>	28.1 <b>2</b>	28.0 <b>2</b>	52.9 <b>1</b>	35.9 <b>2</b>	21.1 <b>4</b>	19.6 <b>5</b>	23.2 <b>2</b>
Ⅲ-17 子育て	26.4 <b>2</b>	24.2 <b>3</b>	27.4 <b>3</b>	27.1 <b>3</b>	42.9 <b>2</b>	26.8 <b>3</b>	21.1 <b>4</b>	18.3 <b>6</b>	14.5 <b>8</b>
Ⅲ-21 医療	22.4 <b>4</b>	17.5 <b>7</b>	26.3 <b>4</b>	25.2 <b>4</b>	25.9 <b>4</b>	26.8 <b>3</b>	27.8 <b>2</b>	18.3 <b>6</b>	12.3 <b>12</b>
Ⅴ-34 雇用促進	21.6 <b>5</b>	19.1 <b>6</b>	23.6 <b>5</b>	25.2 <b>4</b>	19.4 <b>8</b>	21.1 <b>6</b>	22.9 <b>3</b>	23.5 <b>2</b>	18.6 <b>3</b>
Ⅵ-35 計画的なまちづくり	17.9 <b>6</b>	20.8 <b>4</b>	15.7 <b>9</b>	24.3 <b>6</b>	14.7 <b>13</b>	14.4 <b>12</b>	19.2 <b>6</b>	21.5 <b>4</b>	15.9 <b>7</b>
Ⅵ-36 交通・道路	17.4 <b>7</b>	20.2 <b>5</b>	15.4 <b>10</b>	21.5 <b>7</b>	23.5 <b>6</b>	21.5 <b>5</b>	19.2 <b>6</b>	11.6 <b>15</b>	14.1 <b>9</b>
Ⅵ-38 防犯・交通安全・消費者対策	16.7 <b>8</b>	13.8 <b>10</b>	18.9 <b>6</b>	20.6 <b>8</b>	16.5 <b>11</b>	16.7 <b>11</b>	15.4 <b>10</b>	18.3 <b>6</b>	17.3 <b>6</b>
Ⅱ-11 青少年の健全育成	15.5 <b>9</b>	15.7 <b>8</b>	15.3 <b>11</b>	18.7 <b>9</b>	10.0 <b>17</b>	12.9 <b>15</b>	13.5 <b>14</b>	22.8 <b>3</b>	18.2 <b>4</b>
Ⅴ-31 産業創出	14.5 <b>10</b>	13.8 <b>10</b>	15.3 <b>11</b>	17.8 <b>10</b>	21.2 <b>7</b>	19.1 <b>9</b>	14.3 <b>11</b>	8.4 <b>25</b>	7.7 <b>25</b>
Ⅶ-40 健康管理	14.4 <b>11</b>	12.0 <b>16</b>	16.1 <b>7</b>	16.8 <b>11</b>	17.1 <b>10</b>	20.1 <b>8</b>	13.9 <b>12</b>	12.2 <b>12</b>	12.3 <b>12</b>
Ⅶ-39 除染	14.0 <b>12</b>	12.5 <b>14</b>	15.3 <b>11</b>	14.0 <b>12</b>	17.6 <b>9</b>	12.4 <b>16</b>	15.8 <b>9</b>	11.6 <b>15</b>	10.9 <b>16</b>
Ⅶ-41 子ども活動支援	13.8 <b>13</b>	11.4 <b>18</b>	15.8 <b>8</b>	13.1 <b>13</b>	24.7 <b>5</b>	20.6 <b>7</b>	11.3 <b>17</b>	9.6 <b>20</b>	6.4 <b>30</b>
Ⅳ-23 新エネルギー	12.9 <b>14</b>	15.0 <b>9</b>	12.8 <b>15</b>	12.1 <b>14</b>	10.0 <b>17</b>	17.2 <b>10</b>	16.5 <b>8</b>	14.1 <b>11</b>	13.2 <b>10</b>
Ⅶ-42 風評被害の払しょく	12.9 <b>15</b>	13.1 <b>12</b>	11.4 <b>17</b>	12.1 <b>14</b>	9.4 <b>19</b>	10.5 <b>19</b>	13.9 <b>12</b>	11.9 <b>14</b>	9.5 <b>18</b>
Ⅲ-18 地域福祉	12.3 <b>16</b>	10.7 <b>20</b>	13.6 <b>14</b>	11.2 <b>16</b>	10.6 <b>14</b>	14.4 <b>12</b>	13.2 <b>15</b>	15.4 <b>9</b>	9.1 <b>21</b>
Ⅳ-25 ごみ対策	12.2 <b>17</b>	12.2 <b>15</b>	12.2 <b>16</b>	10.3 <b>17</b>	7.6 <b>23</b>	11.0 <b>18</b>	9.8 <b>21</b>	15.1 <b>10</b>	17.7 <b>5</b>
Ⅳ-27 住環境	10.2 <b>18</b>	11.8 <b>17</b>	9.2 <b>19</b>	10.3 <b>17</b>	8.8 <b>21</b>	11.5 <b>17</b>	10.9 <b>19</b>	10.9 <b>18</b>	9.5 <b>18</b>
Ⅴ-32 観光	9.7 <b>19</b>	12.9 <b>13</b>	7.4 <b>26</b>	9.3 <b>19</b>	10.6 <b>14</b>	13.9 <b>14</b>	11.3 <b>17</b>	8.0 <b>27</b>	5.9 <b>33</b>
Ⅰ-5 行政経営	9.6 <b>20</b>	10.7 <b>20</b>	10.8 <b>18</b>	9.3 <b>19</b>	16.5 <b>11</b>	6.2 <b>28</b>	12.0 <b>16</b>	12.2 <b>12</b>	12.3 <b>12</b>
Ⅱ-9 乳幼児教育	9.6 <b>21</b>	8.1 <b>26</b>	8.8 <b>20</b>	8.4 <b>21</b>	4.7 <b>27</b>	5.3 <b>31</b>	8.6 <b>24</b>	8.4 <b>25</b>	9.1 <b>21</b>
Ⅱ-14 音楽都市こおりやま	8.8 <b>22</b>	11.3 <b>19</b>	8.3 <b>23</b>	8.4 <b>21</b>	10.6 <b>14</b>	8.6 <b>22</b>	10.2 <b>20</b>	11.3 <b>17</b>	9.1 <b>21</b>
Ⅱ-15 スポーツ・レクリエーション	8.8 <b>23</b>	9.5 <b>22</b>	6.7 <b>27</b>	8.4 <b>21</b>	4.7 <b>27</b>	6.7 <b>26</b>	9.4 <b>23</b>	6.8 <b>30</b>	6.4 <b>30</b>
Ⅴ-28 農業	8.6 <b>24</b>	8.6 <b>25</b>	8.6 <b>21</b>	7.5 <b>24</b>	8.8 <b>21</b>	9.1 <b>20</b>	7.9 <b>28</b>	9.3 <b>24</b>	7.3 <b>27</b>
Ⅳ-26 自然環境	8.1 <b>25</b>	7.3 <b>27</b>	8.6 <b>21</b>	7.5 <b>24</b>	3.5 <b>32</b>	6.7 <b>26</b>	8.6 <b>24</b>	10.3 <b>19</b>	12.7 <b>11</b>
Ⅵ-37 防災	7.5 <b>26</b>	6.6 <b>31</b>	8.3 <b>23</b>	6.5 <b>26</b>	6.5 <b>24</b>	8.6 <b>22</b>	8.6 <b>24</b>	8.0 <b>27</b>	3.6 <b>38</b>
Ⅲ-20 健康づくり	7.4 <b>26</b>	6.8 <b>30</b>	8.1 <b>25</b>	6.5 <b>27</b>	4.7 <b>27</b>	5.7 <b>29</b>	9.8 <b>21</b>	9.6 <b>20</b>	6.8 <b>29</b>
Ⅴ-30 ショッピング・レジャー	6.8 <b>28</b>	8.8 <b>24</b>	5.4 <b>30</b>	6.5 <b>27</b>	5.9 <b>25</b>	9.1 <b>20</b>	8.6 <b>24</b>	6.4 <b>31</b>	4.5 <b>36</b>
Ⅴ-29 地域商工業	6.7 <b>29</b>	9.1 <b>23</b>	4.7 <b>33</b>	5.6 <b>29</b>	5.3 <b>26</b>	8.6 <b>22</b>	7.9 <b>28</b>	4.5 <b>36</b>	7.7 <b>25</b>
Ⅰ-8 広域行政	6.2 <b>29</b>	7.3 <b>27</b>	5.4 <b>30</b>	5.6 <b>29</b>	2.4 <b>37</b>	2.4 <b>38</b>	5.3 <b>31</b>	9.6 <b>20</b>	12.3 <b>12</b>
Ⅰ-1 市民協働	5.7 <b>31</b>	7.0 <b>29</b>	4.7 <b>33</b>	4.7 <b>31</b>	4.1 <b>30</b>	3.8 <b>35</b>	2.6 <b>41</b>	9.6 <b>20</b>	7.3 <b>27</b>
Ⅰ-4 男女共同参画	5.6 <b>32</b>	6.3 <b>33</b>	5.0 <b>32</b>	4.7 <b>31</b>	9.4 <b>19</b>	2.4 <b>38</b>	4.1 <b>35</b>	5.1 <b>34</b>	9.1 <b>21</b>
Ⅳ-24 環境活動	5.2 <b>33</b>	4.8 <b>37</b>	5.6 <b>29</b>	4.7 <b>31</b>	4.1 <b>30</b>	4.3 <b>32</b>	4.9 <b>33</b>	6.1 <b>32</b>	5.5 <b>34</b>
Ⅱ-12 生涯学習	5.1 <b>34</b>	3.9 <b>41</b>	6.1 <b>28</b>	4.7 <b>31</b>	0.6 <b>41</b>	5.7 <b>29</b>	3.8 <b>37</b>	6.1 <b>32</b>	9.5 <b>18</b>
Ⅰ-2 広聴広報	4.6 <b>35</b>	6.4 <b>32</b>	3.2 <b>37</b>	4.7 <b>31</b>	2.4 <b>37</b>	2.4 <b>38</b>	1.5 <b>42</b>	7.4 <b>29</b>	10.0 <b>17</b>
Ⅱ-13 歴史・文化芸術	4.5 <b>36</b>	5.9 <b>34</b>	3.5 <b>36</b>	3.7 <b>36</b>	2.9 <b>35</b>	2.9 <b>36</b>	5.6 <b>30</b>	4.8 <b>35</b>	5.5 <b>34</b>
Ⅰ-7 高度情報化	4.3 <b>37</b>	5.9 <b>34</b>	2.9 <b>39</b>	3.7 <b>36</b>	2.4 <b>37</b>	1.4 <b>42</b>	5.3 <b>31</b>	3.5 <b>37</b>	6.4 <b>30</b>
Ⅰ-3 ユニバーサルデザイン	4.0 <b>38</b>	4.3 <b>39</b>	3.8 <b>35</b>	2.8 <b>38</b>	3.5 <b>32</b>	7.2 <b>25</b>	3.4 <b>39</b>	3.2 <b>39</b>	2.7 <b>39</b>
Ⅴ-33 6次産業化	3.6 <b>38</b>	5.0 <b>36</b>	2.5 <b>41</b>	1.9 <b>39</b>	2.9 <b>35</b>	2.9 <b>36</b>	4.9 <b>33</b>	2.6 <b>40</b>	4.1 <b>37</b>
Ⅰ-6 シティプロモーション	3.4 <b>38</b>	4.8 <b>37</b>	2.8 <b>40</b>	0.9 <b>40</b>	3.5 <b>32</b>	4.3 <b>32</b>	4.1 <b>35</b>	3.5 <b>37</b>	2.3 <b>40</b>
Ⅱ-16 都市交流・国際交流	3.4 <b>41</b>	4.3 <b>39</b>	2.4 <b>42</b>	0.9 <b>40</b>	2.4 <b>37</b>	4.3 <b>32</b>	3.8 <b>37</b>	2.6 <b>40</b>	0.9 <b>42</b>
Ⅲ-22 生活衛生	2.2 <b>42</b>	1.1 <b>42</b>	3.1 <b>38</b>	0.0 <b>42</b>	0.6 <b>41</b>	2.4 <b>38</b>	3.0 <b>40</b>	2.3 <b>42</b>	2.3 <b>40</b>

## (2) 重要度地域別回答状況

(左側：回答率/右側：順位)

項目	全体	旧郡山東部	旧郡山西部	富田	大槻	安積	三穂田	逢瀬
Ⅲ-19 高齢者・障がい者福祉	38.0 <b>1</b>	43.1 <b>1</b>	38.2 <b>1</b>	39.1 <b>1</b>	42.4 <b>1</b>	31.0 <b>1</b>	37.5 <b>2</b>	59.1 <b>1</b>
Ⅱ-10 学校教育	26.4 <b>2</b>	31.4 <b>2</b>	27.3 <b>2</b>	34.8 <b>2</b>	24.2 <b>2</b>	31.0 <b>1</b>	31.3 <b>3</b>	22.7 <b>4</b>
Ⅲ-17 子育て	26.4 <b>2</b>	29.4 <b>3</b>	21.7 <b>4</b>	31.5 <b>3</b>	15.9 <b>9</b>	31.0 <b>1</b>	18.8 <b>9</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅲ-21 医療	22.4 <b>4</b>	23.5 <b>5</b>	25.1 <b>3</b>	21.7 <b>4</b>	24.2 <b>2</b>	22.2 <b>5</b>	18.8 <b>9</b>	27.3 <b>3</b>
Ⅴ-34 雇用促進	21.6 <b>5</b>	25.5 <b>4</b>	18.7 <b>6</b>	18.5 <b>5</b>	22.0 <b>4</b>	23.8 <b>4</b>	25.0 <b>4</b>	36.4 <b>2</b>
Ⅵ-35 計画的なまちづくり	17.9 <b>6</b>	20.6 <b>6</b>	20.1 <b>5</b>	18.5 <b>5</b>	15.9 <b>9</b>	22.2 <b>5</b>	18.8 <b>9</b>	13.6 <b>9</b>
Ⅵ-36 交通・道路	17.4 <b>7</b>	16.7 <b>9</b>	14.2 <b>12</b>	18.5 <b>5</b>	22.0 <b>4</b>	17.5 <b>8</b>	25.0 <b>4</b>	13.6 <b>9</b>
Ⅵ-38 防犯・交通安全・消費者対策	16.7 <b>8</b>	17.6 <b>7</b>	16.3 <b>11</b>	17.4 <b>8</b>	22.0 <b>4</b>	17.5 <b>8</b>	12.5 <b>16</b>	18.2 <b>6</b>
Ⅱ-11 青少年の健全育成	15.5 <b>9</b>	11.8 <b>16</b>	16.6 <b>9</b>	16.3 <b>9</b>	13.6 <b>13</b>	15.1 <b>8</b>	50.0 <b>1</b>	13.6 <b>9</b>
Ⅴ-31 産業創出	14.5 <b>10</b>	15.7 <b>11</b>	17.4 <b>7</b>	14.1 <b>10</b>	18.2 <b>7</b>	10.3 <b>17</b>	0.0 <b>27</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅶ-40 健康管理	14.4 <b>11</b>	11.8 <b>16</b>	16.6 <b>9</b>	13.0 <b>11</b>	15.9 <b>9</b>	12.7 <b>12</b>	0.0 <b>27</b>	0.0 <b>41</b>
Ⅶ-39 除染	14.0 <b>12</b>	11.8 <b>16</b>	17.4 <b>7</b>	13.0 <b>11</b>	16.7 <b>8</b>	10.3 <b>17</b>	25.0 <b>4</b>	13.6 <b>9</b>
Ⅶ-41 子ども活動支援	13.8 <b>13</b>	17.6 <b>7</b>	12.8 <b>14</b>	13.0 <b>11</b>	12.9 <b>15</b>	10.3 <b>17</b>	12.5 <b>16</b>	9.1 <b>16</b>
Ⅳ-23 新エネルギー	12.9 <b>14</b>	16.7 <b>9</b>	12.6 <b>15</b>	13.0 <b>11</b>	13.6 <b>13</b>	17.5 <b>5</b>	18.8 <b>9</b>	13.6 <b>9</b>
Ⅶ-42 風評被害の払しょく	12.9 <b>15</b>	13.7 <b>13</b>	11.5 <b>17</b>	13.0 <b>11</b>	12.1 <b>16</b>	12.7 <b>12</b>	18.8 <b>9</b>	9.1 <b>16</b>
Ⅲ-18 地域福祉	12.3 <b>16</b>	14.7 <b>12</b>	11.8 <b>16</b>	13.0 <b>11</b>	14.4 <b>12</b>	11.1 <b>12</b>	18.8 <b>9</b>	22.7 <b>4</b>
Ⅳ-25 ごみ対策	12.2 <b>17</b>	10.8 <b>20</b>	13.9 <b>13</b>	12.0 <b>17</b>	11.4 <b>17</b>	12.7 <b>11</b>	12.5 <b>16</b>	18.2 <b>6</b>
Ⅳ-27 住環境	10.2 <b>18</b>	10.8 <b>20</b>	10.2 <b>19</b>	9.8 <b>18</b>	7.6 <b>25</b>	11.1 <b>15</b>	12.5 <b>16</b>	18.2 <b>6</b>
Ⅴ-32 観光	9.7 <b>19</b>	12.7 <b>15</b>	8.8 <b>23</b>	9.8 <b>18</b>	9.1 <b>20</b>	9.5 <b>23</b>	0.0 <b>27</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅰ-5 行政経営	9.6 <b>20</b>	13.7 <b>13</b>	9.4 <b>20</b>	9.8 <b>18</b>	9.1 <b>19</b>	10.3 <b>15</b>	6.3 <b>22</b>	9.1 <b>16</b>
Ⅱ-9 乳幼児教育	9.6 <b>21</b>	11.8 <b>16</b>	7.5 <b>27</b>	8.7 <b>21</b>	8.3 <b>23</b>	10.3 <b>17</b>	6.3 <b>22</b>	9.1 <b>16</b>
Ⅱ-14 音楽都市こおりやま	8.8 <b>22</b>	8.8 <b>22</b>	10.4 <b>18</b>	8.7 <b>21</b>	9.1 <b>20</b>	8.7 <b>24</b>	0.0 <b>27</b>	9.1 <b>16</b>
Ⅱ-15 スポーツ・レクリエーション	8.8 <b>23</b>	6.9 <b>27</b>	9.4 <b>20</b>	7.6 <b>21</b>	9.1 <b>20</b>	7.1 <b>26</b>	0.0 <b>27</b>	9.1 <b>16</b>
Ⅴ-28 農業	8.6 <b>24</b>	7.8 <b>23</b>	8.3 <b>24</b>	7.6 <b>24</b>	9.8 <b>18</b>	7.9 <b>25</b>	25.0 <b>4</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅳ-26 自然環境	8.1 <b>25</b>	5.9 <b>30</b>	8.0 <b>26</b>	7.6 <b>24</b>	6.8 <b>27</b>	4.8 <b>34</b>	25.0 <b>4</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅵ-37 防災	7.5 <b>26</b>	7.8 <b>23</b>	9.1 <b>22</b>	7.6 <b>24</b>	6.8 <b>27</b>	7.1 <b>26</b>	0.0 <b>27</b>	9.1 <b>16</b>
Ⅲ-20 健康づくり	7.4 <b>26</b>	6.9 <b>27</b>	5.6 <b>29</b>	7.6 <b>24</b>	8.3 <b>23</b>	10.3 <b>17</b>	6.3 <b>22</b>	9.1 <b>16</b>
Ⅴ-30 ショッピング・レジャー	6.8 <b>28</b>	7.8 <b>23</b>	5.6 <b>29</b>	6.5 <b>28</b>	3.8 <b>36</b>	10.3 <b>17</b>	12.5 <b>16</b>	9.1 <b>16</b>
Ⅴ-29 地域商工業	6.7 <b>29</b>	7.8 <b>23</b>	8.3 <b>24</b>	6.5 <b>28</b>	3.8 <b>36</b>	7.1 <b>26</b>	0.0 <b>27</b>	9.1 <b>16</b>
Ⅰ-8 広域行政	6.2 <b>29</b>	4.9 <b>32</b>	4.8 <b>34</b>	6.5 <b>28</b>	4.5 <b>34</b>	6.3 <b>30</b>	18.8 <b>9</b>	13.6 <b>9</b>
Ⅰ-1 市民協働	5.7 <b>31</b>	2.9 <b>34</b>	4.0 <b>36</b>	5.4 <b>31</b>	6.8 <b>27</b>	4.8 <b>34</b>	6.3 <b>22</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅰ-4 男女共同参画	5.6 <b>32</b>	4.9 <b>32</b>	5.1 <b>32</b>	5.4 <b>31</b>	6.1 <b>31</b>	4.8 <b>34</b>	0.0 <b>27</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅳ-24 環境活動	5.2 <b>33</b>	5.9 <b>30</b>	5.3 <b>31</b>	5.4 <b>31</b>	6.1 <b>31</b>	4.8 <b>34</b>	12.5 <b>16</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅱ-12 生涯学習	5.1 <b>34</b>	2.0 <b>40</b>	6.1 <b>28</b>	5.4 <b>31</b>	6.8 <b>27</b>	5.6 <b>32</b>	0.0 <b>27</b>	13.6 <b>9</b>
Ⅰ-2 広聴広報	4.6 <b>35</b>	0.0 <b>42</b>	4.8 <b>34</b>	4.3 <b>35</b>	5.3 <b>33</b>	0.8 <b>42</b>	0.0 <b>27</b>	0.0 <b>41</b>
Ⅱ-13 歴史・文化芸術	4.5 <b>36</b>	2.9 <b>34</b>	5.1 <b>32</b>	4.3 <b>35</b>	4.5 <b>34</b>	4.0 <b>39</b>	0.0 <b>27</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅰ-7 高度情報化	4.3 <b>37</b>	2.0 <b>40</b>	3.5 <b>37</b>	4.3 <b>35</b>	3.0 <b>38</b>	4.8 <b>34</b>	0.0 <b>27</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅰ-3 ユニバーサルデザイン	4.0 <b>38</b>	2.9 <b>34</b>	2.7 <b>41</b>	3.3 <b>38</b>	7.6 <b>25</b>	3.2 <b>40</b>	0.0 <b>27</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅴ-33 6次産業化	3.6 <b>38</b>	2.9 <b>34</b>	3.5 <b>37</b>	3.3 <b>38</b>	1.5 <b>40</b>	5.6 <b>32</b>	6.3 <b>22</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅰ-6 シティプロモーション	3.4 <b>38</b>	6.9 <b>27</b>	3.2 <b>39</b>	2.2 <b>40</b>	3.0 <b>38</b>	7.1 <b>26</b>	0.0 <b>27</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅱ-16 都市交流・国際交流	3.4 <b>41</b>	2.9 <b>34</b>	2.7 <b>41</b>	2.2 <b>40</b>	0.0 <b>42</b>	6.3 <b>30</b>	0.0 <b>27</b>	4.5 <b>26</b>
Ⅲ-22 生活衛生	2.2 <b>42</b>	2.9 <b>34</b>	3.2 <b>39</b>	2.2 <b>40</b>	1.5 <b>40</b>	1.6 <b>41</b>	0.0 <b>27</b>	4.5 <b>26</b>

## (2) 重要度地域別回答状況

(左側：回答率/右側：順位)

項目	片平		喜久田		日和田		富久山		湖南		熱海		田村		西田		中田	
Ⅲ-19	42.9	1	45.2	1	36.8	1	32.7	1	38.9	1	33.3	1	42.9	1	17.4	10	40.9	1
Ⅱ-10	38.1	2	33.3	2	34.2	2	27.3	2	22.2	4	33.3	1	24.3	3	52.2	1	31.8	3
Ⅲ-17	38.1	2	23.8	3	28.9	3	21.3	4	16.7	10	29.2	3	17.1	6	30.4	2	27.3	5
Ⅲ-21	14.3	12	23.8	3	23.7	5	20.0	5	11.1	18	20.8	5	21.4	5	21.7	6	18.2	8
V-34	33.3	4	21.4	6	28.9	3	23.3	3	38.9	1	16.7	6	15.7	9	21.7	6	36.4	2
Ⅵ-35	9.5	15	11.9	12	15.8	11	16.7	7	22.2	4	25.0	4	7.1	24	8.7	20	9.1	17
Ⅵ-36	23.8	6	14.3	11	18.4	8	19.3	6	11.1	18	16.7	6	25.7	2	26.1	4	31.8	3
Ⅵ-38	23.8	6	16.7	7	7.9	20	16.0	9	5.6	26	4.2	26	22.9	4	13.0	14	0.0	35
Ⅱ-11	23.8	6	23.8	3	10.5	18	16.7	7	27.8	3	4.2	26	14.3	11	4.3	25	13.6	11
V-31	23.8	6	16.7	7	5.3	27	12.7	13	16.7	10	12.5	12	14.3	11	13.0	14	9.1	17
Ⅶ-40	9.5	15	7.1	26	13.2	13	16.0	9	16.7	10	8.3	16	15.7	9	17.4	10	13.6	11
Ⅶ-39	9.5	15	9.5	18	18.4	8	11.3	15	5.6	26	8.3	16	12.9	15	13.0	14	22.7	6
Ⅶ-41	19.0	10	7.1	26	21.1	6	12.7	13	5.6	26	16.7	6	14.3	11	30.4	2	18.2	8
Ⅳ-23	9.5	15	9.5	18	15.8	11	16.0	9	16.7	10	4.2	26	11.4	16	21.7	6	13.6	11
Ⅶ-42	4.8	26	9.5	18	13.2	13	13.3	12	11.1	18	4.2	26	7.1	24	17.4	10	9.1	17
Ⅲ-18	4.8	26	7.1	26	13.2	13	10.7	17	16.7	10	8.3	16	14.3	11	26.1	4	13.6	11
Ⅳ-25	28.6	5	14.3	11	7.9	20	8.7	22	11.1	18	12.5	12	5.7	29	13.0	14	13.6	11
Ⅳ-27	19.0	10	7.1	26	10.5	18	11.3	15	11.1	18	16.7	6	7.1	24	0.0	38	22.7	6
V-32	14.3	12	11.9	12	13.2	13	7.3	29	22.2	4	12.5	12	8.6	20	17.4	10	4.5	27
I-5	9.5	15	14.3	11	21.1	6	8.7	22	22.2	4	8.3	16	10.0	18	13.0	14	9.1	17
Ⅱ-9	4.8	26	9.5	18	18.4	8	8.0	28	16.7	10	0.0	36	4.3	35	4.3	25	4.5	27
Ⅱ-14	14.3	12	9.5	18	7.9	20	8.7	22	5.6	26	8.3	16	17.1	6	4.3	25	9.1	17
Ⅱ-15	0.0	34	9.5	18	2.6	32	8.7	22	0.0	33	8.3	16	11.4	16	4.3	25	0.0	35
V-28	9.5	15	7.1	26	5.3	27	4.7	34	11.1	18	16.7	6	8.6	20	21.7	6	18.2	8
Ⅳ-26	9.5	15	4.8	35	13.2	13	10.7	17	22.2	4	0.0	36	17.1	6	0.0	38	9.1	17
Ⅵ-37	0.0	34	2.4	38	5.3	27	8.7	22	0.0	33	8.3	16	8.6	20	13.0	14	0.0	35
Ⅲ-20	0.0	34	16.7	7	7.9	20	8.7	22	16.7	10	4.2	26	5.7	29	8.7	20	4.5	27
V-30	9.5	15	16.7	7	7.9	20	10.0	19	0.0	33	8.3	16	1.4	40	4.3	25	0.0	35
V-29	4.8	26	7.1	26	0.0	36	9.3	20	11.1	18	4.2	26	4.3	35	4.3	25	0.0	35
I-8	4.8	26	4.8	35	7.9	20	9.3	20	16.7	10	0.0	36	7.1	24	0.0	38	4.5	27
I-1	9.5	15	11.9	12	5.3	27	6.7	30	5.6	26	16.7	6	7.1	24	0.0	38	9.1	17
I-4	9.5	15	14.3	11	7.9	20	4.7	34	22.2	4	4.2	26	2.9	39	8.7	20	9.1	17
Ⅳ-24	9.5	15	2.4	38	2.6	32	5.3	33	5.6	26	4.2	26	5.7	29	4.3	25	0.0	35
Ⅱ-12	0.0	34	2.4	38	0.0	36	4.7	34	11.1	18	8.3	16	4.3	35	8.7	20	4.5	27
I-2	0.0	34	9.5	18	2.6	32	6.7	30	0.0	33	0.0	36	10.0	18	8.7	20	13.6	11
Ⅱ-13	0.0	34	9.5	18	0.0	36	4.0	38	0.0	33	0.0	36	8.6	20	4.3	25	4.5	27
I-7	4.8	26	7.1	26	2.6	32	6.0	32	0.0	33	12.5	12	5.7	29	0.0	38	9.1	17
I-3	0.0	34	2.4	35	5.3	27	4.7	34	0.0	33	4.2	26	5.7	29	4.3	25	9.1	17
V-33	4.8	26	0.0	41	0.0	36	4.0	38	0.0	33	8.3	16	5.7	29	4.3	25	4.5	27
I-6	4.8	26	7.1	26	0.0	36	4.0	38	0.0	33	4.2	26	4.3	35	4.3	25	4.5	27
Ⅱ-16	0.0	34	4.8	26	0.0	36	3.3	41	0.0	33	0.0	36	1.4	40	4.3	25	0.0	35
Ⅲ-22	0.0	34	0.0	41	0.0	36	2.7	42	5.6	26	0.0	36	0.0	42	4.3	25	0.0	35

スマホで解決！使ってみよう！「ココナビこおりやま」

## ココナビこおりやまとは？

### ◆スマートフォンなどで情報を寄せていただくシステムです

道路の破損や防犯灯の故障などを、市民の皆さんがスマートフォンやタブレット端末などで撮影・投稿し、市役所に情報を寄せていただくシステムです。

情報を受けた市の担当部署が、現地調査などを行い、補修や修繕を実施します。

## どんな場面で使うの？

### ◆道路の破損や防犯灯の故障などを発見したときに使用します。

> 投稿の対象となる主な情報

道路…道路や側溝の破損

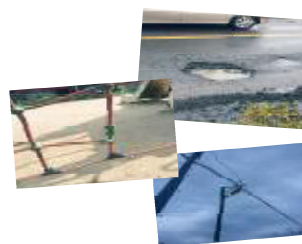
河川…河川設備の破損

公園…公園遊具の破損

防犯灯…防犯灯の故障

ごみ…ごみの不法投棄

公共施設…公共施設（庁舎）の破損



## 利用方法は？

「ココナビこおりやま」は、民間が運営するウェブサイト「FixMyStreetJapan」を利用しており、事前に専用アプリケーションのダウンロード（無料）と、ユーザ登録が必要となります。

### ①専用アプリのダウンロード

次のアプリストアから「FixMyStreetJapan」で検索して、ダウンロードします。

・アンドロイド（Android）端末  
Playストアからダウンロード



・アイフォーン（iPhone）端末  
AppStoreからダウンロード



### ②ユーザ登録

ダウンロードしたアプリを起動し、画面に従って必要な情報を入力します。



←メールアドレス、パスワード、氏名、ニックネームの入力と、利用規約の同意が必要です。



# あなたの声をお聞かせください

## ～市民意識調査～

平成27年度

<ご記入に当たってのお願い>

- 調査票は封筒あて名のご本人がお答えください。
- ご回答は、設問に従い、あてはまる番号に○印をつけてください。
- ご回答後は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて12月4日（金）までにポストにご投函ください。

また、パソコン・スマートフォンからもご回答いただけますので、以下をご参照ください。

【パソコン用URL】[http://s-kantan.com/city-koriyama-fukushima/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=892](http://s-kantan.com/city-koriyama-fukushima/offer/offerList_detail.action?tempSeq=892)

【スマートフォン用2次元バーコード】



1. 最後まで入力が終わりましたら「確認へ進む」をクリックしてください。
2. 内容確認の画面が出ますので、修正がなければ「申込む」をクリックしてください。
3. 「申込完了」の画面が出たら終了になります。  
※入力期限：12月4日（金）

◆注意点◆

アンケート入力時間は1時間となります。入力から1時間過ぎますと送信できなくなり、再度入力が必要となりますので、ご注意ください。

- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<お問合せ先> 郡山市政策開発部広聴広報課  
電話：024-924-2061  
Email：[kocho@city.koriyama.fukushima.jp](mailto:kocho@city.koriyama.fukushima.jp)



## 1 郡山市の住みやすさについて

まちの住み心地や郡山市への愛着等について、どのように感じているか、あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

(1) あなたにとって、郡山市は住みやすいまちですか？

- |                  |
|------------------|
| 1. 住みやすい         |
| 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらともいえない     |
| 4. どちらかといえば住みにくい |
| 5. 住みにくい         |

(2) あなたは、今後も郡山市に住みたいと思いますか？

- |                    |
|--------------------|
| 1. 現在の住所にずっと住み続けたい |
| 2. 市内の別の地域に住みたい    |
| 3. どちらともいえない       |
| 4. いずれは市外に住みたい     |
| 5. 住みたくない          |

## 2 郡山市のまちづくりについて

現在、本市が進めているまちづくり（取り組み）について、どのように感じているか、それぞれにあてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

【分野Ⅰ】 市民協働・人権・行政経営	よ い	ま あ ま あ	普 通	あ ま り	ま つ た く	わ か ら な い
<b>1. 市民協働</b> 町内会・PTA等の地域活動やNPO※ <sup>1</sup> ・ボランティア団体等の市民活動との連携が図られているか ※ <sup>1</sup> 行政・企業とは別に社会貢献活動をする民間非営利組織のこと	5	4	3	2	1	0
<b>2. 広聴広報</b> 広報紙やウェブサイト等を活用した市政情報の共有化が図られているか	5	4	3	2	1	0
<b>3. ユニバーサルデザイン</b> ※ <sup>2</sup> 年齢や障がいの有無などに関わらず、安心して快適に暮らすことができるか ※ <sup>2</sup> 障がいの有無や年齢、国籍、性別などの違いに関わらず、はじめからできるだけ多くの人が使いやすい製品や建物、都市環境、サービス等の提供を目指そうという考え方のこと	5	4	3	2	1	0
<b>4. 男女共同参画</b> 家庭や地域、職場において、男女がともに個性と能力を發揮できているか	5	4	3	2	1	0
<b>5. 行政経営</b> 適正かつ市民の視点に立った効率的・効果的な行政経営が行われているか	5	4	3	2	1	0
<b>6. シティプロモーション</b> 本市の魅力を広く内外に発信し、都市イメージの向上を図っているか	5	4	3	2	1	0
<b>7. 高度情報化</b> SNS※ <sup>3</sup> （ソーシャルネットワーキングサービス）など、ICT※ <sup>4</sup> を活用した利便性の高い行政サービスが提供されているか ※ <sup>3</sup> インターネット上で、日記やメッセージなどを通じて人と人が交流することを目的としたサービスのこと ※ <sup>4</sup> 情報通信技術	5	4	3	2	1	0

8. 広域行政 共通する地域課題等に対応するため、他の自治体等との協力、連携体制が整っているか	5	4	3	2	1	0

分野Ⅰについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

【分野Ⅱ】 教育・文化・スポーツ・交流	よ い	ま あ ま あ	普 通	あ ま り	ま っ た く	わ か ら な い
9. 乳幼児教育 保健・福祉・教育の連携体制が整っているか	5	4	3	2	1	0
10. 学校教育 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育むための教育環境が整っているか	5	4	3	2	1	0
11. 青少年の健全育成 青少年が豊かな人間性や社会性を身につけ、健全に育つ環境が整っているか	5	4	3	2	1	0
12. 生涯学習 いつでもどこでも自由に学習できるよう、公民館・図書館等の施設や講座など、生涯学習の環境が整っているか	5	4	3	2	1	0
13. 歴史・文化芸術 伝統行事や芸術活動など魅力ある市民文化が継承されているか	5	4	3	2	1	0
14. 音楽都市こおりやま 音楽に触れる機会や環境が整備され、音楽がまちづくりに活かされているか	5	4	3	2	1	0
15. スポーツ・レクリエーション スポーツやレクリエーションを楽しむための機会や施設が整っているか	5	4	3	2	1	0
16. 都市交流・国際交流 様々な地域や国の人々との交流・活動を通じ、友好や相互理解を深めるなど、国内外にひらかれたまちとなっているか	5	4	3	2	1	0

分野Ⅱについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

【分野Ⅲ】 子育て・福祉・保健	よ い	ま あ ま あ	普 通	あ ま り	ま っ た く	わ か ら な い
17. 子育て 安心して子どもを産み育てる環境が整っているか	5	4	3	2	1	0
18. 地域福祉 地域や隣近所で互いに支え合い、助け合う体制が整っているか	5	4	3	2	1	0

<b>19. 高齢者・障がい者福祉</b> 高齢者や障がいのある方が、生きいきと暮らせるための福祉サービスが整っているか	5	4	3	2	1	0
<b>20. 健康づくり</b> 各種健（検）診や健康相談など、健康に暮らすための支援体制が整っているか	5	4	3	2	1	0
<b>21. 医療</b> 必要なときに安心かつ適切な医療を受けられる体制が整っているか	5	4	3	2	1	0
<b>22. 生活衛生</b> 食の安全確保や生活に密着した営業施設等の衛生対策が図られているか	5	4	3	2	1	0

分野Ⅲについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

<b>【分野Ⅳ】 新エネルギー・環境</b>	よ い	ま あ ま あ	普 通	あ ま り	ま っ た く	わ か ら な い
<b>23. 新エネルギー</b> 省エネルギーの推進や太陽光発電の普及など、環境にやさしい新たなエネルギー社会への取り組みが進んでいるか	5	4	3	2	1	0
<b>24. 環境活動</b> 地球温暖化など環境問題への意識の啓発と具体的な取り組みが進んでいるか	5	4	3	2	1	0
<b>25. ごみ対策</b> 家庭や職場等における「3R」※1（リデュース・リユース・リサイクル）の取り組みにより、ごみの減量化と資源の有効利用が図られているか ※1 「Reduce（発生抑制）」「Reuse（再使用）」「Recycle（再生利用）」の頭文字をとった言葉	5	4	3	2	1	0
<b>26. 自然環境</b> 豊かな自然が適正に保全され、それらと身近にふれあえているか	5	4	3	2	1	0
<b>27. 住環境</b> 水道や下水道、公園が整備されているとともに、住宅の耐震化や景観への配慮など住環境が整っているか	5	4	3	2	1	0

分野Ⅳについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

<b>【分野Ⅴ】 産業・観光・雇用</b>	よ い	ま あ ま あ	普 通	あ ま り	ま っ た く	わ か ら な い
<b>28. 農業</b> 農業の担い手が育ち、安全・安心な農作物を生産しているか	5	4	3	2	1	0

<b>29. 地域商工業</b> 中小企業や商店街など、地域に密着した商工業の振興が図られているか	5	4	3	2	1	0
<b>30. ショッピング・レジャー</b> 市内で気軽に利用できる、ショッピングやレジャー施設が充実しているか	5	4	3	2	1	0
<b>31. 産業創出</b> 新しい分野の産業や企業の育成・誘致など、市内産業が活性化しているか	5	4	3	2	1	0
<b>32. 観光</b> 観光資源の活用やコンベンションの誘致など、観光の振興や誘客が図られているか	5	4	3	2	1	0
<b>33. 6次産業化</b> ※1 農・商・工・サービス業等が連携し、ブランド化などの産業の多角化に取り組んでいるか ※1 生産（1次産業）、加工（2次産業）、流通・販売（3次産業）が融合・連携し、商品の付加価値の向上、新たな開発などを図る取り組みのこと	5	4	3	2	1	0
<b>34. 雇用促進</b> 雇用のための相談体制、働きやすい就労環境の確立が図られているか	5	4	3	2	1	0

分野Ⅴについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

<b>【分野Ⅵ】 都市計画・交通・防災</b>	よ い	ま あ ま あ	普 通	あ ま り	ま っ た く	わ か ら な い
<b>35. 計画的なまちづくり</b> 中心市街地の活性化や地域特性を生かしたまちづくりが行われているか	5	4	3	2	1	0
<b>36. 交通・道路</b> 新幹線、高速道路などの高速交通や路線バス、また生活道路や橋など、交通体系が充実しているか	5	4	3	2	1	0
<b>37. 防災</b> ライフラインの確保や情報の共有化、消防、救急体制の整備、水害対策など防災に対する備えができていますか	5	4	3	2	1	0
<b>38. 防犯・交通安全・消費者対策</b> 犯罪の未然防止、通学路や生活道路等の交通安全対策、消費者対策などにより、安心して暮らせているか	5	4	3	2	1	0

分野Ⅵについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

【分野Ⅶ】 原子力災害対策・復興	よ い	ま あ ま あ	普 通	あ ま り	ま つ た く	わ か ら な い
<b>39. 除染</b> 住宅や道路、公共施設などの空間線量の低減化が図られているか	5	4	3	2	1	0
<b>40. 健康管理</b> 内部被ばく検査や自家消費野菜等の放射能検査、心や体のケアに関する健康相談体制の充実など、健康管理が図られているか	5	4	3	2	1	0
<b>41. 子ども活動支援</b> 子どもたちが安心して遊び、運動できる施設やサポート体制が整っているか	5	4	3	2	1	0
<b>42. 風評被害の払しょく</b> 郡山製品の安全性のPR、販路の拡大及び観光客誘致等により、風評被害の払しょくが図られているか	5	4	3	2	1	0

分野Ⅶについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

### 3 郡山市のこれからの取り組みについて

現在、本市が進めているまちづくり（取り組み）について、特に重要と思われるものの番号を5つ選び、その番号に○印をつけてください。

<b>【分野Ⅰ】市民協働・人権・行政経営</b> 1. 市民協働 2. 広聴広報 3. ユニバーサルデザイン 4. 男女共同参画 5. 行政経営 6. シティプロモーション 7. 高度情報化 8. 広域行政	<b>【分野Ⅳ】新エネルギー・環境</b> 23. 新エネルギー 24. 環境活動 25. ごみ対策 26. 自然環境 27. 住環境
<b>【分野Ⅱ】教育・文化・スポーツ・交流</b> 9. 乳幼児教育 10. 学校教育 11. 青少年の健全育成 12. 生涯学習 13. 歴史・文化芸術 14. 音楽都市こおりやま 15. スポーツ・レクリエーション 16. 都市交流・国際交流	<b>【分野Ⅴ】産業・観光・雇用</b> 28. 農業 29. 地域商工業 30. 産業創出 31. ショッピング・レジャー 32. 観光 33. 6次産業化 34. 雇用促進
<b>【分野Ⅲ】子育て・福祉・保健</b> 17. 子育て 18. 地域福祉 19. 高齢者・障がい者福祉 20. 健康づくり 21. 医療 22. 生活衛生	<b>【分野Ⅵ】都市計画・交通・防災</b> 35. 計画的なまちづくり 36. 交通・道路 37. 防災 38. 防犯・交通安全・消費者対策
	<b>【分野Ⅶ】原子力災害対策・復興</b> 39. 除染 40. 健康管理 41. 子ども活動支援 42. 風評被害の払しょく

## 4 広報について

- (1) 本市では、広報こおりやまをはじめ、ウェブサイトやフェイスブック、テレビ、ラジオなど、さまざまな方法で市政情報を発信しておりますが、あなたは、これらの情報提供が十分に行われていると思いますか？  
あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

- (2) あなたは、市政情報をどのような媒体で知っていますか？  
あてはまる番号を全て選び、○印をつけてください。

- |            |               |
|------------|---------------|
| 1. 広報こおりやま | 6. 新聞         |
| 2. ウェブサイト  | 7. チラシ、パンフレット |
| 3. フェイスブック | 8. 知り合いから     |
| 4. テレビ     | 9. その他        |
| 5. ラジオ     |               |

- (3) あなたは、どのような媒体に力を入れて、市政情報を発信してほしいと思いますか？  
あてはまる番号を全て選び、○印をつけてください。

- |            |               |
|------------|---------------|
| 1. 広報こおりやま | 6. 新聞         |
| 2. ウェブサイト  | 7. チラシ、パンフレット |
| 3. フェイスブック | 8. その他        |
| 4. テレビ     |               |
| 5. ラジオ     |               |

- (4) あなたは、市のまちづくり（取り組み）を身近に感じるようになるためには、どのような市政情報の発信が重要だと思いますか？  
あてはまる番号を全て選び、○印をつけてください。

1. 市の将来構想や各種計画
2. 市が取り組んでいる重要な事業
3. 市の予算や決算
4. 各種審議会や委員会などの検討内容や結果
5. 市のさまざまな制度や手続き、相談窓口
6. 公共施設の利用案内
7. 市内における行事や催し
8. 市民活動やボランティア活動
9. その他（具体的に：)
10. 特にない

あと、少しです。引き続きお願いします。



## 5 あなたご自身について

あなたご自身について、あてはまる番号を1つ選び、その番号に○印をつけてください。

### (1) 性別

1. 男性	2. 女性
-------	-------

### (2) 年齢

1. 20歳～29歳	4. 50歳～59歳
2. 30歳～39歳	5. 60歳～69歳
3. 40歳～49歳	6. 70歳以上

### (3) 職業

1. 農業	5. 主婦・主夫
2. 給与所得者	6. 学生
3. 自営業者	7. 無職
4. パート・アルバイトなど	8. その他

### (4) 郡山市での居住年数

1. 1年未満	4. 10～19年
2. 3年未満	5. 20～29年
3. 3～9年	6. 30年以上

### (5) 居住形態

1. 持ち家	4. 社宅、公舎など
2. 民間の借家・アパート	5. 間借、同居、寮など
3. 公営住宅	

### (6) お住まいの地域

1. 旧郡山東部（芳賀・小原田・緑ヶ丘・東部地区など）	
2. 旧郡山西部（駅前・大島・久留米・菜根・開成・小山田地区など上記地区以外）	
3. 富田	10. 日和田
4. 大槻	11. 富久山
5. 安積	12. 湖南
6. 三穂田	13. 熱海
7. 逢瀬	14. 田村
8. 片平	15. 西田
9. 喜久田	16. 中田

◆市に対するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。◆

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

以上で、質問は終わりです。お忙しい中ご協力いただきまして、ありがとうございました。

# 平成 27 年度 市民意識調査報告書

---

■編集・発行 郡山市政策開発部広聴広報課  
郡山市朝日一丁目 2 3 番 7 号  
TEL. 024-924-2061 FAX. 024-924-3180  
<http://www.city.koriyama.fukushima.jp>  
e-mail [kocho@city.koriyama.fukushima.jp](mailto:kocho@city.koriyama.fukushima.jp)